京城日報
六日夕刊
本紙定價　每號壹部五錢▲壹ケ月金一圓二十錢▲三ケ月同三圓五十錢▲六ケ月同六圓五十錢　郵税共前金▲郵税代用一割增
廣告料金　五號活字詰一行一圓五十錢▲二號活字同二圓五十錢▲四號
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話　光(長)四〇番　振替京城三〇二番

清朝皇室廢絶となる
宣統帝は皇居を退いた
馮玉祥の軍隊紫禁城に侵入

【北京五日發電】馮玉祥軍は五日午前九時北京紫禁城を包圍し宣統帝に皇居を退出すべしと迫り宣統帝は午後四時自動車で漸く遁れ得たが宣統帝は紫禁城引渡要求に對しては皇室會議を開いて回答するに決し馮軍の自由に皇居内に入ることを許さぬ旨馮玉祥に通告した

革命的色彩が濃厚

【北京五日發電】國民軍總司令部は五日朝軍隊多數をして突然宣統帝の宮城を包圍して交通を遮斷せしめ宣統帝に退出を迫り寶物並歷史的物品を双方代表者立ち合の上新皇室の資産と國有のものとを檢分離せしめ帝は午後四時醇親王邸に脱出された宣統帝驅逐の原因は帝を宮城内に住ましめるは共和政體に害ありとするにあり目下の支那時局は革命的色彩を帶ぶるに至つた

皇帝といふ尊號は
永遠に用ゐないこと
―清朝皇室優待條件變る―

【北京五日發電】國民軍總司令部は内閣と交渉の結果清朝皇室の優待條件に修正を加へ優待費を五十萬元とし宣統皇帝を退去せしめたこれにて支那には名實共に皇帝は消滅し宣統帝は仕方なく甘石橋の後邸に移ることになつた而して改正された優待條件左の如し

一、大清皇帝は五日より永遠にその尊號を廢し法律に依るその權利を保護せらる
二、政府は毎年清朝皇室のため五十萬元を支出し別に二百萬元を賑恤の名にて支出し北京の貧民救助費に宛つ
三、即日宣統帝は宮城を出で自由に住居を選擇すべく政府は別に保護せず
四、清皇室祖先の各陵廟は政府に於て保管し衛兵を派して護らしむ
五、清皇室の資産は完全に清皇室の有にして政府は特別に保護す

其他一切の宮産は民國政府の所有とす斯くして宣統帝は五台の自動車で宮城を出た

齊燮元は復歸するか否か
奉軍からは討伐しない意嚮

【奉天五日發電】目下奉天軍は直軍殘黨を南京の齊燮元を討伐するとの風說あるに對し總司令部幹部は曰く奉軍は先年戰勝に誇られて一氣に長辛店まで進撃し大敗せるに鑑み今回は天津を最終地點とし夫れ以上には侵入せぬ齊燮元討伐等は思ひもよらぬ彼は討伐せぬでも近く復歸するだらうと(宣撫は江蘇督軍齊燮元氏)

愈よ和平會議
兩三日中に開催

【天津五日發電】王承斌氏は天津に歸り馮玉祥、張作霖、孫文氏等の代表と會見兩三日中には和平會議を開く事に決定した段氏出廬の電請は續々と集まり三日朝段氏邸宅に段派重要人物が集合して時局收拾について協議した

天津占領懸賞
張氏私財提供

【奉天六日電報】張作霖氏は既に三百頭の生牛を戰地に送り出征兵士を慰問したが關内進出の奉軍は天に際し野宿の外に途なく奉軍の艱難を忍んで居る[illegible]對しては天津を陷落せしむれば私的二百萬元を贈與する旨懸賞を打電した

王懷慶は
吳と戰ふ心算

【天津五日發電】高督辦は二日既に引返して戒嚴司令に警衛事務を引繼がんとせしも王は受けず時に吳佩孚が三萬五千の兵を率ひて青島に向ふとの入電を得て高督辦は恐慌を來し五日に至り市中にその警備を命じたるため王、騎兵者の間に軋轢甚だしく王懷慶司令は沿線より一千の兵を集め吳佩孚と一戰をなす準備をなし[illegible]せんとしてゐる

山東省長辭任

【天津五日發電】山東省長熊炳琦氏は辭任した

支那輿論大勢
概ね段祺瑞の出馬慫慂
態度未決定は四省のみ

【北京五日發電】段祺瑞の蹶起を望むもの既に十七省と三特別區に及び未だ態度を明瞭にせざるものは河南、江蘇、湖北、浙江の四省のみである馮玉祥等は之を以て吳佩孚の諒旨によつて態度去就を決せざるものと爲し本日午後右四省の在北京代表を招き段政府の成立を賛成して速かに態度を明白にする事を勸告した尚臨時政府は北京に全國商會聯合會を開き段祺瑞出馬の機運を作るべく各省總商會に通電し一般の輿論は八分通り段祺瑞の出馬を慫慂してゐる

吳、金策に腐心

【天津五日發電】三日午後塘沽を出發した吳佩孚氏は太沽にて軍艦に乘り移り目下參謀長李成霖をして天津に於て金策に奔走せしめつゝあり

塘沽完全に
奉天軍が占領

【天津五日發電】奉天軍六千名は五日午前塘沽を完全に占領し塘沽にありし直隸軍の武裝を解除した張紹曾、吳光新、湖景翼の諸氏も來津し段祺瑞氏との折衝に努力中である

綏中の避難民
奉天軍を怨む

【奉天六日發電】奉直戰爭の爲め綏中方面より奉天に避難して來た人民は三千名に達して居るが最近同地方も落ち付いたので歸郷する

李烈鈞
參謀總長

【北京六日發電】日本滯在中の李烈鈞氏は參謀總長に任命された

吳は青島へ
上陸させぬ
日英米領事決議

【天津五日發電】吳佩孚の青島入港說に四日夜日英米各領事及[illegible]

總督府の行政整理内容
高等官四〇判任官一八〇内外
第一回は本年中斷行か

來年度の朝鮮豫算編成に行政整理等に於て決定せる事は既報の如くであるが目下世人の最も注目しつゝあるは行政整理が如何に實現するかの問題である。然るに既報の如く人件費物件費の節約は其總額一千五百萬圓に達して居るため之に伴ふ人員の整理淘汰は已むを得ぬ所である。而も此の整理の率は本府に於て高等官二割乃至三割判任官二割五分と云ふ割合であるとの事であるが、これよりすれば局課の整合は當然行はるゝものと見なければならぬがそれと同時に果して幾人ぐらゐの整理淘汰が行はれるかに付

今總督府に於ける職員を調査して見ると▲局部長九人▲參事官三人▲秘書官二人▲監察官二人▲事務官四十六人▲視學官四人▲編修官五人▲鑑查官一人▲技師四十四人▲通譯官十人の外▲更に臨時職員として▲技師四十三人▲事務官二人以上は高等官であるがさすれば合計高等官百七十一人である更に判任官の數は▲屬二百八十八人▲朝鮮書記八人▲技手百六十人▲通譯官四人の外臨時職員として▲屬、技手合計三百三十二人以上が判任官であるが、これによれば判任官七百八十二人と云ふ割合である。最も此の内既に缺員となつた儘補充の行はれざるものも少くない譯であるが先づ大體に於て以上の人々が本府に勤務して居ると見て差支へないであらう。茲に於て以上の人員に對して高等官二割乃至三割判任官二割五分と云へば可成りに思ひ切つた整理と云はねばならぬが此の割に依り今淘汰の行はれる員數を調査して見るとすれば高等官が二割として約三十三人、三割として約五十一人であり判任官が二割五分として約百九十五人と云ふ割合になるのである。從つて若し

總監が聲明 せる如く此の整理が行はれるものとすれば、先づ高等官四十人內外判任官百七、八十名の整理は免れぬ所となるのであつて近來の大整理であるが既にこれも止むを得ない所であらうと云はれて居る而して之が整理は本年度内には當然終了する事となるであらうが第一回としては本月末若くは十二月中に於て其發表を見る事となる模樣である

徳川上院議長
滿期當日勅任か

【東京電報】徳川貴族院議長は來る十二月四日を以て任期滿了に付近く箱根より一應公の意嚮を聽き今月中には上奏の手續きを經り任期滿了當日を以て勅任せらるゝ事になるらしい

貴族子弟に被選擧權附與
與黨意見一致

【東京電報】五日夜の與黨三派交渉委員會にて衆議院議員選擧法改正に當り華族の子弟にも選擧權被選擧權を與ふる事に意見の一致を見て愈々政府當局に此意嚮を傳へる事になつた

郡役所全廢論
政治問題化した

【東京電報】與黨三派は全國の郡役所を全廢する主張を強固に支持して居るが內務省側は全國に於て百二十八郡役所廢止案を確立したので當問題も漸次政治的となり內務の態度が注目されて居る

朝鮮初ての郊外電車
二十日頃には開通する
久米金剛山電鐵社長談

六日朝入城朝鮮ホテルに投宿せる久米金剛山電鐵社長は語る今回は電車開通式の爲め來鮮したのであるが何分にも永らく組立て中であつたので電動機に錆を生じたので修繕の爲め一先づ開通を延期したが遲くも二十日頃には開通の運びとなる筈である

開通した上は 地方開發上に貢獻する所は尠くなく又鐵原の電車の如きも一千五百ボルトのパントグラフ式のボギー車であるから朝鮮最初の郊外電車として内外に誇るに足るものであらうと信じてゐる而して一方發電計畫は既に潛水發電として四億立方の貯水地を造り本年中に三千八百キロの發電計畫を立て目下着々準備中であるから實現の上は現在の三千二百キロを加へて都合七千キロの水力發電を以て現に鐵原を經て京城全市に配電し金化、平康等へも電燈電力を供給し居れるが之の一鐵に各三社が線路を開始せんとするは來年度より開始せらるべき長箭港及朝鮮電鐵線府よりの補助命令を受けんとする供給してゐるが近く滿鐵、京城水道局へ四百馬の電力を供給する等であるから相當活用される譯であるが何しろ朝鮮に於ける最初の水電計畫の下にその第一期事業として電燈、電車等の開業が一段落を告げたのは各々として最も喜ぶ所であると共に其前途又洋々たるものと信じて居る

田中義一大將

我が政界の惑星を以つて目されてゐた陸軍大將田中義一氏は朝刊所報の如くいよいよ意を決して男爵議員の母體たる共同會(公正會系)に入會した。斯くして政界に一歩踏み入れた同大將今後の活躍によつてどんな波紋を描かるゝであらうか刮目に値する

健全に發達しつゝある
朝鮮金融事情(完)
產業觀察團集會の席上
水口理財課長述

之等事業計畫中其の主要なるものに付内容を概說すれば政府は下附金は村落組合のみに對し下附するものにして一組合六千圓乃至一萬圓である、村落組合は農村の民度經濟尚幼稚なるが爲組合員の出資又は預り金を資源として業務を經營するを得ざるを以て政府より業務資金を下附する又之が設立に付ても今尚政府に於て設立地點を指定して設立せしめ其の常務執行機關たる理事は政府之を選任配置し且資金下附の外設立後兩三年間は

其の經費 の一部をも補助してゐる、大正七年以後に於て設立せる都市組合に對しては政府は其の設立を援助する爲聯合會より一組合三萬圓乃至五萬圓の低利資金を貸付せしめ居れるも國庫よりは一切資金の援助を與へず、(政府は各聯合會に對し業務資金として二千萬圓宛て無利子にて貸與)其の理事は組合員總會の自選に任せ居れるも多くは聯合會の推薦せる者就任する預り金は都市組合に在りては組合員の預金は其預金の總額の三割強に上れるも村落組合に於ける農民たる組合員は貯蓄の餘裕を有せず一部の地主階級に在りても餘資は常に高利なる貸金に運用利殖するを常とするを以て僅かに一割九分強に上り都市村落を通じたる組合員預金の割合は二割二分に過ぎずして其の四割強は

公共團體 及法人の預金にして殘三割強は公衆預金である、借入金は都市組合の殖産銀行に求めたる手形再割引十一萬餘圓の外總て金融組合の聯合會の融通である次に貸出金を觀るに村落組合に於ては組合員の九割強は中小農民(耕地を所有せざる者一割三分、一段四畝未滿を所有せる者一割七分、一段四畝以上五段八畝未滿を所有せる者二割七分、五段八畝以上一町四段未滿を所有せる者二割、其他二割強)なるを以て其の貸付金四千二百五十萬圓の大部分は農業資金にして其の割合は貸付總額の七割五分に上り負債償還資金の貸付(總貸付の一割二分)亦其の大半は農業資金たる高利債の償還たるに依り彼是通じて八割以上は農業資金たるを失はぬ又都市組合に於ける貸出金は商工業資金總貸付金額の七割七分を占む而して其

村落組合 の貸出中自作用土地の購入は勿論土地擔保其他改良資金等及都市組合の店舗工場設備等の資金の融通に在りては其の資源を長期借入金に求めて長期の貸付を行はしめ居れる處にして其の貸付額千八百五十萬圓に上り居れり尚金融組合は殖産銀行に對して其の前身たる農工銀行當時よりして農工資金の地方散布を斡助し之が貸出の媒介を行ひ本年八月末日に於ては媒介に依る貸付額は九百七十餘萬圓を算し又手形の代理取立高は大正十二年中三百萬圓を下らなかつた金融組合の概況は前述の如くなるが更に金融組合の朝鮮金融界に於る地位勢力の一考察として之を他の金融機關と對照すれば即組合數は内地人各銀行及東洋拓殖會社の本支店數百六十六に對し

其の三倍 に相當し又組合員數は内鮮人總戸數三百三十萬八千餘戸に對し百戸に付組合員十八強の割合となり(内地に於ける信用組合『信用營業を含む』の組合員數の總戸數に對する割合は大正九年末に於て百戸に付十八強)預り金は普通銀行の預り金七千六百七十餘萬圓に對し四割強に當り郵便貯金(振替貯金を含まず)二千九萬圓に對しては實に十五割強に當る(内地信用組合の預り金二億二千四百餘萬圓を同時期の郵便貯金八億六千六百餘萬圓に對比すれば二割六分なり)貸出金は殖產銀行及東洋拓殖會社の民間貸出金一億四千餘萬圓に對し其の四割弱に相當し(内地信用組合の貸出一億八千九百餘萬圓は同時期の農工銀行及商業銀行の貸出五億五千八百餘萬圓の三割強)朝鮮の

金融事業 に寄與する貢献たる以て少からざるものあるべし而して大正七年聯合會の設立成り加入し聯合會は法令に依り所屬組合に對し業務の調査指導を爲し之に依りて克く對人信用を以て資金を供給し得るの一面組合の餘裕金は常に有價證券に替へ保管するものの外總て聯合會に於て預入を受け而して聯合會は殖產銀行を唯一の親銀行として密接なる連絡を保ち所要資金は一切之を同銀行の融通に仰ぎ餘裕金は又悉く同行に預入する即金融組合、金融組合聯合會及殖產銀行は整然たる系統聯絡を形成し何れも其の機能を發揮し居れり如斯金融系統の整一と村落組合に於ける官選理事の任用とは恐らく金融組合の有する獨彩ある制度にして

聯合會が 所屬組合に對して行ふ業務の調査指導は金融組合事業の健全なる發達を圖るに最も必要なる措置に屬し聯合會が所屬組合の信用管理を行ひ居る點は亦金融組合聯合會の有する一特色である、要するに金融組合は單純なる組合員相互信用の結合に依りてのみ業務を營む內地信用組合とは多少其の趣を異にし其事業は常に巨額の借入金を以て經營しつゝある狀態である之を內地信用組合の範圍內に止るに比し金融組合の一組合平均貸付金額が其の預金の一組合平均貸付高は其の預金の二倍弱に達する(金融組合一組合平均預金六萬一千三百圓內地組合員『一萬三千七百圓』公衆『二萬七千六百圓』を以て組合員の預金に對し貸付高平均は八倍強に當る)而かも之が

取扱高は 信用組合一組合當は僅かに一萬七千餘圓に過ぎざるに反し金融組合に在りては實に十一萬一千九百圓の農工資金貸付の媒介をも取扱ひ居れるが如き殊に村落其他に於ける特殊の下層金融機關たる性質を顯はせるものにして斯の如き多大の借入金を以て組合員の金融を緩和し得るは一に上述の如き制度組織に依りて與へらるる信用と言ふべく其地方下層金融の疏通に關し重要なる任務に努力しつゝあり以上概說したるが如く朝鮮に於ける金融事業は何れも健全なる發達を告げ經濟の向上產業の開發に貢獻しつゝあり、彼の接壤地たる滿洲地方の所謂殖民地に於ける投機的冒險味あるが如き經營を爲すものでない而かも朝鮮に於ける產業は其の開發の餘地尚夥しく收集すべきもの又鮮くない、之等事業は將に內地資本の投下を待つこと切なるものなれば冀は能く朝鮮の產業及金融界の狀況を視察諒解せられ以て半島開發の資を寄せらるるに盡力せられむことを希望する

總督府局課廢合案
監察官參事官は廢止

【東京電報】新領土行政整理の決定したものは朝鮮樺太丈けであるが朝鮮總督府官制中

一、庶務部を廢し官房の一課とし土木部を廢して內務局の一課とすること
二、鐵道部に關する事項を削除し總督府の外局として鐵道局を設置すること
三、監察官制度の廢止
四、參事官を廢すること(この代りに事務官を置く)
五、職員定員減數に關する要正

等が主で二三の局課を廢止すべく第一回諮決は十二月中に行はるゝであらう

小學理科教科書の改訂を申込む

【大阪電報】大阪穀物檢查長中村兵治氏は今回小學校理科教科書中四年生第二十課[illegible]及び五年生第二十四課[illegible]の全然反對の箇所を發見し目下文部省當局に改訂方交渉中である

三ッ巴となつて猛競爭
長崎大連朝鮮航路受命運動

大阪商船會社が千五百噸級二隻を以て長崎大連朝鮮の航路に本月中旬より就航せんとしこれが準備中なる事は既報の通りで

就航期 の迫ると共に既に貨物の蒐集に奔走し居れるが郵船は未だ之に對抗する具體的成案は出來居らざる模樣なるも探聞する處によると同會社では目下貨物引合中なるを以て若し貨物吸收の上は之が何等かの對抗策を見る事となるであらうが朝鮮郵船は既に

數年前 より該航路に就航し居れる事は既報の如くであるが

何れか の一方に受命せしめんか他の社の失望は素より朝鮮郵船に及ぼす影響甚大なるを以て其決定については慎重中であるが何れまで競爭に依るか協定か妥協かは此問題の成行は頗る注視されてゐる

朝鮮内の電氣事業
發電力漸く三萬キロワット

朝鮮に於ける電氣事業は逐年進歩の跡顯著なるものありて鮮內主要なる都邑には夫々電燈の設備が完成して居るが本年度に入つてからも既に黃海道の兼二浦、咸鏡北道の羅南、慶尚北道の[illegible]、全羅北道の南原の四ヶ所に發電所を設立し營業を開始したが尚最近設計認可の區域にありて[illegible]今年度中には三ヶ所にも新設計認可あり電燈營業の運びに至るべく漸次電燈化しつゝある狀況にあり[illegible]見るに未だ鮮內の發電所は全鮮四十三ヶ所の發電所に於て僅々三萬キロワットを得つゝある極めて貧弱なる有樣であるが元來工業界に於て何等見るべき事業なき朝鮮にありては自然電氣事業の電力が一般に電燈用として供給される以外電動力の需用に乏しく從つて一般營業狀態も京城を除く以外の小會社は概ね營業難に陷り只單に收支相償ふ程度の不振狀態なれば其發達が遲々として振はざるも蓋し已むを得ざるべく將來に於ても工業界の興る來ざる限り鮮內の電氣事業界も又急速なる進步は當分望み得られないだらうと業者は語つて居た

府新廳舍指名入札者

京城府新廳舍建築工事請負指名入札者は左記十四名に決定し目下府當局者は六日發表したが來る十日午後一時より入札者に對して府當局は現場の説明を行ひ十五日午前十時より府廳に於て入札を施行する由

合資會社間組、同長門組、大倉土木株式會社京城出張所、合資會社有馬組京城出張所同清水組京城支店、荒井初一、高島樟一、多田順三郎、松本勢太郎、小寺忠行、小杉謹八、寺尾猛三郎、宮川和一、志岐信太郎

人事消息

▲岡大佐(軍高級參謀) 五日より二十三日迄北鮮に出張
▲西四辻大佐 七日より十日迄南鮮に出張
▲田路少佐(軍參謀) 同上
▲池田軍醫部長 十日より二十九日迄北鮮へ出張
▲樋口少佐(軍參謀) 十日より十三日まで元山へ出張
▲角田副官 同上
▲アルバート、ダブルユーパーマー博士 五日朝入城朝鮮ホテルに投宿同日午後二時半總督訪問後市內視察六日朝內地へ向け出發
▲弓削鐵道部長 東上中六日朝歸任

茶話

▲下岡總監は久しく東上中であつたが議事大成功の下に六日朝大元氣で歸城した▲愈々これにより大問題たる鮮鐵移管行政整理等がどしどし斷行せらるゝ譯だ▲而も本府に於ける人員淘汰の率は高等官二割乃至三割判任官二割五分と云ふから▲今本府だけで高等官百七十一人判任官七百八十二人と云ふ多數の人々が戰々として居る▲兎にも角にも誰かの中、誰か辭めねばならぬのだ▲首の矢は何れの者に飛んで來るかは不明だが、皆自らを反省すれば平日勤務は正しくであらう▲唯此の機に臨んでじたばたと騷でる必要はない、官吏たるもの大に度胸を定め一に其の日の勤めを忘れぬ事だ▲秋風颯々と肥ゆると雖も、內鮮を通じて吹く秋風の徒らに淋しき事ョ▲今は唯一葉飛んで天下の秋を知ることそ男子の本分と云ふべきのみ

東拓後任總裁
近く詮衡する

【東京電報】宮尾東拓總裁が依然其職に止まることは其政黨上にも多大な支障を生ずる關係にあるのみならず社內に於ても同氏に慊らざる者が多數ある狀態で政府としても適當の時機にその後任を詮衡したき希望で四日宮尾總裁が來京鮮總裁と協議を求めたが紛々此の儘信用に付いての議論が一段落ついた時機を見計らつて後任を選ばんとする意嚮であるらしい

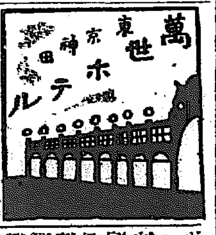
天氣豫報(七日)

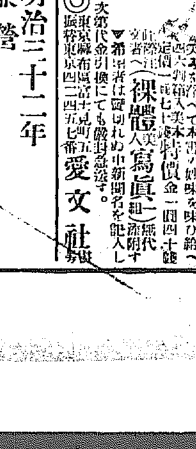
曇一時晴
六日 最高 攝氏十一度 最低 攝氏二度
滿潮(仁川) 午前一時 午後二時

憲政會で調査

【東京電報】憲政會では五日午後二時より政務調査會を開き[illegible]

[illegible]の戰報は不利となつた[illegible]戰の上陸せるに非ずや[illegible]と思はれる
[illegible]本に向けての戰報は不利となつた或は吳佩孚軍の上陸せるに非ずやと思はれる
[illegible]サス州から大多數を以て派遣された
[illegible]從つて行政部の職權を手に入れても立法部の支配は思ひの儘にならぬ事になる
[illegible]の大勢は不明であるが共和黨は大統領選擧に勝つても議會を左右し得る丈けの充分な數を占め
[illegible]クラシン氏巴里駐劄大使として任命の件は佛國政府の同意を得た[illegible]駐劄佛國大使エルベッテ氏は近く
[illegible]げて之を調査研究する事とした
[illegible]回の補償金として百二十五萬圓を領收した
[illegible]協合會議を開き十四年度改良費の細目に付種々協議し五時散會した
[illegible]計九百一通であるが成規に依り檢查の結果還付又は配達し得たもの內地へ宛十五通鮮人宛四十一通合計五十六通であると
[illegible]安定、滿洲方面は氣壓が低い爲全鮮一般に曇り中部地方は昨夜小雨洪德及龍岩浦は今朝雨 明日は曇り一時晴れて暖か




稀代の珍書 ▼若き人、獨身の人は▼讀むべからず！
柳種彥作▼ぬれ鳥 雛 草紙
亭作▼雪月花戀のふみ分
▲結びかの子染の紫
三冊合本 艶入畫本
絶本の秘書…江戸時代の發賣禁止の艶なる男女の情事に文藝稀なる妙筆にて露骨に描寫されたり日ごと夜ごとに結んで解けぬ戀の道獨り快心の笑みを浮べて本書の妙味を味ひ給へ
定價一圓六十錢(送料共四十錢)
▼希望者は賣切れぬ中新聞名を記入し注文者へ(裸體美人寫眞)無代附す
ハガキで『め』込ると中込次第代金引換にても發送す▼代金引換送料八錢▲前金注文送料八錢▲
◎振替東京四二四四五七番 東京麻布區富士見町五 愛文社

創立明治三十二年
倉庫業兼營
株式會社朝鮮商業銀行
京城府南大門通二丁目(鮮銀前)
頭取 和田一郎
副頭取 趙鎭泰
專務取締役 古宇田巖
支店 京城鍾路、同南大門外、同本町二丁目、東大門、同龍山、仁川、平壤、同本町五丁目、釜山、元山、水原、鎭南浦、群山、裡里、光州、全州(?)

木材販賣廣告
一、松角
一、角材原木
一、松丸太
一、大小長尺物共
一、松板類其他
右格安販賣仕候間御買上願上候
元山府泉町三丁目
原田商工社

ゆびはれ一切其外切疵腫物火傷痔疾等の大妙藥は
ゆびそう
定價拾錢廿錢三十錢五十錢
本舖 大阪東區瓦町 難波橋通り 中井馬讓堂
御求めの節は馬の商標に御注意あるべし

荊妻榮儀永々病氣療養中之處藥石無效本日午前二時死去致候此段謹告仕候也
追而葬儀之儀は本日午後五時自宅に於て告別式執行可仕候
大正十三年十一月六日
夫 佐藤德治
親戚總代 吉岡信一
友人 河谷靜夫
總代 石川庄平
加藤愛治

會葬御禮
父 緒方久
親戚一同
友人總代
熊本縣人會

富屋の二割引
昨年の本月八日は本町の大火にて類燒の厄に遇ひましたが先途第一に復興致し營業を續けて參りましたは皆樣の御援助の賜と厚く〳〵御禮を申上げます此の災厄の一週年を機として皆樣の御厚意に報ひ度く三日ヨリ八日マデ(六日間)正價ヨリ
二割引
富屋洋品店の思切つた賣出で又とない好機でございますから此期間を御利用下さいまして多少共御買求め下さいます事を御勸め致します
毛メリヤスシヤツ　オーバーセーター　ワイシヤツ　ネクタイ　手袋・靴下
京城明治町通り
富屋洋品店
電話本局二六九番

呪はれた七號機
秋風嶺で又も故障
京城へ飛行の見込なく
再び大邱に引返す

大邱に不時着陸せる爆撃機七號機は既報の如く破損箇所たる車輪の代品が六日朝平壤より職工と共に到着し直ちに現場にて應急の修繕を加へエンヂンも修復したので午前十一時十九分出發京城に向つた（大邱電話）

解體して平壤へ

「龍山演習本部發表」大邱を發したるエフ七號機は西の風強く秋風嶺の上空にて惡氣流にあい且つ再び故障を生じ秋風嶺より大邱に引返した本日京城飛行は見込なく解體し平壤飛行隊に輸送する事になり柳大尉は後七時京城着の筈

損傷程度照會

龍山演習本部では七號機故障の飛行中止の報に依り直に損傷程度を照會した

弱り目に祟り目
畑中に不時着陸

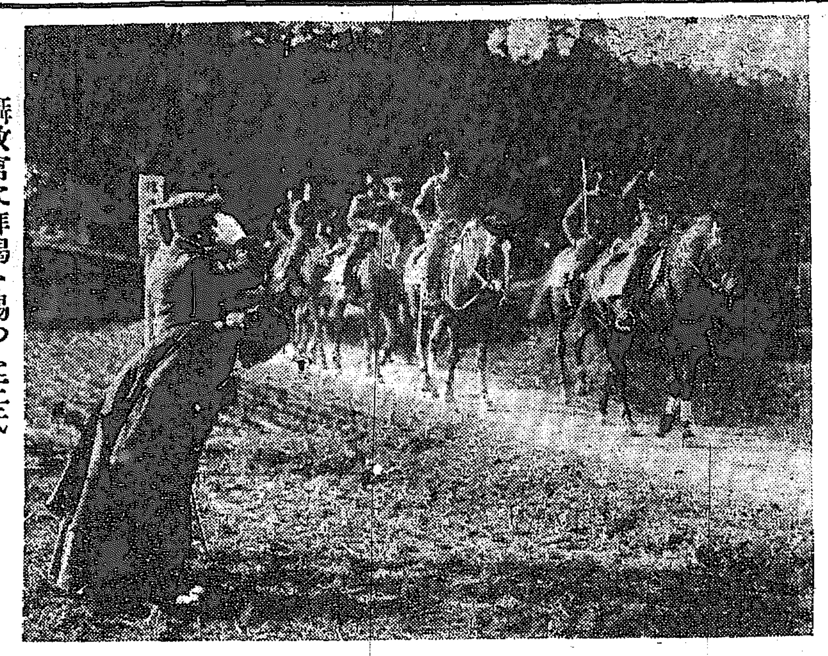
十一時三十分再び大邱に返した七號機は機關に故障ありたる爲め練兵場にすら着陸する能はず練兵場の北方に不時着陸したが畑地の表面に凸凹ありたる爲め又もや左發動機及車輪を破損したので五日の飛行は見込なし

兎も角難飛行
飛べない飛行機の御自慢

我航空界最初の壯擧として陸軍省航空部の擧行した所澤京城間無着陸飛行は心細い日本航空界の現狀を遺憾なく發揮して最初の十時間を以て一氣に京城まで飛ぶとの計畫は全然はずれ到る所で不時着陸をなし頗る氣拔けの態であるが兎も角も飛行である事は事實で箱根越への時は貧弱な機體と發動機を以て風速三十米突の低空を突破した事は恐らく外國飛行家でも之以上のレコードは造れまいと航空部側では自慢して居る（東京電報）

日本の氣流に
外國機は不適當
今度の飛行で遺憾なく證明された

今回の長距離飛行については日本としては最初の試みとし且つ軍事上期待するところ多大であつたが愈々實際飛行に當り兩機共故障に罹り途中で故障を以てし遂にその期待は裏切られたので陸軍側では少からず失望を感ずると共に世人の注目を喚起するに至つたが一飛行將校は語る今回飛來せんとする爆撃機は佛國式であるが歐洲では世界一周飛行其他で頗る優秀を認められ優秀な飛行機として定評あるものであるが我國の如き惡氣流が常に變幻を見つゝある中では殆ど信頼されざることが今度の飛行で遺憾なく證明されたのである、先づ我國では我國の氣流に耐へ得る樣な機械の研究を爲さねば到底軍事的飛行の發達は望まれ難い云々



攝政宮に拜謁を賜つた三氏

攝政宮殿下には十一月三日赤坂離宮外練兵場に御出遊に際し陸軍騎兵學校たる富山縣下新川郡道下村安倍孝兵大尉深川致雄、同縣射水郡新湊町歩兵少尉安川喜一郎兩氏並に女性にして陸軍に最も功勞多き同縣西礪波郡松澤村飯六郎宮の若女に對し特に拜謁を賜はつた

三人共謀詐欺
判決言渡さる

龍山元町二ノ九三濵築太郎（三二）同一ノ一二九小島嘉也（三七）及び竹添町三ノ五三九李相寧（二九）の三名は共謀し京城承認運送聯合の顧客先十餘軒から三千餘圓を詐取着服した事件は五日京城地方法院で三浦、小島は各一年李は一年半の懲役に處せられた

モヒを密送
郵便所で發覺

府內光熙町二ノ熊熙永（二一）は五日午後五時頃モルヒネ白五十瓦を小包として晉州に向け發送せんとし黃金町五丁目郵便所で發見され同日本町署に引致された

交番所を
青年會に拂下

行政整理で廢合され閉塞した府內各署の交番二十餘所の建物の處分方法に就いては各署夫々研究中であるが本町署では成るべく之を有効に使用したい趣旨の下に一、二の青年會から借用方の申出であるに對し拂下て公共用に供すると

統裁宮より勅語

統裁宮殿下には五日午後三時講評所に出御之より先閑院、久邇、梨本三大將宮御出場田中、町田兩軍司令官作戰經過の概要を奉告し次で河合參謀總長殿旨を奉じて講評を行ひ終つて左の勅語を賜はつた（東京電報）

朕參謀總長ヲシテ演習ノ經過ニ付キ講評セシメタリ今期演習ハ特ニ多クノ在郷將卒之ニ參加シ全般ノ成績概ネ良好ナルヲ認メ

朕之ヲ悍フ惟フニ國軍ノ現狀ハ統帥ノ卓越ト訓練ノ精到ニ待ツモノ前ニ多シ爾將卒益々志氣ヲ振興シ堅忍砥礪以テ其大成ヲ期セヨ

軍人分會懇親會

龍山在郷軍人會京城第五分會では來る八日明治町淺花館で秋季總會を開催し午後七時半から懇親會を開催する

友人を蹴殺す
結婚式の歸りに

府內梅下洞二六八李昌龍二男事務局職工李相弘（三二）は體府洞二四八の李敬福（二三）と去月十五日靈平倉里の友人の結婚式に參加し歸途口論のはて李敬福は李相弘の急所を蹴りつけたのが原因となり發病した同人は直に南大門通りのセブランス病院に入院治療中六日朝五時頃遂に死亡したのを探知した本町署では同日加害者を引致し取調中

安滿航空部長
自動車で神域を穢す
安滿氏は恐懼謹愼し
神宮では不問に附す

去る三日の明治神宮例祭日當日午後一時十五分陸軍航空本部長安滿欽一中將が航空部の自動車に乘り明治神宮の神域へ守衛の制止も聞かず乘り込み星旗竿に觸れ込んで神宮鳥居より第一鳥居を潜り神鎭座以來の大不敬事件を惹起し大問題として關係者間に之が論議せられて居るその後安滿中將も非常に恐懼して陸軍大臣まで進退伺ひを提出し目下謹愼中であるこの問題は公となれば安滿中將は勿論一戶宮司、東京府知事、內務大臣、陸軍大臣にも累を及ぼす事となるので殊に安滿中將も非常に恐懼して居る事なれば神宮に於ても內濟にすべく鈴木宮司に報告したのみで不問に附して居る（東京電報）

誠に遺憾
軍司令部將校談

安滿中將は久しく朝鮮軍參謀長として京城にあり、今春中將に陞任すると共に航空本部長に榮轉した事は尙世人の記憶に新たなる處であらう、右不敬事件につき軍司令部の某將校は語る『中將が神域を汚したなどゝて何うしても受取れぬ中將は人も知る通り溫厚篤實の士であるから夢にもソンな無茶な事をしやうとは思はれぬ、無論何かの行き違ひから起つた事とは思ふが假令行き違ひにしろ、是が事實とすれば由々しき大事件と云ふべく中將の爲め誠に氣の毒に堪えぬ、人生蹉跎たり躓ひけドンな處に潜んで居るか全く分らぬものだ』

同源號還る

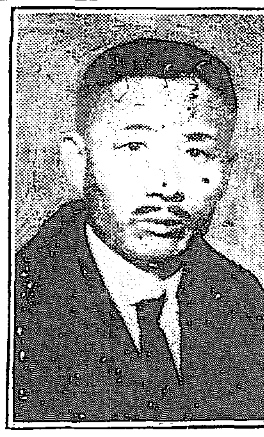
直に拿捕され秦皇島に抑留中の同源號（英商源來洋所有）は直に軍の決定に乘じ拿捕より脫して大連に逃げ歸り船長櫻田榮次郎氏は昨夜營地に歸着した（營口）

破損した八號機
太刀洗發は未定

所澤八號機の損傷はプロペラーを破壞したるため所澤航空隊にその代用機の送附方を電報したので所澤航空隊では五日急行列車にて太刀洗へ向け發送した依つて京城飛行は目下のところ未定である（太刀洗各師山演習本部着）

八號機は八日朝
太刀洗を出發の豫定

演習本部着電に依ると離陸の際プロペラを破損した八號機は今六日所澤航空隊より代用品を急送したので太刀洗發は八日午前八時頃の豫定であると



爆彈犯人　金祉燮

無着陸飛行は
不成功に終る
山中大尉内地へ歸還

練兵場附近の畑中に不時着陸せる七號機は着陸の際發動機を全く不能となし後部の車輪及機體の一部を傷損したので之が修理も不可能なるを知るに至つたので機體は直に解體に着手し約一週間の後に內地に輸送飛行將校も歸還する事となつたから我七號機の京城飛行は全く不成功に終つたのである本日の操縱者山中大尉は語る『昨五日午前十一時十九分に離陸する時から既に機關に故障を生じてゐたが修理も思ふ樣に行かなかつたので大邱市外に不時着陸するやうになつたのをヤツと爲すまで漕ぎつけた譯である機體は御覽の通りだから解體して歸ります實に秋の寂しさを感じますよアハヽヽ』

記念グラウンドの
敷地買收交涉
兩者の意見は略一致した

澤村府內務課長大森同技師等は五日午後四時より府廳に於て朝鮮商業株式會社長古賀貞周氏と訓練院記念グラウンド敷地買收交涉を開き七時半頃會見を終つた由であるが本問題に就き澤村課長は語る『昨夕古賀社長との會見で一部土地は買收し一部土地は府有地と交換すると云ふ事に兩者の意見の一致を見出したとは甚だ幸である、何處の府有地を以て交換するかは一寸只今の處明言する譯には行かないが會社の土地二千坪は交換とし古賀社長私有地五百坪は買收するやうに殆ど六分通は決定したと云つてもよい位の相互に諒解が出來たのである、更に第二の會見を七日頃開く筈であるが目下谷府尹が出張で不在中であるから決裁を仰ぐ必要上兩者間に正式の契約締結は行かぬだらうが府尹も中旬頃に歸任するでせうから其上で最後の決定を見ると思ふ』

秋季圍碁大會

京城に於ける圍碁界は三段從本能太郎氏が十年一日の如く指導に努めつゝあるので漸次發展を遂げ今では有段者の數も少なからず前途に望みを囑さるゝ新進氣鋭の士も續々として現れて來た折柄、同氏の主宰する明治町開聯友會發起の下に來る九日（日曜）を卜し府內本町一丁目樋口金物店樓上にて秋季圍碁大會（正午より午後十一時迄）を開催することゝなつた。會費は三圓（夕餐を呈す）優勝者へは一等より十等まで賞品を贈るべく一般同好諸士の飛入出席をも歡迎する由當日は火の出るやうな好取組も多く定めて盛況を呈するであらう

紅白競獵會

朝鮮獵友會では來る九日京城驛一番の山陽線以北で第二回の競獵會を行ひ引續き十一日全會員を二分して紅白に分ち競獵會を行ひ終つて會員の懇親會を催する筈で六日夜幹事の相談會を開く筈

選手以外の
學生に體育强制
文部省が諮問案提出

文部省では今回全國各地の直轄大學、高等學校及び專門學校に通牒して『學校に於ける體育運動の振興に關する方法如何』との諮問案を提出し來る二十七日より三日間文部省に於て各學校より代表者を集めて各々の意見を聽取することゝなつた、これは從來日本の學校では選手以外の大部分の學生は運動もせず體力も劣つて居るのでこの多數の學生にも强制的に體育運動をせしめやうとの企てに依るものである【東京電報】

龍山署の近所に
二人組の强盜
夫婦を脅迫して十圓强奪し
電燈を消して逃走

六日午前一時五十分頃元町一丁目七番地（龍山署より半丁離る）雜貨商小川八十八（四〇）方へ二人組の强盜が押入り奧六疊に就寢中の主人夫婦を起し金を出せと凄文句で脅迫するので妻は腹卷の紙入から有金全部（十圓位）を差出すと賊は直に電燈を消して何れへか逃走したので直に龍山署にとの屆出で刑事數名は現場を臨檢すると同時に直に非常線を張つて搜索したが未だ逮捕に至らぬ因に賊は一人は廿二三歲位一人は廿六七歲位の勞働者風の男であつたと

金祉燮
無期懲役

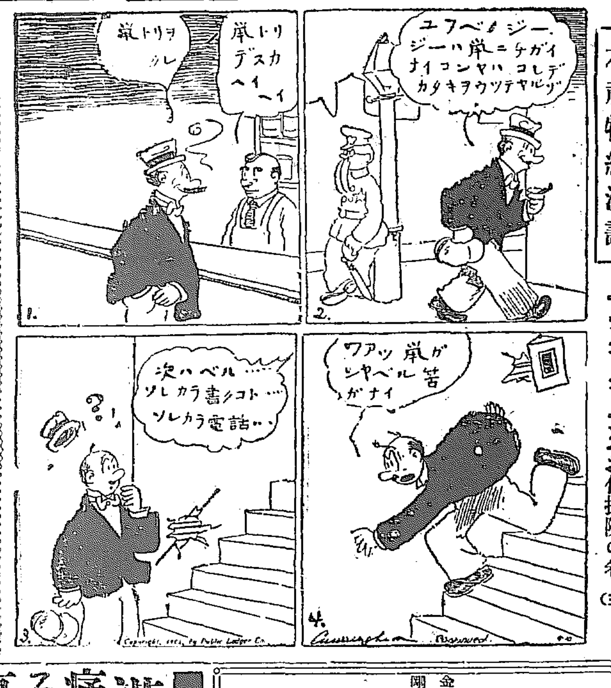
二重橋爆彈事件の犯人金祉燮に對し六日無期懲役其他に左の通り判決があつた（東京電報）

懲役七年　秀島廣次
懲役三年　小林開
懲役六ヶ月　黑島種助
懲役六ヶ月　小林幹一

紹介

一富屋の二割引　京城明治町通り各屋洋品店にては去る三日より各商品の二割引を始めたが賣出早々より客足頗る多く店員は非常に多忙を極めてをる賣出期日も愈々八日迄の由

本社特約漫畫
マツク、グーフスお化探險の卷（三）



人事一切の鑑識
數理より觀たる
人事一切の鑑定は恰もエツキス光線の如し、成功者も失敗者も相談あれ
京城櫻井町一丁目四十七番地
松月庵
哲學士 柴田悅堂

支那が生んだ世界的家庭遊戲
麻雀カード

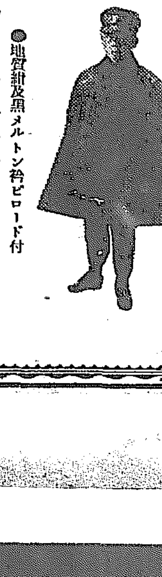
寫真美麗高價
麻雀カード
計算札百枚付函入 特價金貳圓
說明書 麻雀の研究 實分の內無料添付
御注文次第送料無料
發賣元 家庭娛樂研究社 京城黃金町二丁目 振替京城二三五八〇番
京城日報代理部 振替京城三〇〇番
特約販賣 日之出商行 京城本町二丁目 振替京城四〇二番

旅館 高砂屋 電話五四〇番
當館は見渡す限り海に面し三階建にして各室共海に面し…
眺望！風景！誠意！に居心地よき高砂屋
四季の溫泉は 天下の樂都 別府！旅館は 高砂屋

滿員御禮
痛快絶極
幕末巷談
憂國の士
全十二卷の內前篇六卷
高踏的作品
來れ愛國者
日活直營 喜樂舘

金剛山松實入
金剛
柏子果
電話本局二十七 四七五
龜屋

男子マント（頭巾付）
◎地質紺及黑メルトン衿ビロード付
一尺八寸 十圓也
二尺 十一圓也
二尺二寸 十二圓也
二尺四寸 十三圓也
二尺六寸 十四圓也
二尺八寸 十五圓也
三尺 十六圓五十錢也

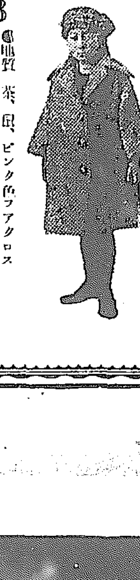


學生外套
◎地質黑ラシヤ朱子總裏付
中學一、二年程度
A 十六圓
B 十九圓
◎寸法に依り値段相違致居候間御照會被下度候

女子マント（頭巾付）
◎地質流行色メルトン 衿ビロード付
一尺八寸 十圓五十錢也
二尺 十一圓八十錢也
二尺二寸 十二圓八十錢也
二尺四寸 十三圓五十錢也
二尺六寸 十四圓八十錢也
二尺八寸 十五圓八十錢也
三尺 十六圓八十錢也

A 通學オーバー（實用向）
◎地質鼠グリーン色玉紺裏色朱子衿ベヤスキン付新型
一尺六寸 十一圓五十錢也
一尺八寸 十二圓五十錢也
二尺 十三圓五十錢也
二尺二寸 十四圓八十錢也
二尺四寸 十六圓也
二尺六寸 十七圓五十錢也

B 通學オーバー
◎地質 茶、鼠、ピンク色フアクロス裏朱子衿共切又はベアスキン新型
一尺八寸 十五圓五十錢也
二尺 十七圓五十錢也
二尺二寸 二十圓五十錢也
二尺四寸 二十二圓也
二尺六寸 廿四圓五十錢也



地方より御注文に就て
◎マントは御寸法をお知らせ願ひますれば御見計の上御送り致します。但し不向の節は御取替致します
◎オーバーは御一報次第地質見本に寸法表を御送り申ます。

京城南大門通二丁目
株式會社 丁子屋洋服店
電話（本局）二二〇、四二九、四八八番 振替京城二八番

年內休日なし毎日夜九時迄營業

紙幣僞造
事件は朝鮮銀行紙幣僞造團の連類者で鐘路四丁目某所に於て目下取調中
飮んだ申譯に
總八百の訴へ
（二）はその當大根代十一圓を飮んでしまい申譯に僞證を申出た
第二日目朝鮮選手の成績
八百米決勝 五等 遠藤竹三郎
千五百米決勝 二等
に緊張を續く、八百米決勝は精鋭八人遠藤君はスタートを誤つて第一コーナーにて尻に落ち一周の後
四の猛進を續け遂に二人を拔き最後の二十米位にて一等の淺野を猛烈に追ひしも遂に約一米の差にて
れ共三等に入賞せしは拾ひ物なり千五百米は田島君の百、と二百米に各二等吉田君の四百米に二等他は全
不定江田一太郎（二〇）は六日午前四時頃黃金町八一のカルボ屋に侵入
された本町署で取調べ中
漢洞公普落成式
喜 映畫 憂國の志士 6 ― 村の悲劇 5
京城

大阪行鮮米積荷船

四社限定大反對

近く委員上阪解決せん

【群山】過日大阪米穀會より朝鮮より大阪へ移出する米穀の積み荷を十月一日以降大阪商船、尼ケ崎汽船、朝鮮郵船、互光商會の四社に限定し夫れ以外の船舶にて輸送するも荷受けせざる旨を朝鮮各地の米穀組合又は移出米商へ通知し來りたるより群山を始め各地の米穀組合並びに移出米商は其の不合理なるを難じ之を承認する能はざる旨を回答し一方朝鮮米穀商聯合會より抗議を提出したることは既報の如くなるが右に對し朝鮮側に於ける反對意見は

一、斯かる重大事項を豫め朝鮮側に交渉せず唯一片の通告にて實行せんとする大阪側の行動は穩かにあらず

二、朝鮮より移出せる穀物は凡て大阪着契約なるを以て大阪着迄の積荷船の選擇に付ては運賃保險等の費用及び危險を負擔せる朝鮮荷主としては自由にして荷受主の干渉すべきものに非ず

三、若し荷受主にして積荷船を選擇せんとならば須く今凡て移出地乘船取引に變更し運賃、保險料等は勿論積込後一切の責任を荷受主自ら負擔し且つ買付けたる穀物に對しては信用狀を發するを當然とす

といふにあり而して其後大阪側にては如上回答に接するや龍山四社の外に山下、川崎、澤山の三社を加へ都合七社として問題の緩和を圖らんとせしが朝鮮側は例令四社が七社にならうと限定の趣旨に變りなきを以て大阪側の意見には徹頭徹尾反對する能はずされど當面の問題にては要領を得ざるを以て近く朝鮮各地の米穀商組合より委員を選定して上阪せしめ大阪側の當事者と折衝を重ね解決を圖るべしとのことである右問題に關し一部に噂さるゝ如く限定船主側が荷主に對し運賃の値戻を爲さんとの運動より出でたるものとすれば右は民事又は刑事上の問題を惹起すべき原因となるであらうと某辯護士は語れりと

間島出穀

大豆五千萬袋

【清津】間島の收穫狀況を視察して歸つた清津穀類組合の幹部西氏の談によると、白豆、小豆は全然見込がないが、大豆は去年と大差が無い、夫れと云ふのは三割位の減收にはなるが、天圖鐵道の局子街や老頭溝に向つて延長されたので奧地からの輸送力充實したので去年よりは搬出能力が多くなるからで、今年も矢張り五千萬袋に上るべく、今年の相場は例年の標準値より五割高だから奧地の農家の懷具合がよくなり息を吹き返すであらふ

新義州港貿易

【新義州】新義州港客月中の對外貿易狀況を聞くに對外貿易額は輸出五十二萬五千五百七十九圓輸入二百八萬九千百二十六圓合計二百六十一萬四千七百五圓であるから前年同期に比較すると輸出九萬八千五百六十九圓輸入二十八萬三千二百七十三圓の何れも增進で合計三十八萬一千七百四十二圓の增加を見た其輸出では米、籾及綿織絲セメント原木、豆、叺などが增進で魚類、牛皮、楓葉、鐵等が不振輸入では大宗たる粟が激減し石炭板等が減退を見たが綿織糸を主として原木、蕎麥等概ね好況を告げた次第である、此の內米、籾の增加は米穀組合の影響に依り鐵器等の減少は纖維的現象であつて殆ど安東縣仕向の物で仕出地は京義線兩市、宣川、車輦館等であるといふ又對內地貿易は移出二十五萬二千四百五十四圓移入七萬三千九百八十二圓合計三十二萬五千四百三十六圓で前年同月に比し移出が三千百十八圓移入は二萬七千六百三十六圓と對外貿易の增加に反し何れも減退を見た、これは移出に於て精米の出增があつたが大豆、黑鉛木材に於いて減退し移入では小麥粉、綿布、セメント等皆無に終り織類不況が原因してゐる

荷揚場埋立 (着手)

【清津】懸案問題視された二十萬圓起債も愈々其筋の認可と成り、其うちに含まる事業の一つとして清津の新埋立(稅關前側の海岸を埋築して荷揚場たらしめんとす)工事も目出度二日を以て地鎭祭を執行起工の運びと成つた、當局の意向では來年九月末日までに完成せしむる筈で、今期は多季結氷中にも工事を休止せず、人夫を減員して從業せしむる筈だが主力を注ぐのはドウしても明春以後に成るであらう、工程の全體の三分の二は埋立によりて得られ、三分の一は埋立に要する山の手の切り崩しアト地として出現することになるのである

下水工事許可

【平壤】平壤府の下水工事及汚物捨場設置工事は今回總督府から許可の指令に接したが下水工事の方約八萬圓を投じ南門町ミカド前から東町公設市場附近を通過して普通江岸に流下する工事と萬壽方面に十數ケ所、船橋前等にして汚物捨場は普通江沿岸に約一萬圓を投じて十分設備を施さんとするので此等九萬圓の資金は帝國生命と千代田生命の兩社から借りる事になつてゐる

若木水利組合 (創立)

【大邱】慶北漆谷郡若木面內の若木水利組合創立の事に決定したので三日午後一時から同面事務所に於て其の創立委員會を開いた、道よりは小島農務課長、木村技手が出張し郡よりは郡守、勸業課長臨席地主の集まるもの約百五十名、何れも水利組合組織の件を承認し創立委員として左記十一名を選出した因に同水利事業の工費は約十萬圓を要する見込みであると

金東興、金兆鎬、金鎭漢、吳濟世、金派玉、張翰相、崔備鉉、依馬海治、李正雨、金夏教、金教濟、申鉉昌

元山鮮商金融

一時破綻者續出の噂が傳へられたが何うやら難關は切拔けた

【元山】元山組合銀行に於ける十月末の帳尻を見ると貸出四百七十九萬一千餘圓、預金二百八十二萬二千餘圓で之れを同月上半末に比べると預金に於て一萬餘圓の減少貸出に於て六萬餘圓の增加となりこの內には公共團體に對する貸出も含んでゐるが出穀季節に入つた關係で融資金の需要を喚起すると共に大體に於て貸出增加の步調を辿つてゐる、例年十月に入り大豆の出廻りが增すれば資金の需要を增加し銀行の帳尻は膨脹する無論今年は不況の影響で貿易商の思惑は全く消滅し單に需用品のみ仕入れを行ふに過ぎぬ狀態であるから今後盛期に入つても著しい增加は見られぬかも知れぬが二月頃迄は多少なりとも增加步調を辿るであらう最近鮮人間の金融の梗塞は益々甚だしく却て一部鮮人方面には破綻續出の噂さへ傳へられたが不況以來各自の警戒が相當に加へられてゐたお蔭で癒着は左程深刻では無く何うやら整理の見込のある者が多く先づ無事に越冬が出來るだらうとの事、併し銀行方面は少しでも危險の兆ある貸出は一切行はず手堅い取引のみを選んでゐるので貸出し高に一向殖えない、今鮮人方面に取引先の多い韓一銀行及商業銀行の要店を見ると

	七月末	十月末
貸出		
韓一	[illegible]	[illegible]
商業	[illegible]	[illegible]
預金	七月末	十月末
韓一	[illegible]	[illegible]
商業	[illegible]	[illegible]

等あつて七月末に比すると十月末は貸出し預金共に減少してゐる、例年であれば出穀期に入つた關係もあり又冬物仕入れ資金の需要も起るので幾分でも增加を示すのであるが一般前途の不況を見越して商人は常用品のみ取引を行ひ勝ちに時機後れの商賣を辿つてゐるに過ぎぬ所から左程資金の需要が起らぬ譯であらう、何分不景氣は相當深刻であつて是は大勢に順應せねばならぬ事であるから獨り元山のみの緊縮を求めるのは不可であるが今日の樣に餘りに大事を踏み過ぎて退嬰的の取引を行つて居ては何時迄經つても商人のウダチは上るまいと云ふ意見もあるが今日の場合、警戒的取引の一路を進むは尤もな事を得た事であると云ふ意見が有力者間に多いやうだ、兎に角鮮商人も大いに弱つて居るらしいが今日以上の破綻者は恐らく出さぬであらうと觀測される

平南國稅收入豫定

四百十六萬圓で第二位 砂糖消費稅が二百萬圓

【平壤】平安南道本年度國稅收入豫定額は合計四百十六萬三千圓で內重なるものは地稅六十二萬圓酒稅七十萬一千圓鑛區稅土地稅代三十一萬九千圓で最も多額なのは砂糖消費稅の二百二十四萬圓である砂糖消費稅は曩の東京震災に依つて日本製糖會社東京工場が燒失したので本年から急に激增したもので其の結果を平壤工場で開始した砂糖消費稅は平壤工場は一ケ年約八十萬圓以外の消費稅だつたさうで一躍本年から二倍以上に增加したもので斯くなる迄は現狀を持續するだらうと言はれてゐる平安南道に於ける國稅四百十六萬三千圓を他道に比較すると京畿道が第一で四百八十六萬五千圓次が平南となり第三は慶南の四百三萬三千圓で一般稅が成南の六十七萬圓である然し平南は砂糖消費稅といふ特別な國稅があるから斯る地位にあるもので日本製糖會社の工場が出來ない大正九年頃は僅に百四十萬圓で京畿慶南慶北全北黃海の次に位してゐた

大田面協議會

【大田】大田面協議會は七日午後一時より面事務所會議室に於て開催左記各項に就き審議する筈

第一、大正十三年度歲入歲出豫算更正の件

第二、二等道路改修に關する件(大田公州間國道中大田地方法院支廳前より兵營前稻荷道路に至る間を直線に改修方大野與三郎外三百十三名より陳情書提出に對し意見を徵する爲め附議す)

第三、一等道路敷設路線に關する件(天安大邱間の國道敷設せらるゝ場合本面管內路線の市街計畫に伴ふ施設に對し意見を表する爲め附議す)

平澤て不正米發覺

米檢規則の缺陷暴露

【平澤】近來各所に於て折々不正米の發見されるを耳にする折柄最近平澤驛構內に於て不正米發見され極めて秘密裡に調査して居る模樣であるが、事件の眞相は嚴秘に附し窺知するに由なきも、巷間傳ふる所に依れば各所に於ける不正米事件の事例に鑑み平澤驛檢査支所長が部下を督勵し、之等不正米の防止警戒中、去る三十一日夜平澤驛構內穀物置場に於て何者か四等合格米入りの叺作りを改造中の者あるを發見し、嚴重取調べの結果籾取扱高檢斗の所爲なる事と判明した模樣であるが、同人は前日三十七叺の玄米を受檢し之が全部四等に合格したるものを翌夜人知れず無檢査の粗惡米と入替へ買主を欺瞞せんと企てたもので、同人は曾て西村檢査員在職當時も類似の行爲をなしたる事ある風評に當局に於て極力之が調査中の模樣である、不正米が群山に於て發見され其後折々發見されるは我鮮米の聲價を向上せしむる上に於て決して輕々に看過すべき問題でない、宜しく徹底的に不正者を取締り之が撲滅を圖らなければならぬのは勿論であるが、現今の米檢規則では封緘紙を破壞せずして入替をなす事が出來る缺陷がある爲往々にして此種の犯罪を見る譯である事件の成行に就ては一般當業者は多大の興味を以て注視して居る

慶北の傳染病

【大邱】去る十月中慶尙北道內に於て發生したる傳染病及本年一月以降の累計並に月末現在の患者は左の通りである

病名	發生	累計	現在數
赤痢	一三名	一〇三名	一二名
腸チフス	二九	一四九	二九
パラチフス	〇	一七	一
痘瘡	〇	二六	〇
猩紅熱	〇	三三	〇
發疹チフス	〇	四	〇
ヂフテリヤ	五	二六	一
流行性腦炎	五	二八	三

但し內二十七人は嗜眠性腦炎

海藻回着漸減

【木浦】海藻類は追々時節を經過した爲め回着數漸次減少し十月中木浦に回着した數量は合計五萬三千六十七斤金額一萬三千百五十一圓で主として天草、海蘿等であつた

標語と俗謠

當選者發表

【大邱】來る十日より慶北金泉郡金泉に於て開催する慶尙北道畜產聯合會主催第一回畜產共進會の副事業として畜產資料展覽會を開催する爲め畜產に關する標語及び俗謠の懸賞募集中であつたが審査の結果當選者左の如し

◇標語の部 一等牛の心で牛を飼へ(尙州丹羽辰夫) △二等家畜と子供は愛に育つ(迎日李永守) △二等父は牛母豚飼ひ子は鷄を(大邱宅間史任) △三等一種二飼三手入(達城平田常盤) △三等鷄買豚養豚買牝(聞慶崔換基) △三等二頭の畜も牛の汗(永川李三得)

◇俗謠の部 一等牛肥え豚肥えにわとり肥えて農家肥ゆれば國も肥ゆ(安東節迎日澤田シメ) △二等島國の基の農家に畜產す▲め、豚肉鷄卵に生るれば、入肥へ土地肥へ米も殖へやがて又榮えん高麗の國(慶州江西金泉不明) △三等花も實もある慶北牛は內地農家に嫁に行く(安東節迎日中島鈴) △三等朝鮮で誇りたいのは米と牛、牛がなければ米出來ぬ、其の數百と十六萬ほんに又貴き牛の國(慶州江節達城小森倉松)

岐路に立つ南浦病院

慈惠醫院實現は大正二十年後 こんな迂遠な問題に沒頭すな

【鎭南浦】鎭南浦府立病院は經營難の通り建物は腐朽に傾き內部の諸設備も貧弱で勞々醫員の補充さへ困難な狀態で勢ひ營業成績も不振に陷り府は每年八千圓の補給を爲して僅に收支を彌縫するに過ぎぬ爲移轉改築若くは慈惠醫院分院として經營すべく論議せられてゐる折柄最近『一萬圓の支出をすれば平壤慈惠醫院分院たらしむる事が出來る』と某專門家が發表した爲めに一部の府民は多少惑はされたらしくも思はれるが之に就いて澤永府尹は『慈惠醫院問題は既に昨年も論議せられた問題であるが僅に一萬圓で出來ると早合點しては大變である。即ち假令一萬圓を平壤慈惠醫院に寄附し鎭南浦分院が出來たとしても施療患者激增に依る收入減一萬圓之に對する諸支出一萬圓都合三萬圓見當の支出を除儀なくされる事は朝鮮に於ける馬山及び晉州の出張診療所が當初の豫想に反して今にその解決がつかぬ事に徵しても理解されるが一方慈惠醫院たらしむる事は總督府の既定計畫から考へても遽に實現される問題ではない即ち大正十七年度までの豫定計畫たる既設醫院の改築新築計畫の遂行を終へて前述の廢原、馬山の問題を解決し尙仁川、木浦、元山等の各府立病院に對する醫院設を考究した後でなければ南浦だけを認むる譯にも行くまい斯く推論して來ると現下の財政緊縮方針と相俟つて大正二十年後でなければ到底實現の望みはないと見てよい故に斯の如き迂遠な問題に沒頭するよりは府民に對する救濟といふ點から考へても成可く速かに之が改築移轉をせねばならぬと思ふ』云々と語つて居るが現在計畫中の新築移轉が實現すれば醫員の增聘、內容の充實も容易で同時に現在平壤慈惠醫院に走る地元鎭南浦の患者は勿論南浦と距離的關係にある黃海道方面からの患者も增加すべく病院の收支は相償ふに至るべく[illegible]財政上非常の節約を實行して居る本府でも府財政の基礎を確立する爲の財政緊縮と認めて工費起債も認可するであらう而して此の起債五萬圓は鎭南浦目下の財政狀態では何等の苦痛なしに十年間には償還し得る見込みであるから本府の意圖さへ判明すれば明年度豫算には府立病院新築移轉費十萬五千圓が計上せらるゝ事になる。

平澤米組新設

【平澤】兼て紛糾を重ね來れる平澤米穀商組合にては、岡本平澤署長並に振威郡守、振威米檢支所長等の斡旋にて圓滿解決を遂げ、五日新に平澤米穀商組合創立を告げ同日午後四時より同組合事務所に於て前記の諸氏列席し創立總會を開きたるが、組合員數五十餘名に達し、役員選擧を行ひたる結果左の通り選就任した

組合長李鼎俊、副組合長森賢吉、評議員高崎利信、李成烈、金鍾來、金炳哲、坂內恒太郎、李鍾九、李河善、監査役成周漢、安鍾喆

大田面長

後任選定協議

【大田】江田面長辭職以來後任詮衡中の大田郡守は面協議會員並に學校組合議員を招集して數回に亘り協議する所あつたが最適任者として人格者であり市民の信頼も厚き鐵道局石坂次郎氏推薦の事に異議なく決した氏は目下病氣療養の爲め下關に歸鄕中だが十五六日頃歸田の豫定であると伊藤郡守は更に六日午後一時より面事務所會議室に兩議員を招集し協議する所があつた

成川金融新築

【成川】成川金融組合は從來狹少なる鮮式家屋に其事務所を置いて執務して居つたが今回約一萬圓を投じて東明館横の一目邑內を見下す高地に建坪三十餘坪の洋館を新築し今月十五日頃落成式を擧行する豫定であると

全州狩獵大會

【全州】全州光州聯合會では二日の日曜日を卜して本年最初の狩獵大會を催したが出獵者二十七名に及んだ獲物は雉子四十五、鴨二十七、鷗十一、鶉三十三で一等から十等までの入賞、同夜銀杏屋旅館で盛大な祝賀會を催し天狗連の氣焔を比べたさうだ

掉尾の大試合 選手よ振へ!

九日開催 本社支局主催 南鮮六道庭球大會

【大邱】本社大邱支局主催大邱教育會庭球部及び玉村書店運動具部後援にかゝる南鮮六道聯合庭球大會は來る十一月九日の日曜日を卜し開催する筈であり諸般の準備も着々と整ひ、清州、釜山、大田等より外來選手の申込があり、地元大邱の各團體からは約四十五組の參加申込を受けて居たが、當時京城で日程が[illegible]した長崎高商野球軍と全大邱軍の試合が大邱の都合で十八、十九の二日間に變更を決する事となつたので、遺憾ながら庭球大會を延期する九日に延期した次第であつた、同社の準備は大邱に野球と庭球の大會を同一日に決行するが如きは無理であると云ふ點を慮つて開いて餘儀なく、この庭球大會を延期した譯であるから、參加各チームも十二分に之を諒とせらるゝ事と信ずる、扨て十一月九日は寒冷の時季を見はしまいかと危ぶまれたが、當日は十二分の人氣を呼ぶ事であらう、大邱の教育會庭球部及び玉村書店運動具部に於ても、各地の選手に對して盛んに歡迎すべく準備を進めて居るのであるから、當日の盛況は期して見るべきであらう、今回開催の庭球大會は本秋大邱に於ける掉尾の大試合たるを疑はぬ、南鮮六道の爲めに叫く庭球界の月桂冠は果して何人の頭上に掲げらるゝであらうか期して各地チームの參加を希望する次第である

運動會

【開城】開城松都高普公私立學校七校聯合運動會は五日商議所の滿月臺下の白參第二工場附近に開催したが當日は讀の秋晴に各校よりの選手兒童四千に選手應援者等一般觀覽者無慮二萬と稱せられ競技の四圍を埋めさしもに開場と同時に道知事の臨席するあり午前十時君が代の吹奏總裁山內郡守の挨拶に開會七校聯合體操に次き第一競技各校二男の競技に始まり豫定のプログラム四十八の競技を了へ午後五時山內總裁の發聲にて萬歲を三唱し閉會した

平壤製靴下不振

メリヤスや防寒靴の製造に遷り行く模樣

【平壤】平壤製の靴下は全鮮各地に販路をはするのみならず遠く關東州方面に及んで居たが近年と共に衰微し現在では十數軒の工場が存在してゐるのは僅二三のみであつて昔の如き盛況は見られない一時平壤の靴下は唯一の特產物として東萊大邱其他迄で販路を擴張し盛況を極め兎に角將來の有利な事業と見込まれたが其後の不況の爲め品質の粗惡から靴下が安價で仕入れられる事となつて次第に衰微に向ふに至つたといふことである、それで平壤の靴下業者は其の一策として製造販賣を改良し防寒靴を作りて販賣しつゝあるが之も一時的のもので平壤の靴下は一般にカタ落ちの状態である、之れでも昨年迄は四十萬打約五十萬圓餘の製品を市場に送つてゐたが今年は其の半額にも達しまいとの事で、これがため斯業者中には防寒靴及メリヤスの製造を兼ねんと計畫し防寒靴は昨年末頃に製品を出してゐるが平壤地方の如き寒地は地元で多數需要があるのと未だ朝鮮で他に製造所が無いので頗る有利だとの事である、メリヤスは機械が高價なのと技術を要するので未だ製造に着手されてゐぬが或る工場では大阪より數名の職工を派しメリヤス製造を研究させてゐるとの事である、斯くて一時朝鮮で鳴らした平壤の靴下も漸次衰微して防寒靴やメリヤスの製造に遷りゆく模樣である

群山在米漸增

【群山】群山驛在米の倉庫現在高は此の頃殖えて漸增の傾向にある[illegible]

議政府狩獵大會

【議政府】秋も漸く更け落ち葉も深くなりかけた折柄議政府獵友會に於ては去る二日日曜日白石面細池里山中に狩獵を催した參加者二十餘名午前十時目的地に到着直ちに山下領大を總指揮官として一行を二隊に分ち前後三回に亘りて包圍して三頭の大猪を狩り出したるも餘りに草深き爲遂に手負の儘逃がして終に一頭も獲ずに遺憾ながら雉子の少數に止まり料亭伊勢屋に官民有志を招待して慰勞宴を張つた

大弓競技大會

【咸興】咸興刑務所に於ては二日午前九時より大弓競技大會を開催出場者は咸平田所長外所員十五名にして源平二派に別れて作り其成績を爭つたが當日の優勝者は左の如し

一等大西氏二等卽平田氏三等村原氏四等江上氏五等田島氏六等磯村氏七等石井氏八等大久保氏九等江口氏十等貝島氏

大田

【大田】大田高等女學校三、四年生は過に京阪地方に修學旅行をなしたが殘餘の生徒並に一、二年生全部は七日午前四時三十五分大田發群山、群山の視察を了へて午後八時十五分歸校の豫定にて旅行をなす筈

教育品展覽會

【南川】南川五郡聯合教育品展覽會の最終日たる四日は朝來一天晴れ渡り煙火と共に全市に氣勢を添へた三日間を通じて入場者は約四千名で同展覽會は午後二時を以て無事閉館した

月限り全部引揚げの形で上流に殘つてゐるのは營林廠の役人と時々役掛する者より外はない譯である

流筏殆んど終る

【新義州】鴨緣江上流地方は既に初雪を見たる處あり分けて殊に晝間は朝夕結氷する始末で界隈の如きは何れも本年の流筏を終へ流筏夫は何れも歸鄕の途に上り殘存の鮮人獨り殘つて來る今春の流筏を了へると云ふ豫想であるが十數萬本があるが其れらは鴨綠江下流に流し本年中には全部片付くから之と云ふ損害もなく流筏を終へる見込である從つて其後を流下する筏夫以外は十一月中に大體に於て片付けると共に漸增すべしと

府吏員退料審議

【群山】群山府にては府吏員退職給料の件につき近く府協議會を開き審議すべしと

成興漏電多し

【成興】成興電氣會社に於ては頻發せる漏電試驗を十月廿九日より三十一日迄三日間に亘り施行したが警察保安課岩井巡査部長等の監督の下に屋內電氣工作物絕緣試驗及需用家の絕緣を改良し電燈に於ては六十餘ケ所の漏電を發見し會社では之等に對しては夫々缺陷の注意を與へる方針であると

南浦消防演習

【鎭南浦】鎭南浦消防組の秋季消防演習は五日午前八時半消防組頭鈴木署長の點檢後、府廳前廣場に於て數回放水試驗放水競技を行ひ終つて慰勞會を催した

光州雜事

◇全羅南道聯合教育會は十一月二日光州郡廳に於て總會を開き役員の改選をなしたる後土仁の講演があつた

◇全羅南道の大阪方面に出品をなしたるものは十數に及んで其の他に記念品を贈る事とした

◇光州地方にては過般懸賞募集をして居つたが一等當選の後其時は(光州)に於て懸賞を催す事になるであらう

◇光州郵便局では九日より一週間の豫定にて秋季[illegible]

慶北の米收穫豫想

第三回目は稍良好

【大邱】慶北に於ける本年の水稻作は非常の旱魃の爲め植付時期を失し爾來害蟲の發生あり一般に生育を阻碍されたる爲め秋分當時の第二回豫想は百六十二萬六千八十九石の豫想なりしが爾後天候順調にして比較的高溫打ち續きたる爲め稻の成熟狀況著しく良好となり十一月一日現在第三回の豫想は前回の豫想に比し約六萬九千餘石增し六十四萬九千四百七十六石となつた

二萬九十七石收入豫想百十三萬二十七石にて昨年同期の二萬七千六百八十四石に比し三千六百九十二石九十七石に比し

光州驛運輸

【光州】光州驛十月中の乘車人員二萬六千四百二十八人手小荷物二萬二千二百四十一個貨物發送三千百四十一噸到着收入八千百五十八圓六十一錢總收入七千四百九十

南鮮六道庭球大會

◇場所 大邱三笠町公設コート

◇時日 十一月九日‖午前八時より

◇申込 大邱京城日報支局(又は元町玉村書店宛)

◇制限 一團體三組以内(十一月七日限り)

◇會費 選手一人に付金壹圓(晝餐を呈す)

◇ボール 角一軟球ボール

主催 京城日報社大邱支局

後援 大邱教育會庭球部 玉村書店運動具部

港灣總會陳情報告

【仁川】全國港灣協會總會陳情開催に就て三日本府に出頭仁川の希望を陳情したる交渉委員は五日午後一時より商業會議所に仁川公職者の集會を求め陳情經過報告に今後の對策に就て種々協議する所があつた

二十八圓十三錢の減額にて之れを一日一哩平均收入にする時は十九圓五十六錢にて昨年同月の廿四圓七十二錢に比し五圓十六錢の減收である

害獸被害

三ケ月の 七十八件

【新義州】平北道內に於ける七月から九月迄の三ケ月間の害獸被害は ヌクテ三十二件約二十件狼三件熊二件猪三十九件合計七十八件であるが其被害人の死傷十一人家畜四十頭(此被害額五百八十圓)の外家禽の被害も相當に上つて居たが其の後捕殺した害獸は熊十三頭である

中鮮庭球大會

一、日時 十一月九日午前九時

一、場所 鳥致院庭球園コート

一、申込期日 十一月七日

一、申込金 一組金壹圓

一、申込場所 燕岐青年會

主催 燕岐青年會

後援 四郡聯合品評會協贊會 京城日報鳥致院支局 每日申報鳥致院支局 朝鮮日報鳥致院支局

平壤雜爼

▲変二八 を鑑へ鈴(?)懸賞を營んでゐた平壤府柳町八十三番地

▲船橋里 の防水設備が不完全だからこれでは安心して居られない家々を忘れず內地人の宅を取調べた所に四十九件三千六百餘圓を擔つてゐた事が大同銀行の小切手から足が付き逮捕さる

▲船橋里の防水設備は六十年又は三百年に一回しかない洪水に十分な設備は施せないと土木課の話を聞いたので三日三浦、松井、平松氏他二三の有志が府廳に押掛けて陳情したが府當局は今年から豫算の都合で[illegible]

▲陽德の 地方委員會林一家が[illegible]

仁川局業績

【仁川】十月中仁川局の[illegible]取扱比較增減左の如し(仁川)

▲爲替貯金の部 受入一五七、七七〇圓三一六九〇圓拂出一三〇、五五一圓八、七七〇圓增

▲郵便物の部 引受個數七、八五三、二三〇三通、六七減配達個數二二、〇一通二、六一減

▲電信の部 發信通數一七、二〇六、三一、一三增中繼信四、〇七三 八三增

▲電話の部 通話度數五二九、四八五 一七六、二二〇增

大田秋季淸潔

大田郡にては左記期日に於ける秋季淸潔法は左記期日に施行する夫々施行の筈(大田)

十一月七日本町一丁目、同八日榮町本町一丁目、同十日本町二丁目、同十一日春日町二丁目

警察部長巡閱

黃海道警察部長武井秀吉氏は大日より左記日程で管內各警察署の定期巡閱を爲す(海州)

六日長淵七日同泊八日長淵九日瓮津十日松禾十一日瓮津十二日殷栗十三日信川十四日同十五日歸廳

修養團支部發會式

【咸興】成興に修養團支部設置の目的より本部に照會中の處今回承認を受けたので九日午後一時より小學校に於て發會式を擧行する事に決定した

地方人事

▲藤谷作次郎氏(府尹)四日京城府內務課長同道安東領事訪問の爲出張(新義州)

▲吉田千太郎氏(京城地方法院)五日安東へ出張往(新義州)

▲大平仁川稅關長及藤原大邱高等法院檢事長、金泉品評會秩父宮殿下御差遣の爲め七日金泉へ八日出張(仁川)

▲慶尙北道內務部長鈴木氏(大邱)

▲大島龍氏(大田郵便局長)四日鳥致院へ出張(大田)

指環（創作）

［上］　綾路

青木は今月で期限の切れる質札の數枚を、手にした時、その中の『××礼入指環』と云ふ一枚を、みつめながら丁寧に、紙の皺をのして少時物思ひに沈んだ。

彼も一通り放蕩の、仲間入りをして、見事に現在では、お定まりの節か廻らなくなつてゐた。

それは、一昨年の夏の事である傷つけられた心を慰いて、遊里に足を入れて來た、他に慰安者を、持たなかつた彼れには、それが、如何に刹那的なものであるにしても、その雰圍氣に、ひたゝつて、苦痛の數分なりとも、滅ぜらるゝ事が、何よりの快よさを、感ぜさせたのである。足繁くなるに從つてS丸との仲は深くなつていつた。

最初は彼も、所謂かれ等社會にありふれた、手練手管であると、思つてゐたが事毎に彼女の眞實があらはれてゐる事を見ては、そう思ふのは、あまりに彼女に、對して濟ない様に思へるのであつた。そうする中に、彼もS丸に對して眞なる性愛のみを持つて、接する事が出來なくなつた時、いよ／＼となれば、如何にしても、現實化させやうと、決心もし、又强調の上から、云つても、可能なる事を信じてゐたけれども、ある事情の爲に少時靈居的生活を送つてゐたある一夜、籠智は靜まつて、遙かに離れた支那町から、胡弓のメロデイを耳にした時、デリケートな生活に憧れを持だずには居られなかつた。それからそれへと靜かな一夜を、懺み續け、たゞ溫良であると云ふよりほかに美點なき彼女との家庭生活なるものを、描いてみた時、それはあまりに、彼の憧れる生活とは、かけ離れたものに感つた。それ以來は、なるべく、遠ざかる様にしたいと、心掛けてゐた。

週然の事から、ある夜二三の遊友と共に、久し振にあの町の情緒に接して、思出の數々を有する彼女の部屋の事物は、流石に懷しみを覺へしめた。

『キーさん。遊びに來られないのは仕方がないとしても、手紙位は書けるでせう、書けなくつて』

『書かうと思へば、書けない事もないだらうが、書いたところでたいして、今までと違つて面白くもないからな』

『ぢやアいゝわ』

あんな社會には稀にみる、溫良な質であつた彼女は、これ以上を云はなかつた。言葉に現す事の少いだけ內心には、非常に、懺みの多い女であつたのである。

青木が一眠りして、起きたのは短い夏の夜の明け離れて、東が大分白んだ頃であつた、枕もとの煙草盆を引きよせ、敷島の淡い煙りを吐きながら、彼女の一番好きな薄桃色市松の長襦袢の袖から、こぼれた様に、あらはに投げ出された、白い腕、何の不安も、屈託も無さそうにして安らかに、夢路をたどつてゐる、その寝顔を微笑ましてはみる事が出來なかつた、殆ど一年間を、彼女と共に過ごしたと云ふてもいゝ位だつた青木は、やつぱり現在自分の盛れたる精神的後援者であり、遊離所である彼女を離れては、どんなに窒息な生活を續けなければならないかを考へた。

詩壇

詩二篇

京城　北原みさを

1

三ツになる弟にせがまれて
お夕飯をすました後で
南の國から──の歌を
歌つて聞かせるよ
弟は
うかれあがつて
私の膝にうまのりになつて
かしわ手を力一杯に打ながら
丁度、
卵が生れたときに
雌鳥のそばで
雄鳥が歌ふ
あの歌で
私について歌つた
弟にしか解することの出來ぬ
南の國からの歌を──

2

秋の日なればこそ
文ちやんは
紅の色を頬一杯にたゝへた
わくらばを拾ひ上げやうと
小走りに近寄つたけれど
秋の風は承知しなかつた
すぐと向ふの籬の中に
持つて行つてしまつた。」
眉をひそめた
文ちやんは
恨めしそうに泥まみれの
わくらばを
みつめて動かなかつた
つゐ袖を顔に……
秋の日なればこそ。」
──一九二四、一〇、一五──

擔軍

木内鳥棲

十字路のアカシアは
陰にすべき
秋の日は
鋭く光れり」
アカシアの木蔭
擔軍は
安らかに眠れり
眠れる彼は
何をか夢む
老へたる顔に
微笑を湛へて
微笑は
努力苦の盛観の覚ひか
寫し
努力苦に老へたる
擔軍は
微笑を湛へて
安らかに木蔭に
眠れり

ありふれた神

京城　池端英子

『何の爲の生存か』
ありふれてゐるがこればかりは
默眠を乾する人々の間を
心地よくすべり行く
ありふれた神といふ特殊な神が
人生的神の外にまだ居はしない
か
この流行語の暗中の後援者であり
同時に徹底的な厭世主義者である
彼が乾度潜んでゐるに違ひないの
だ
若しも彼を亡くなら
それは、この人生の恐ろしい革命
だ！
若しも敢て希ふべきを見つけたら
それは、憂鬱な暗い影にころがつ
て
殺れた魂と無能な肉體とに背立
つ荏親めた人々の所有だ……。
一〇、九

はんぎよくさん

京城　戸塚曙色

ぢきにわかりも
消えもする
かわいゝ
うそをおつしやつた
私の好きな
はんぎよくさん
何ののぞみで
左褄
いつたいとらうと
思ひのですか
今の
あなたの心さへ
かたくまもつて
ゐたならば
しらうと娘にも
なれるでせう
お嫁さんにも
ゆけるでせうに
正直もので
無邪氣に踊る
かわいゝ
あなたははんぎよくさん
一三、九、一七

短歌

秋より冬へ

在清道　平原勝郎

秋ふかき空のひかりを軒にして樹ごもり咲き谷の一つ家
山も野も寝れては霧のひといろにしづむさまなり月の下びに
風ふけばこもりて啼ける鵯の聲濡原の岩ら枯れにけり
蕎麥の花しろき畑ふの丘にきてあそぶ小鳥の聲はるゝ日よ
庭木みないちづくほどの風ふけば山々晴れて冬を待つなり
住みなれて幾日をへけむかすみつゝ黃枯れみゆる遠き野のいろ
松山の背きがなかにしろじろと芒たつみゆ朝山風に
軒ひくき農家の土間に柔やくと群ばち／＼と楽をやく火の焔にたてばいづれもさびし子等の顔かよ
ポプラーのそよぎかそけし寂々に眺の光の戀き頃かも
芒の穂しろくみだるゝ山かげを日ぐれの雨に急ぎけるかも
登りきて汗まだ冷ぬ山の上吹きくる風はまさに秋なり
この田居の稲のそだちの穂にみえてしづかに空の風わたるなり
秋はるゝ穂原のはてに日はおちて寒くかゞける洛東の水

寂日集

君島夜詩

秋すでに深くはなりぬ朝顔の花は日ごとに小さくなりつゝ
蒼空は高く澄みつゝ日ならべてみ空の色は濃くなりにけり

秋

水崎茜

君來り君去りて秋とはなりぬ。
逢見しは去年別るゝはいま。
ともに淵源の秋なりき。
あゝわれ
君を戀び君を思ひて
この秋をおくらむ。
一九二四　一〇

この日頃淺に心の落ちゐねば吹く風さへや悩しとおもふ
あきらめていまはあれどもおのづから面影しげぶ母を泣かする
おもてには出さじとすれどむらぎもの心の戀き出づるくやしさ
生きの身のいのちいとほしみ呑み離き藥をのむと起上りけり
日ならべて陽あしは弱くなりにけり木の葉の色は黃に變りつゝ
病みづきの聲の小床にひとりゐてしぐるゝ音を聞く寂しさや

母戀し

全州　柳井みさを

旅なれや朝戲なれや身一つをのどに落ちゐん家だにもなし
寂しくば母が待てりと思へよと言づれ毎に宣らす母上
ふとしては母戀しさを堪へがたみいさゝげの事に淚落しぬ

『歌壇時評』

△平凡人の幸福△

相川幽迷

秋風半島の自然に、涼味を惠み、吾等、幸福也。然して、半島の藝術論戰、漸く、活氣を呈せんとするの昨今、末席を顧ず小感を述ぶ。半島の藝術戰線に立つの諸氏、私情を超越して、藝術的良心の一路に、忠實なること、吾等、平凡人の幸福、是れに越したるは無し。

文壇に、詩壇に、歌壇に、智者、才士、堂々の筆陣を以て、藝術を評論せんとする、其の意氣賞すべく、其の意見、觀神經を鼓舞せしめて、平凡人の參考とすべく、研究の一助たるの名句良言無しとせざるは、亦、幸福也。

△

半島歌壇に、現今、名聲嘖々如く昂らざる、百瀬千尋氏對、眞人社の一平凡歌人、市山盛雄氏との歌評問答論は、現在、歌壇の一隅に在り、眞實に、短歌を研究せんとする吾々に、五官を緊張せしめて、結果を期待する。一現象を見せしめられし也

要するに、結果に於て、百瀬氏の前後を一括すれば、百瀬氏の無反省的私情混合性『柿の花』評に對して、市山氏の一平凡的淡白性『柿の花』『評の答書』として、結論に至りしものと、見らるべき也。

△

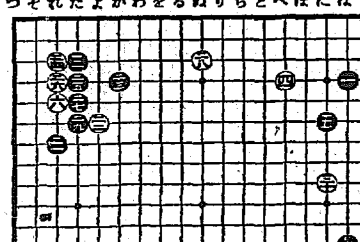
不幸にして、吾々、平凡人は百瀬氏の『天才は傑出した個性の具有者である。(中略)凡庸劣等な個性からは、決して優秀な作品を望み難い。』理想論には、一足も、接近を許されざる悲哀を、覺えせしめられたる也

百瀬氏は、自稱天才藝術家へ歌人)でゐられないなれば、吾々は、幸福と思ふと共に、平凡の平々凡々人である、吾々は、平凡人としての完成された生活に、努力精進しなければならない一大責任を感ずるもの也。

即ち、やがては、百瀬氏の『天才は努力せずとも天才である。』の言に、贊成しなかつた幸福を、痛感する日が、あることだから也。(完)一九二四、一〇、一三

圍碁新局 (三)

二初段　段先　欄本増淵　宇太郎　つた子



●四一	ろ十六	○四二	と十八	●四三	ぬ十七	○四四	る十八
●四五	へ十八	○四六	ろ十七	●四七	ろ十五	○四八	ろ十八
●四九	ろ十六	○五〇	ぬ十六	●五一	を十六	○五二	り十六
●五三	ち十七	○五四	わ十七	●五五	わ十六	○五六	ぬ十四
●五七	を十三	○五八	か十八	●五九	ち十六	○六〇	ち十四

父と母と倆れがよきと小便にふときゝて見ぬ母を戀ふる日
人故か君故か女故か懺みの中を果て知らず行く
病みぬれば母の面見ゆ眼見ゆ遠にひそみし母のまみ見ゆ
世の人の言はんを恐れ病む人につれなかりし悩病めば身にしむ
ともすれば身の戀慕ふ現身に病は神のそもいましめか
秋といふに日ごと衰行くわが姿見れば遠はし登上がりの後
痩せたりと言はるゝことの歌はしき今日ぞしみじみわが知り初めぬ
大龍に歌ふ家だになきものか若さを濁らすこの一すべを
半日を歌ひ疲れて見ゆる外國白衣に秋の陽ざし戰しも

船旅の歌

──南國より京城歌壇の諸兄に捧ぐ──

鹿兒島　村上霞威

醉ひの子等よ悲しからずまし。
醒むち醒むらたせつゝ暈吐せる船
醒むち醒むらたせつゝ苦しめる船
醉ひの娘らを見るに得堪へず。
船に醉へる悲しき子たちつぶして命絶ゆべく苦しみとほす。

×

とつぷりと日は暮にけり汽船を降りて仰げば空に月さやかなり
今われら降ろせし船の歌ひ行くあゝあんなにも波に揺れてさ
らさらと唐黍の葉の揺れに月の光りのさやかなるかも今日も赤
汽船は來らず海一ぱい眞白き波のとう／＼と荒る。(時化)
何といふ寂しいことぞこの島に今日は郵船が届かざりけり。
日影れば海ひろびろと灰色の冷き色に沈みけるかな。

×

ゆくりなくもすがしき朝となりたれば好まぬ旅さへ嬉しと思へり
さんさんと降る陽を浴びつ群がりて蟻蛉飛ぶなり驛の庭樹を
見まほしき去年の日記を思ひつゝ淋しき旅の俥の上なり。（九月一日より去年學生にて臨省中なりし）
街々に貼られし號外をいぶかりつ夢まことゝは思はざりしか。
島に來て唱きランプの灯のもとに去年の秋を思ひ泣けさ。
ほのぐらきランプのもとにひとりゐて鳴く蟲の音に包まれてをり
一人の子トロにしかれて死にけり出師蟷山に鳴きしきりをり

秋四題

水原樹元

夏の夜に聞き覺えけるチャルメラの哀愁の音さへ耳疎うなりぬ
農村の佗しき住居の一宿さ曲夕映けたる人の群
たらちねの膝に安らふ幼兒の顔ち見れば子欲しうなりぬ
ヴイオリン彈けど集ふ人ぞなし弓手總はせつ蟲の唄聽く

秋雨の夜に

開城西本町百十　石崎朝郎

荒みたる後の心の淋しさよ今宵はしみ／＼秋雨を聽く
『罪と罰』のソユヤにソユヤあまりに汝は悲しみの多き女ぞ淚して讀む
朝鮮の愛し少女がかざしたる緋色紅葉の美しき哉
朝鮮の愛し少女が揃えむるあえか眞赤き爪紅の花
生きるてふことの寂しさただに戀し曠野に來り戀へても見る

二八の年の歌

京城　こひつじ

夜の窓のランプの下の紅ダリア我十六の胸に咲くかな
米磨ぎて白く流るゝ水の上に赤うつれる我たすきかな
うづくまり胎の中に火を焚けば鏡にれし飯粒静かにゆらぐ

コスモス咲きぬ

三條みどり

物も云はで時來れば咲くコスモスの心思へば我も泣くまじ
すぎし日ぞ眞紅の鳳仙花拾ひ來て友と泣きしはこゝなりしかな

原料は最も優秀ですから
純無鉛製の白粉ですから
御賞愛は高し
美しさはお心のまゝです
いつも御安心して使へます

發賣元　丸見屋商店
本舗　伊東胡蝶園

狩猟用極上等絹特製
カスミ網
高サ六尺三間　三圓四十錢
二棚横巾三間
高サ六尺三尺　五圓五十錢
二棚横巾五間
前金に限り送料負擔代金引
換送料貳拾八錢
狩獵の時季は今ですカスミ網は小供でも取れます一時に數羽位は容易く捕れますから晩餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります
朝鮮京城永樂町
狩獵道具　吉備商會
電話本局三一二四番
振替四三二八番

外科皮徽科
內科
產婦人科
耳鼻咽喉科
X光線電氣科
各科顧問
醫
擔當
龍山練兵町（電話八二四）
泳仁醫院
院長　平馬左橘
（入院隨意）

明治町二丁目（公設市場前）
皮膚科
泌尿器外科
京城皮膚科醫院
一番ケ瀬慶次郎
電本局四〇〇五

髮を美しく黒々と艶を出しフケを去りて心地よく
ジヤスミンローズの香は舶來香水以上貴婦人紳士の愛用せらるゝ佳品なり
オシドリ椿香油
本舗　東京　京都　丹平上大兵衛

……東大門署司法係では一兩日來……總督府に活動中五日犯人二名を逮捕し身柄は……署へ押送したが……しかも……にかけられた……に押送し……ものであると……人組盜に嫌はれ現金廿一圓を……取されたと東大門署に訴へ出た……之助方に住十里一三一の野菜商……

米資金は需要高み
總額二千六七百萬圓に上る見込

昨今の金融界は出穀季節に入ると共に前月來より準備中であつた米穀の買付け資金需要期に入り全鮮各地を通じて一齊に繁忙期に入つて居るが今當地鮮銀並びに殖銀兩當事者の談によれば本年は全鮮を通じて旱害に依る作況不況のため需要資金も昨年に比し幾分減退の豫想の下に準備して居たが去月來の內地不作豫想及び鮮米減收の爲に米價一齊に暴騰を告げた結果は再び資金の需要高みとなり此等銀行何れも約一千萬圓の豫想を超過し既に三五割方の補充策を講じつゝある狀態で先づ目下の申込狀態から見れば二千六七百萬圓は確實であるが之れと同時に今日迄の融通高既に四百萬圓に上つて居るので以上を通算するときは尠くとも三千萬圓の融通を見る譯であるが一面又來月に入れば滿洲粟の需要を喚起するは必然で以上の諸事情と相俟つて金融界は益々繁忙を極むであらう

地金の政府買上値
引上げか据置か

地金の正金銀行掛下値引上に伴ふ政府の兌換準備金買上値段は改正さるゝや或は依然五圓に据置かるゝやに付いては政府納入を取扱へる銀行の如きも未だ何等通報なく斯る狀態なるが若し買上値を引上げざるに於ては產金業者は勢ひ納入を拒否することゝなり茲に政府は準備金を海外に求めなければならぬが然し這は國內產金增加の目的を以て實行せる主旨と相反する事でもあるので何みに政府買上値を引上ぐる事とならんか事實上正貨と地金との均衡を失する事となり通貨政策上重大なる矛盾を生じ兌換制度を紊る事となるので政府に對する買上げ値の確實な指令が到達しないのは政府當局が此等の點につき最も慎重なる研究協議を遂げ居るものならずやと推察されて居る

企業家懇談會

【大阪電報】大阪企業家懇談會は五日午後三時市主催にて中之島中央公會堂に開催市內五十名以上使用する工場商店經營者三百人それに關市長を始め府市關係者會合し腹藏なき意見の交換をなし最後に山口市職業課長は顕出した資本家の不平の數々を一々說解に努め六時散會した

海運界活氣付く
運賃は漸騰の氣勢

繁忙期も過ぎて漸く出穀期に入れる本年の朝鮮穀物界は出廻り頗る旺盛を極め之が爲め永らく不振に在つた朝鮮海運界も十一月に入ると共に漸く繁忙を來して目下仁川を初め釜山、元山、群山等夫れ〳〵配船に忙殺されてゐるが今朝郵當局の語る所に依れば例年は十一月に入ると共に出廻漸增するのが例であるが本年は金融關係から農家の賣急ぎ物旗出し元山方面は大豆木炭出廻は最盛期を一巡してか城津、清津と順次奧地に引移りつゝあり南洋、西洋方面は本年の特に出廻初期に於いて意外の激增を來したので臨時船を配する傍近海郵船の復航三隻を增船して辛うじて船繰を行つてゐる狀態である

北鮮航路 北洋を基點として主として阪神方面へ對する積荷は大豆、木炭で目下元山、城津方面は最盛期を過ぎて清津、雄基と順次奧地に入りつゝあり配船は龍南丸、清津丸、釜山丸、京城丸に新入隈州丸を臨時船として繰入れてゐるが各航何れも滿船の好況である

南鮮西鮮方面 半穀の出廻り開始と共に頓に活氣付き目下定期船以外に錦江丸、漢江丸新入奉川丸を臨時船として繰入れてゐるが尚積荷の增加一方で更らに近海郵船の復航を增船して現在出子ノ浦丸、貴船丸、正木丸の應援を得て漸く積荷の緩和を圖つてゐる樣であるが今後尚最盛期を控へて一層の增加を豫想し其準備に忙殺されてゐる

斯く久しく更枯れ期に在つた海運界も如上の如き結果好個の書入時として朝郵の如きは昨年度に比して七隻一萬六千噸の增船を得て今や之が配船に餘念もないが一方內地郵船、近海郵船、尼崎、五光、明岸、山下、辰馬各社の競爭船は之が餘澤を受んとして續々入港してゐるので阪神間運賃も七十錢に小騰を來したが出廻り最盛と共に漸騰の氣勢である

鮮米積込船
限定反對
上阪五委員決定

過般大阪米穀會よりの要求による積込船限定問題に關しては最近鮮米穀物貿易商組合聯合會に於て相互取引の圓滑を阻るため反對すること決議し爾今後は總て沖仲取引に改むることを申合即時此の旨を大阪側に對し回答せるは既報の通りであるが尚ほ聯合會側では之れが主旨を徹底せしむべく京城天日常次郎、齋藤久太郎、仁川大平嘉十郎、群山森菊五郎、釜山迫谷長一郎五氏の各地組合代表は來る五日發上阪することゝなつた

奉取錢鈔白熱

奉天發某所入電に據れば奉天取引所は錢鈔取引白熱し出來高三百萬元に達し手數料一日七百圓を擧げつゝあり爲に當所株も前場五圓九十錢のもの大引六圓三十錢に昂騰せるが七圓突破は確實であると云はれて居るが但し奉天側に於て戰爭終結後交易所再開の虞れもあるので大した樂觀は許されまい

金剛電鐵總會
配當原案一割

金剛山電氣鐵道株式會社第十回定時株主總會は來る二十日東京支社に於て開催し今期決算案を附議する筈であるが今期は依然好況に減らず電力收入の增加を見たので二分增配を行ひ一割配當を敢行する筈であると

檢穀規則改正

來る廿日頃より本府に於て開催の豫定であつた米穀檢査會議は會議の差支へ並に本府事務の都合により來る十四日より十九日まで六日間本府第二會議室に於て各道米穀檢査主任者會同の上開催する事となつたが右會議の內容は本年の米豆生產狀態に鑑み最も適當なる檢査標準を定め併せて米穀檢査規則の改正を行ふ等で右は主に檢査形式等の改正にある模樣であるが尚之れに對しては來る十八日全鮮の米穀業代表者をも招集して米豆檢査の總てに對し諮問する等で米穀檢査規則の改正に就ては勿論此の諮問を非常なる參考となすものであると

郵船重役會

【東京電報】日本郵船會社では五日午後二時重役會を開き臨時總會に關する諸般の打合せを爲したが別に問題もなく散會した

京取商議員決定

京取商議員會設置に關する仲買側より推薦すべき商議員三名は五日午後四時より組合總會を開き投票の結果田中友吉、白井友之助、新田耕市の三氏當選した

仲買委員長就任

過般來の事業又は轉業說のため其職否を疑はれて居た京取仲買委員長田中友吉氏は組合全員及び關係方面の慫慂により確實に就任することゝなり六日受諾の旨回答した

殖銀貯蓄課長

森衆之氏の轉任以來空位の儘であつた殖銀貯蓄課長後任は現調査課長高久敏男氏兼務することゝなり左の通り五日附發表した

貯蓄課長兼務を命ず　調査課長　高久敏男

海外經濟電報（六日入電）

倫敦銀塊　三四片十六分ノ七
米棉　五十錢高
印棉　三十錢高
英米爲替　四弗四六仙四分ノ一（二仙八分ノ三高）
スチール　一〇九弗四分ノ三（八分ノ三高）
アナゴンダ　三七弗二分ノ一（二分ノ一高）

鮮銀帳尻（五日）

發行高　九九、八〇八、五〇〇
正貨準備　三六、八一四、二五八
限外發行　六二、九九四、二四二

現物　二三仙九〇
先限　二三仙五五

財界見聞

久米金剛電氣社長は一時會社が資金難に陷つたとき東京の私邸を擬抵當にして百萬圓を提供したものだ▲當時周圍の人々は其遣り方が、餘り猪突的なのに驚いて諫止に努めたが▲氏は自己の確たる信念の下に經營する事業に私財を注ぎ込むのは當然だ▲失敗すれば自ら屠るの他がなかつたまでの事サ、と斷然決行したものだ▲然るに業績は着々と擧がり今期一割の配當は敢て人々の先見を物語るものだ▲近時朝鮮への投資とさへ云へば、常に一擧千金をのみ夢見てる輩の多い今日此頃に▲斯う云つた氏に朝鮮を理解せる投資家があることは聊か意を強ふするに足る、イカサマ企業家連よりて觀となすべしだ。

神宮競技會場より　諸岡生

今日（三日）大會最終の日は絶好の體育デー日和にて晴れたる空には飛行機が飛翔し秩父宮、賀陽宮其他殿下の台臨ありゲーム當……後に千五百の決勝を控へて居るので入賞を思ひ切る、千五百米は九人にて決勝、二周目まで五番目を走りラストで三百米にて二……三……二十五秒五分の四にて自己の朝鮮記錄を破る……事十二秒、滿洲の沖君は六等に落つ、十六ボンドのハンマーは野間……思はせた、大會に就ての離懸は多くあるが後便にて（三日晩）

僞巡査の化の皮

時間遊び無一文と知れると自分は……巡査山崎だと僞はり遊女町……を迎へたて、が……に突き出

株式（六日）
大新低落
矢張り警戒嚴重

前場寄り 今朝は大阪大新七十四圓ドタから三圓八十錢引の小堅き移りに相變らず人氣不引立乍ら大新京取共に小縮りを告げ其他は見送り大體底堅き商狀であつたが鐘新は一部買方のパイカイで八十八圓四十錢と低落した（短期前日止値比較）

△京取三十錢高　△鐘新一圓十錢安　△大新三十錢高

後場低落 後場は大阪鐘新大新七十二圓八十錢から四十錢六十錢の急落を入れ大新は三圓ドタから二圓四十錢と最近での安値に落ち込み不味の商狀となつたが大新安は亦鐘新安も崩れたものらしく京取は變らず其他は見送り閑散裡に大引（短期前場止値比較）

△京取二十錢安　△大新一圓十錢安

今後の大新

昨今の大新は伸びず押さず全く氣迷狀態にあり大阪市場に於ける取引も亦至極閑散のやうである今朝も大阪七十四圓ドタから三圓九十錢まで入れ三圓八十錢から五十錢と押し結局卅錢方引縮つたが警戒依然嚴しく出來高は僅かに二百五十枚に過ぎなかつた今後の觀測としては久しく侮とられた取引株も稍人氣盛り返せんかの報合があると唱へられて居るが最近上げ相場の中心を爲した紡績株は利廻り關係から此上買進まれるかは疑問の狀態となり只採算的に買はんとの人氣が漸く强して居るのみである併し東新には漸次腰強き買物現はれんかの情勢にあると稱されて居るが大新としては翻利五十圓付きの七十五圓處の値頃は最も格好のものと見られ此鼻四圓の情勢から八十圓臺出現の可能性あるものと強氣之れとて紡績株の情勢前記の如く且つ一般人氣が兎角警戒嚴しき折柄丈けに上値を期し難いのは勿論であらうと唱へられて居

京取無期待

京取は相變らず地場同志が大新目標に小鞘合をして居るに過ぎず實買共腰入れ筋のない爲めに高低共に相場は小さく且つ薄商である今朝も大阪小高きに小口の買物あり一部のパイカイを添へて二十錢方の引締りを告げたが強弱共に根據き手口なく後場は廿錢方弛み至極無期待の商狀であつた

奉信反落

奉信は昨一部のパイカイで六圓九十錢の突飛高を演じたが今朝某所に達した情報に依ると最近奉天は戰勝氣分張り奉天票の暴騰に次いで取引市場も活氣を呈し奉取に於ける錢鈔取引の如き毎日三百兩を算する程にて之れが稍算代引機關たる奉信の如き俄かに活氣を呈し最近五圓處にて取引行はれつゝある情勢である右は戰勝氣分に依る一時的の現象で今の人氣が永續するかは疑問であるが兎に角最近の奉天市場が活氣を呈せるは事實で今朝の當市場は六圓處の賣物ありしも買物なく結局五圓處の見當とされて居た

株界小言

政府の金貨拂下げ方針の變更と一般物價との交渉に就て某銀行家の語る處に依ると▲今回政府の金の賣却價格變更は單に金細工業者又は醫科用に使用する金の賣却價格を變更したに過ぎないのと▲年額僅かに千五百萬圓見當の產金業者が特別に利益を享ける餘地が出來たに過ぎないものであつて金細工物は幾分騰貴するであらう▲併し一般物價が之れに伴つて騰貴するやうなことは先づなからうと思ふ▲只理論上からは多種多樣の議論は免かれないからうが實際問題としては極めて簡單明瞭である▲即ち對外爲替が下落して圓の價格が國際的に下落して居るので▲金の市場價格を對內關係と對外關係とを一致せしめたに過ぎないものである▲金相場の鞘が縮少したと云ふのみであるから一般物價に何等影響があり得やう筈がない云々▲京取市場では今六日午後四時から市場懇話會の初會合をやる▲定めし御名論やら御迷案が飛び出すだらうが▲天日式に之れを云はしむれば賦賓付名案募集と銘打つてはドウか

鐘新低落

但し一部のパイカイで鐘新は今朝も大阪八十九圓二十錢と底强き商狀を入れ相變らず買氣優勢の姿であるが當市場は頃日八十九圓五十錢と付けて以來手合行はれず今朝も新規には手を出すものなく一部賣り方のパイカイ十枚で八十八圓四十錢と付け一圓十錢方落し依然不氣乘の商狀であるが而して紡績株に對する大阪方面の觀察は既に一圓利廻り見當まで買はれた揚句として今後更に以上の薄利廻まで買はるゝか聊か問題で今や紡績株は硬軟の分水嶺にあるものと唱へられて居るとり後場の大阪は八十八圓から七圓六十錢の低落を入れた

短期喰合尻

▲京取	一、五七〇	七店	九店
▼仁取	四一〇	一店	五店
▲仁新	四四〇	三店	七店
▲安取	四九〇	四店	八店
▲鐘新	三五〇	五店	三店
▲大新	二、三八〇	九店	九店

出來高

▲長期	三〇枚
累計	二六、五五三七〇枚
▲短期	
累計	二七六、八二〇枚

現株中値出來値（六日）

銘柄	前場當限	前場先限	後場當限	後場先限
京取 寄	[illegible]	…	…	…
同 引	[illegible]	…	…	…
仁取 寄	…	[illegible]	…	…
同 引	[illegible]	…	…	…
鮮銀 寄	[illegible]	…	…	…
同 引	[illegible]	…	…	…
殖銀 寄	[illegible]	…	…	…
同 引	[illegible]	…	…	…
朝紡 寄	[illegible]	…	…	…
同 引	[illegible]	…	…	…
新同 一 寄	[illegible]	…	…	…
新同 二 寄	[illegible]	…	…	…
新同 三 寄	[illegible]	…	…	…
新同 四 寄	[illegible]	…	…	…
鮮鐵 寄	[illegible]	…	…	…
東京 寄	[illegible]	…	…	…
京取 短期 寄	五九・二〇	五九・三〇	[illegible]	[illegible]
安取 寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

算定と日步

○六日

銘柄	算定	代引枚	日步
京取	[illegible]	[illegible]	八
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible](不)	[illegible](逆)	[illegible]
鐘新	[illegible](不)	[illegible](逆)	[illegible]
大新	[illegible](不)	[illegible](逆)	[illegible]

（以上日步二日分）

東京現株（六日）

銘柄	値	銘柄	値
正銀	六七・九〇	同新	一五・一〇
殖銀	四六・一〇	同新	一一・〇〇
滿鐵	一一〇・四〇	同新	三三・四〇
東拓	三八・九〇	同新	一七・二〇
富士紡	六五・六〇	日石	七八・〇〇
朝紡	……	滿毛	二・六〇
東株	一一八・二〇	同新	九五・〇〇
分五利公債	……	週取	一二・〇〇

大阪長期取引

銘柄	六日前場寄付	六日前場大引
大株	九〇・八〇	九〇・七〇
同新	七五・三〇	七五・三〇
郵船	七九・〇〇	八〇・三〇
同新	……	……
商船	……	……
同新	……	……
鐘紡	二〇七・三〇	二〇七・〇〇
同新	八八・四〇	八八・五〇
東紡	一二六・一〇	一二六・二〇
日糖	一〇五・八〇	……

銘柄	六日後場寄付	六日後場大引
大株	九〇・二〇	九〇・二〇
同新	七四・二〇	七四・〇〇
郵船	……	七〇・五〇
同新	……	……
商船	三八・九〇	……
同新	……	……
鐘紡	二〇五・七〇	二〇五・一〇
同新	八七・四〇	八七・二〇
東紡	一二五・五〇	一二五・〇〇
日糖	一〇四・五〇	一〇三・五〇

大阪短期取引

銘柄	寄付	大引
○六日前場		
大新	七四・〇〇	七三・八〇
鐘新	八九・〇〇	八九・二〇
○六日後場		
大新	七二・八〇	七二・六〇
鐘新	八八・〇〇	八七・六〇

安東株式

	寄付	大引
○五日後場 安取 當	……	九・七〇
先	……	……
○六日前場 安取 當	……	……
先	……	一〇・〇〇

鎭平銀

	寄付	大引
○五日後場 當限	一・八八八	一・八九〇
先限	一・八七三	一・八七二
○六日前場 當限	一・九〇五	一・九一五
先限	一・八九〇	一・八〇〇

米況（六日）
仁川期米
前場伸惱む

昨後場三十二圓九十九錢と三圓の關門に肉迫した當所も今朝は阪地寄付三十八圓十四錢の氣配ボケに二節飛五錢の不勢を入れて買方手控へとなり中三十二圓七十六錢先九十一錢と八丁安に始め二節八十九錢と弛みたるも押目は⑫の買狙ひと大阪八圓十錢より六節二十二錢と前日の高値上廻りを入れて三節當卅四圓五十錢中二圓九十五錢先三圓十錢と引返し小口買方の利喰ひ急ぎに六節二圓九十九錢と追込みたる折柄大阪八節八圓〇二錢を早耳したる軍艦筋の賣向ひに八節八十一錢と叩かれ買方の敗に七錢と縮りて大引

後場小弱し

大阪後寄三十八圓〇三錢と三丁高を入れ中三十二圓九十錢先三十二圓九十五錢と八丁高に始め二節九十錢と押し跡九十二錢と返したるも大阪五節三十七圓九十九錢より八十五錢の不勢を入れ中九十五錢を高値に八十五錢先七十七錢と小弱く引

仁川　福　米期
仁川府海岸町三丁目　桑野仲買店　電話長三九番

軟派の暗中飛躍

阪地賣方主力の山田筋が賣彈戰を強行すべく鮮米の買附けに着手し始めた事は既報の通りなるか今朝更に傳ふる所に依ると同筋は釜山にて大阪神署の三十八圓八十五錢より九圓見當にて千石餘り買附けの商談を開始し更に仁川にても吹値賣りの方針の意向其他內鮮所に手を伸ばし買米を執り來り追々主力筋の顏觸れも見へ始めたれば戰機の動くに連れて興味ある場面を展開するであらうと期待されて居る

丸マの腰入買

買方手力の⑪筋は其後押目買の態度を弛めざりしが今朝は其建玉一萬五千餘石に達し愈々本腰を入れ來り正米一二等級の上物や延等をも買進める模樣にて一方賣方は⑰を除く外丸米惣⑫は中限に大阪及び高岡主力筋の買玉を維持せる位にて先限に對しては傍觀の態度を執り居れるが元來が强氣畑とて押目は買進む傾向にて右の內⑪筋は積當の確信を以て乘出して居るらしいと

迂潤に賣れない

昨後場から今朝にかけての阪地高は買方の受米一萬俵が東京筋の手に寶買商談が成立し尚殘りの米も商談中だと云ふ所から提燈筋の買氣を刺戟したのであるらしいが若しこれが事實とすると軟派が多額の失費も厭はず渡米を敢行して買方の資力を固定させ樣と目論見だ策戰は全く當て外れとなるのみか賣方は犧牲の爲めに活動力を阻害されて益々買方に乘ぜられる事にならうも知れない又軟派は此の邊一つ叩き込むで手當米を安く買附けようとの策戰かも知れないが現在では正米がピクともしない許りでなく普通から云へば阪地より割安を叩かねばならぬ筈の各地期米が依然強硬を維持して居ると云ふ處に弱氣豫想の如き止米の賣物が出て來ない事を說明せるもので今後各地の定期が阪地より割安に廻る迄は迂潤に賣れないと見て居る弱氣もある

各店の俵合せ

限	賣方	買方
當限	㊆三九〇〇　④一三〇〇　⑤一〇〇〇　丸木七〇〇　金益六〇〇	⑤七六〇〇
中限	①三一〇〇　金益一八〇〇　㊆一二〇〇　丸米一〇〇〇　鳥六〇〇　[illegible]六〇〇　丸平三〇〇	⑤四六〇〇　丸木三七〇〇　⑦二〇〇〇　[illegible]一〇〇〇
先限	丸木六二〇〇　丸米五九〇〇　[illegible]三五〇〇　金益[illegible]　鳥[illegible]　丸タ[illegible]　丸平二〇〇〇	[illegible]一五九〇〇　⑦一四〇〇〇　[illegible]一〇〇〇〇　丸玉[illegible]　[illegible]二〇〇〇〇　㊆二〇〇〇〇

仁川期米

節	當限	中限	先限
○六日前場			
(一)	…	[illegible]	[illegible]
(二)	…	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(四)	…	[illegible]	[illegible]
(五)	…	[illegible]	[illegible]
(六)	…	[illegible]	[illegible]
(七)	…	[illegible]	[illegible]
(八)	…	[illegible]	[illegible]
(九)	…	[illegible]	[illegible]
(十)	…	[illegible]	[illegible]
○六日後場			
(一)	…	[illegible]	[illegible]
(二)	…	[illegible]	[illegible]
(三)	…	[illegible]	[illegible]
(四)	…	…	[illegible]
(五)	…	…	[illegible]
(六)	…	[illegible]	[illegible]
(七)	…	…	[illegible]

	當限	中限	先限
值段入	三二・八四	……	三一・九〇
取組高	七千六百石	八千六百石	一萬九千四百石
出來高	五萬〇四百石		
累計	二三〇二九〇〇石		

米界餘聞

昨今の步調は堅い樣で軟く弱い樣でピンと來るなど全く驅推鈍のヌラクラ式で道か日計連も手が出兼ねるか何處の店を覗いても持合ではどうもと手持不沙汰で澄ましてる客ばかりである▲其れに就て双方の主力筋は自重してるのか一向目覺しい活動がない一つお得意の景當でも打つて見物を喜ばしてはと云へば今少し正米がもので云ふ事にならねば面白い商ひも出來ないじやないかと云ふ▲成程今に正米が買崩れるか買崩れるかと風の音ばかりでは買ひたくても仕方がないし其かと云ふて賣から出れば時期が時期丈に一萬や二萬の正米は受取る覺悟も極めてかゝらねばならぬから詰りは際限なしで自重する方が上策か▲ザラバ商內逆戻しの件は今日仲買組合で役員會を開き態度を決定するらしい▲愈々本物となるかとうか節商內に改正して半年にも經たない內に又元のザラバ商內に戻すと云ふのは當事者の無定見を曝出するにも係はりはせぬか▲然し如何に理想の取引方法でも實驗して效果がないとすれば損我慢も張れないと云ふ譯かな

京城正米

一時仁川方面の輸出爲に阻害せられた當地穀の出廻り高も昨日來同方面の氣弛みに伴ひ多少出廻り漸增の傾向を示し來れると精米筋一般見送りの際にもあり地精玄米は朝來下押し模樣にて相場として鮮良上物三十一圓二十錢神力三十一圓二十錢處にて前日に比し二十錢安の見當なるが合格品は其後期米硬調の折柄內地筋より注文も沸々ありて比較的手堅く三等三十五圓五十錢四等三十五圓一厘神力十錢一厘と變らず白米は原料安の後を逐ひ今朝は市中卸値三十九圓より九十錢處に弛み賣行きは一時に比し稍良好となり移出口は大阪神署四十一圓二十錢處に商談進みつゝあり

仁川正米

定期高を受けたる地場正米は丸キ四等三十五圓四十錢地場玄米三十二圓籾上物十錢二厘一等白米四十圓より在來種十錢大豆龍山物十九圓四十圓四十錢白川十八圓七十錢處にて弗々商談あるも何れも小口物のみにて延は十一月末三十四圓九十五錢より九十二錢十二月末三十四圓十錢にて千二百石の手合が行はれた

釜山正米

現物穀良都三十八圓二十錢神力三十六圓四十錢十一月中限三十五圓十錢十二月末限三十四圓十錢より三圓九十五錢出來高八千石

群山正米

現物全羅一等三十八圓六十錢四等三十七圓三十錢十一月末限三十四圓十五錢十二月中限三十四圓八十錢より七十三錢十二月末限三十四圓三十八錢より四十錢出來高二萬千五百石

大邱正米

現物穀良都三十六圓五十錢神力三十五圓三十錢一番十二月中限三十三圓四十錢十二月末限三十三圓二十錢より十五錢▲二番十二月末限三十三圓二十錢より三十五錢▲三番十二月中限三十三圓四十五錢より四十錢より十七錢十二月末限三十三圓四十錢▲四番十二月中限三十三圓十錢十二月末限三十三圓二十錢出來高一萬千五百石

鎭南浦正米

十二月末限三十三圓丁度出來高四千石

東京期米

節	六日前場	六日後場
寄	三九・六九	三九・六一
二節	・六〇	・六〇
三節	・七七	・八〇
四節	・八五	・七三
五節	・八〇	・七一
六節	・八一	・六六
七節	・七二	・六〇
八節	・七六	……

大阪期米

節	六日前場先限	六日後場
寄	三八・四九	三八・三二
當め	三八・三二	三八・三二
寄	三八・〇五	三八・〇〇
中め	三七・九八	三七・九
止寄	三八・一四	三八・〇三
先	・〇五	・〇六
二節	・一〇	・〇六
三節	・一五	・〇六
四節	・一九	・九九
五節	・二二	・八六
六節	・一八	……
七節	・〇二	……
八節	・〇一	……
九節	・〇〇	……
十節	八・〇〇	……

神戸期米

	六日前場	六日後場
寄付	三七・〇九	三七・〇九
止め	三六・九六	三六・七四

下關期米

	六日前場 寄付	止め	六日後場 寄付	止め
當限	……	……	……	……
中限	……	……	……	……
先限	三七・三九	三七・四〇	三七・三二	……

桑名期米

	六日前場	六日後場
寄付	三八・〇八	三八・一五
止め	三八・〇二	三八・〇六

大阪三品

限	六日前場寄付	前場大引
十一月限	三四・四〇	三四・二〇
十二月限	三三・八〇	三三・七〇
一月限	三二・六〇	三三・一〇
二月限	三二・七〇	三二・六〇
三月限	三二・七〇	三二・七〇
四月限	三二・七〇	三二・七〇
五月限	三二・七〇	三二・六〇

限	六日後場寄付	後場大引
十一月限	三四・四〇	三四・四〇
十二月限	三三・八〇	三三・八〇
一月限	三三・二〇	三三・六〇
二月限	三二・九〇	三三・〇〇
三月限	三二・九〇	三三・〇〇
四月限	三二・七〇	三二・七〇
五月限	三二・六〇	三二・六〇

日銀帳尻（五日）

發行高	一、二四二、一九八
正貨準備	一、〇六一、一八三
限外發行	六一、〇一四
貸出高	三九七、八三六

通俗太閤記
松林伯知講演　加藤由太郎速記
六百三十一回

此時蒲生は臍を噬ひました滿兵衛は進み出で、滿『恐れ入りましたる事ながら、伊木清兵衛は眼明かなる者は信長の兵何萬押寄せ來るとも此は御安心の程を願ひます、未だ若年ではございますが、有姿は何うも家老の席に入りまする伊木清兵衛の一言斷たるものでございます』勝入齋、紀伊守の兩人大いに悦び、則日甚左衛門をお召出しに成りました、處が尾藤甚左衛門は此度の使ひは容易ならぬ事、萬一北畠へ味方をすると云ふ返答でもあれば匕首を以て勝入齋と刺し違へて討死をしようと云ふ覺悟でございますから、今日は何と云ふ返答をするかと思ひ、甚左衛門懷中に匕首の用意をして居る、秀吉は其の志を存じて居りますから尾藤甚左衛門を勝入齋の方へ遣はしたので、唯使者の口上を申述べるばかりなら誰にでも述べられますが一旦間違へば斬らうと覺悟の持つた者でなければこの使ひは勤まりませぬ、お召しがあつたに由つて罷んで御前に罷り出でました、勝入齋だつて懷中に匕首を入れて居る位のことは知つて居る、勝『甚左衛門近う進め』甚『ハッ、恐れ入り奉ります』と兩腰を遙かの末座に置いてお膝へ罷り出でました、兩刀を置いたのは先方に安心をさせるためであります 勝『遠慮には及ばぬ、たゞ最當つと近う進め、甚左衛門此度の返答は定めし待ち兼ねて居つたであらう』甚『恐れ入ります、今日は如何なる御返答であるか、明日は如何にと實は相待つて居りました』勝『好き御返答を下し置かれますれば如何ばかりか……當家親子は素より筑前守殿に同意いたし居るものなるが多くの老臣もある、其れ等老臣の心に逆らつて主人なればとて無理に斬くいたせと云ふは心安からず、由つて老臣を集めて評議をいたしたる處、老臣共も喜びにして、筑前守殿に對し同意をなし、尚此上ともに大事の勢を爲し申すべしとのこと、今は我等も安心して筑前守殿に御味方をなし得べければ大坂表に立歸り、筑前守殿に左樣申上げ呉れよ』甚『ハッ』、右の御返答を承はり甚左衛門如何ばかりか有難き仕合せに存じ奉ります』勝入齋小聲になつて 勝『如何に甚左衛門此の返答次第に依つては其方は予を刺し殺すの覺悟であらう、どうぢや』甚『ハ、ツ――』勝『イヤ〳〵四方に伸ひして君命を辱めず天晴れなる事である、其方の樣子を見ると今日は取分け決心をなしたるものと見え、物は云はねど眼中必死の覺悟をなし居ると見たは勝入』甚『恐れ入り奉ります君の味方にお附き下し置かれなば百萬の味方を得たるも同樣、私儀も多くの家臣の中に不肖甚左衛門へ對し此度の使ひを申付けられ是ぞ命を捨る處と心得、甚左衛門は覺悟を仕り居りました、然るに此の有難き御返答を承はりまして此上もなき喜び、厚く御禮を申上奉ります』勝『ウム、遖れなる其方の覺悟、戰國の使者は然らなくては叶はぬ、秀吉殿は好き家來を持つて往たのである、今宵は當城に一泊なせ、予と共に物語りをいたすであらう』甚『ハッ』御目配せがあると忽ちそれに掛並ぶ山海の珍味、下へも置かぬやうな取扱ひ、何の分け隔てもなく夜の九ツ過ぎまで御酒を頂戴してそれより床に入つて其夜は明けました、翌朝に相成りますると再び酒宴の用意をいたしました、甚左衛門改めて申上るには 甚『早きお待遇に預かり甚左衛門身に取り如何ばかりか有難く存じます、なれども右御返答の趣きを一刻も早く立歸り申し聞かせ、主人秀吉の喜ぶ顏を見たく心得まする、由つて今日御暇を賜りお暇をいたします』勝『アヽ、左樣か、無理に止めるのも本意でない、然らば今日出立いたすがよい』勝入齋それでは見送りをいたすべきではあれども、伊木清兵衛を名代として關ケ原の邊まで見送らせる 甚『イエ何う仕りまして御見送りに相成りましては……』勝『イヤ〳〵これは甚左衛門其方にいたすのではない右殿の御使臣へ對しての志しである、また其方忠義の志しに愛でゝ送るのであるから遠慮をいたすには及ばぬ』

買ふ人の氣になつて賣る
明治町二丁目の
梅澤呉服店
電話本局三三四一

本場秩父銘仙
◇男女向縞物　一反　八圓より十二圓
◇男女向絣　一反　九圓より十三圓
◇子供向き大柄　一反　八圓より十三圓
秩父銘仙は產地の機屋から直接取寄るに限ります如何に安く如何に良いか先づ實物見本を御覽下さい見本帖は御申越次第進呈
埼玉縣秩父郡横瀨村　淺見工場　販賣部　淺見理助

十一月八日
（舊曆十月十二日）土曜　▲六白▲辛卯▲先負▲定▲女宿

▼六白▲動もすると物事の喰ひ違ひ易き日 金談は凶 西と北と南が吉
▼七赤▲出世の端緒を得る日 實直にして進んで有利 西と北と東が吉
▼八白▲諸事圓滿にして幾分に寄む日 求職談大吉 東と北と內が吉
▼九紫▲調子に乘り過ぎると不覺をとる 堅く內に守つて安全 東が吉
▼一白▲順調の日 總ての事は成就する 行商移轉開業等吉 東と坤が吉
▼二黑▲前後に氣を配つて進む時は存外に成功するの日 艮と西が吉
▼三碧▲不用意にして思はぬ失敗を招く 世話事紛物 南と東と壬が吉
▼四綠▲無駄骨を折る日 儲け薄き上賣不利なり 辛抱が肝要 南と坤が吉
▼五黃▲勇氣に充ち大いに敵を挫く日 金談人事等吉 艮と北と西が吉

京城明治町二丁目
中央婦人科院
院主　衣笠茂
電話三三四〇番

新講談豫告
津の國屋小染
小金井蘆洲講演

通俗講談『太閤記』は多大の興味を以て永らく御愛讀を辱なうしましたが、愈近秀吉までを以て近く一應區切となし來機會を得て掲載する事といたします。就ては今回は改めて讀者の熱望を容れ、江戸の俠客が登場することになりました。意氣と張りを以て立つ江戸の俠客が金權に阿附せず、三つ巴に絡んで惱みに惱む開緒綿たる新講談、當時の利けもの鈴木殿吉殿を向ふへ廻しての面白き物語りは、必ず讀者をチャームせずには措きますまい。

不動產競賣期日公告

左ノ不動產ヲ大正拾參年十一月拾日午前十時ヨリ當院ニ於テ競賣ス競買入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

大正拾參年十月十日

京城地方法院

一、京城府□井町五八番地 最低競賣價額金四千百四十八圓也

[illegible]

法人登記公告

江東金融組合(變更)

江東金融組合ハ大正十三年十月九日理事[illegible]任期滿了ニ因リ退任シ同日左ノ者理事ニ就任ス

[illegible]

右大正拾參年拾月貳拾七日登記

平壤地方法院 江東出張所

登記公告

一、名稱 [illegible]

右大正拾參年拾月貳拾九日登記

平壤地方法院

商業登記公告

株式會社朝鮮商業銀行[illegible]

右大正拾參年拾月貳拾四日登記

全州地方法院 群山支廳

商業登記公告

一、株式會社安田銀行(支店設置)

東京市下谷區黑門町參番地ニ支店ヲ設置ス

右大正拾參年拾月貳拾日登記

平壤地方法院

法人登記公告

槿樹金融組合(變更)

大正拾參年四月拾八日總會ノ決議ニ基キ目的第五項ヲ左ノ通リ變更セリ

組合員ニ非ザル者ノ預リ金ヲ爲スコト

右大正拾參年拾月貳拾九日登記

全州地方法院 任實出張所

商業登記公告

一、株式會社內國通運(變更)

取締役[illegible]大正拾參年拾月拾七日其住所ヲ東京市麻布區[illegible]ニ移轉

[illegible]

右大正拾參年拾月貳拾七日登記

平壤地方法院

米國議員選擧豫想

キャッパ氏再選

青島電報不通

駐佛露國大使 佛政府は同意

自動車を鐵道

獨逸礦補償受領

鐵道改良協議

還付不能郵便物

氣象日報

京城日報

（朝夕刊合せて十頁）

本紙定價 壹ケ月金壹圓 …… 廣告料 ……

發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

森の祈り

沖野岩三郎著 最新刊◇ 定價一圓八十錢 送料……

少年少女諸君!! 讀め、尊く淸き此の物語!!

本篇は紀州の漁村に育つた兄妹の哀れな物語である。父が行方不明になつた後、祖父と母と共に世の荒波にもまれつゝ奮闘努力を續け、遂に父に再會する迄の血涙記である。著者の信仰生活によつて生れた名篇だけに、一度手に接すれば生涯忘れ得ぬ深い感銘を與へられるであらう。最も健全にして有意義な讀物として金の星社が責任を以て世に問ふ一大傑作である。尚裝幀の挿畫とは蕗谷虹兒畫伯の苦心になり、他に見られぬ高雅遜りなく、しかも頗る安價な本である。

三宅房子譯 **家なき子**
旅役者となつて諸處をさすらひ歩く悲壯なる孤兒の物語。原作は佛國の世界的名作。
定價壹圓八拾錢 送料十五錢

東京市外田端三一五 **金の星社** 振替東京五九五六

あみもの

◆裝幀優美 全部アートペーパー刷 挿畫二百餘圖最鮮明◆

共立女子職業學校長 鳩山春子女史序
共立女子職業學校教諭 足助いゑ子著
定價貳圓八十錢 送料拾貳錢

此書一册あれば、どんな山間僻地の方でも隨時に女史の出張教授を仰ぐと同一で忽ち編物の堂奥に入る事が出來ます

本書の特色

◆編物の方法が組織的ですから編物の初歩から最高技術まで秩序正しくムダのないやうに習得されます
◆凡て皆日本人の身體にピッタリ合せて實物を編み、編むに從つて記述して行つたのですから單なる机上の著述でなくピチピチ生きた實際の記錄です。
◆更にこの記錄に依つて初心者に編ませ、分らぬ個所は分る迄書き直したのですから、どんな方でも一讀直に了解する事が出來ます。
◆挿畫の豐富と編物種類の尠多なのは類書に冠絶してゐます。

發兌元 東京京橋南鍋町 振替東京七九三四 **松邑三松堂**

▲書籍目錄 無代進呈 ハガキで申込次第無代送呈す
大阪市東區平野町八丁目 日本 博文館

京城自動車講習所

科學画報

新時代建設の急先鋒
科學時代は來た。科學を解せざれば時代に遲れる。本誌は此科學時代建設の急先鋒として生れたもので、今や發行部數十萬、刻下必讀の大雜誌

體内の羅針盤（耳の不思議） 醫學士 小野鎭造

興味津々 ワクチン物語 高木醫學博士 / 近眼鏡の物語 小川ドクトル / 夢のロマンス 北沢酒人
見ぬ湖…秋田五九郎 / 最新發明…神宮寺幸内 / 星座めぐり…古川龍城 / 世界通信…九官鳥

人體驚異號
▽白米は營養第一 湯川博士
▽キニーネ物語 伊藤學士
▽動物の體斑物語 内田學士

生命の不思議 原色版挿繪入説明あり
▽無線放送局の話…中上技師
▽深海を測る法…丸川技師
▽眞空管の話…小林譲三

鮮明無比グラビア版
▼エベ探險醫新 ▼顯微鏡珍寫眞 ▼死海の大怪物 ▼科學的大魔術 ▼世界的大發明 ▼最新航空畫報 ▼人體解剖名畫 ▼都會の照明 ▼X線の不思議 ▼人體消化工場

趣味閑話
手輕な溫室の作り方…石井勇義
都市の照明研究…栃内吉胤
北洋の怪異物語…石井學士
學藝插話…橋瓜生 / 瓦斯の話…宮田生 / 理科實驗…田口孫 / 奇莫物語…石井生

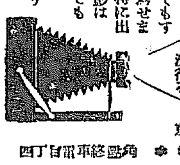
驚くべき蟻の國の文化 理學士 山下初雄

見よ此大世界的雜誌
内容外觀共に現代我雜誌界の第一線的標準を具象化せる通俗科學雜誌也試みに速かに來つて本誌を手にし我等が貴下を僞らざることを知り給へ

定價一部三十錢 六ケ月一圓七十錢 送料共 一部一錢半
東京市麴町區三番町 **新光社** 振替東京二三四〇

俳句

ハガキ二錢送れば此趣味ある俳論の詳細を無代で送る
名古屋市南區小川町 日本俳雅會



六枚取き二十五錢からどんな大判でもすぐに寫せます。特に出張撮影は一組でもすぐまいります

ホシの寫眞は何故流行る 流行る寫眞屋寫眞が上手
安くて！早くて！美しい！
寫眞がよいから流行らますく
京城本町 電車終點角四丁目 ホシ寫眞舘（川沿亭階上） 電話本一三五八番

太陽 十一月号

重役社員の關係を如何に觀るか 都市會社を中心として
1 法理と情理の二点から見て（藤原銀次郎）
2 社長排斥の根拠如何……（内藤久寛）
3 社長たる者の權限と責任（磯村豊太郎）
4 重役社員共に識禄を欠く（三宅博士）
5 圓滿なる協調を以て進め…（山下亀三郎）
6 調停は第三者に委せよ…（浮田博士）
7 近藤前社長と現社長の比較（神戸拳一）
8 解決は公正な輿論に從へ（佐野博士）

◇明治初年外交物語 妙国寺のハラキリ 釣千郷
◇満鉄の社員待遇（天外散史）
◇日本の電力戦と中心人物 某怨生
◇心的不具者の結婚を禁止せよ（ストロザ）
◇我國現在の救貧事業と其の中心人物 冷泉生
◇確實に八分に廻る信託預金（大川良國）
◇警戒すべき火災保險の東西會社現況 野田生
◇農村振興策 安藤農學博士
◇政界夜話 無用居士
◇時評 白書寢語 水島爾保布
◇大逆事件を裁く人々 石光……
◇犯罪探偵エピソード 小酒井博士
◇秘められたる北雲山溪 谷口梨花
◇學者笑ひ茸の話 川村理學博士

支那動亂 正面觀 側面觀
（一）夢の索古王国……
（二）満洲五國の策作……（龜井忠世）
（三）支那動亂と支那珍人……（漫々生）
（四）動亂の遠因近因と最近の政局……

◇狼烟（長篇小説） 小杉天外
◇世界一周（科學小説） フイザンジー
◇慶安記（時代小説） 三上於菟吉

□風雲に乘じたる横田千之助 前田蓮山
□大智大勇を欠ける横田法相 高橋光威
□関西實業界の首領株 菊池恭三翁 鳥蜂子
□米の政策と米價の前途 岩崎清七
□職業選擇に必要な性能診査 谷口政秀

ラヂオの世界
（一）無線電信から無線電話へ…（南山技師）
（二）内外無線電話
（三）無線電話を始めたい人々の爲に……

定價八十錢 送料三錢
東京小石川 博文館發行 振替二〇四

「廿四時間主義」 八千代生命

御申越し次第 保險案内送呈
東京市麴町區内幸町一ノ三

森永ミルクチヨコレート

秋の日は
はるゝもうれし
―野に、山に―
散歩に……
旅行に……
遠足に……

森永製菓株式會社

進呈

特許商標の理論及出願要件を解説せる特許の栞新版出來申越次第進呈す
東京丸ノ内ビルヂング **石特許事務所**

養鷄圖書目錄 無代進呈

ハガキ一枚を御送り下されば……
名古屋市南區 養鷄之日本社

◎絹縫絲 ◎ミシン絲
◎木綿絲 ◎カタン絲 卸商
名古屋市新榮町 中島絲店

啄木遺稿

石川啄木著

啄木遺稿は著者の遺せる唯一の思想的文集にして……
定價一圓七十錢 送料十錢

近代詩用語辭典

河井醉茗著 新刊

永久不變の太陽の下に人生は生々流轉してゐる。その間にあつて人間生活の一つの最も微妙な表現は詩である。……
定價一圓八十錢 送料十錢

活用現代新語辭典

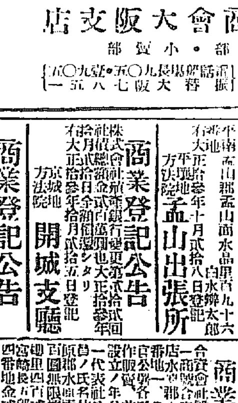
新しい言葉を知つて置く事は第一に必要である。……
定價一圓 送料六錢

現代短歌用語辭典 松村英一著 定價一圓八十錢
啄木歌集 石川啄木著 定價一圓
大隈言道歌集 半田良平著 定價八十五錢
正岡子規歌集 …… 定價八十五錢
源實朝歌集 尾山篤二郎著 定價八十六錢
香川景樹歌集 半田良平著 定價八十八錢

女優ナナ

月刊 短歌雜誌

東京市日本橋區 **紅玉堂書店**



寫眞機械 並ニ 材料

創業明治四年（目錄進呈）
懸賞當選標語（一等） カメラノ淺沼（商店） 淺沼大阪支店
（本店東京）
直輸出入商 淺沼商會大阪支店 卸部・小賣部
大阪市東區備後町四丁目 電話本局九〇五・九〇六 振替大阪七八五一

カガシクリーム

本舗 丸善化粧品部

最新刊

堀宮一郎著 メンタルテスト原理	四、七二
岡田鏡道編 日蓮聖人御遺文全集	六、〇九
中島訪典譯 宗教の本質と各宗の神髄	二、四一
泉田精一著 我國の實業家と基督教	一、二六
米川正夫譯 トルストイ戯曲全集	三、一五
關口定伸著 無線電信電話受信	四、七三
佐々木秀一 教育者教授の諸問題	三、六七
昇曙夢譯 トルストイとドストエフスキー	三、一五
淸水正巳著 廣告印刷物の拵へ方	二、六三
高橋龜吉著 日本資本主義經濟研究	二、一〇

東京 **大阪屋號**

商業登記公告

[illegible] 京城地方法院 開城支廳

商業登記公告

[illegible] 平壤地方法院

商業登記公告

[illegible] 全州地方法院

商業登記公告

[illegible] 開城支廳

商業登記公告

[illegible] 平壤地方法院

商業登記公告

[illegible] 京城地方法院 永登浦出張所

商業登記公告

[illegible] 京城地方法院 開城支廳

法人登記公告

[illegible] 平壤地方法院 孟山出張所

商業登記公告

[illegible] 全州地方法院

商業登記公告

[illegible] 全州地方法院 群山支廳

商業登記公告

[illegible] 京城地方法院 鐵原支廳

法人登記公告

[illegible] 京城地方法院 春川支廳

商業登記公告

[illegible] 大邱地方法院 慶州支廳

商業登記公告

[illegible] 全州地方法院 南原支廳

商業登記公告

[illegible] 全州地方法院 裡里出張所

商業登記公告

[illegible] 京城地方法院 春川支廳

商業登記公告

[illegible] 全州地方法院 群山支廳

商業登記公告

[illegible] 京城地方法院 水原支廳

商業登記公告

[illegible]

商業登記公告

[illegible] 京城地方法院 永登浦出張所

商業登記公告

[illegible] 平壤地方法院

商業登記公告

[illegible] 平壤地方法院 平澤出張所

法人登記公告

[illegible] 全州地方法院 群山支廳

商業登記公告

[illegible] 全州地方法院 群山支廳

官吏の旅費削減
大體一割を限度とし 六百萬圓弱を捻出す

【東京電報】六日の定例次官會議で決定した官吏の旅費規定の改正の內容は左の如きものである
官吏の旅費は大體一割を限度として削減し同一地方に永く滯在の場合は十分の一より其の日數の重なるに從ひ十分の二、十分の三と削減して十分の四まで削減する事
右改正案は近く閣議に附し決定の上勅令を以て發布さるゝ筈で此の改正により捻出せらるゝ金額は五百九十萬圓以上である

鐵道省の淘汰

【東京電報】鐵道省人件費の整理額は五百四十萬圓であるが其內譯は
一、監察官制の廢止
一、參事官官制の廢止
一、經理外二課の廢止
一、外國鐵道調査課の廢止
等の官制改革に伴ふ人件費の整理額を始め本省勅任待遇奏任官の待遇以下に於て約五分位の整理に依つて得らるゝ整理額である尙整理人員は二百三十萬圓の約二割及び奏任待遇人員數は比較的少數で總人員數は多くも三千を越ることはあるまいと

鐵道建設費增額か
四千五百萬圓程度に さすれば政友會も敢て自說を固持するが如き事はあるまい

【東京電報】鐵道建設費問題に關する與黨三派は既定の方針で進む事になつたが三派中最も強硬なる政友會の五千五百萬圓說を主張するのは憲政會に對する思惑も相當含まれてゐるらしい即ち未成線の鐵道延長は打切りは自黨に不利に扱はれはしないかと云ふ懸念も加はつてゐる模樣で此點を熟知した仙石鐵相は最も公平に行ふ所以を明かにし四千五百萬圓程度迄讓步すれば政友會は固自說を固持して事態を險惡に惹かしむる事はあるまいと見られてゐる

三派交涉會 引續き開催

【東京電報】郡役所廢止及鐵道建設費增加に關する三派交涉會は五日午後二時より帝國ホテルに開會、協議の結果小委員として町田忠治、岡崎邦輔、秋田清の三氏を舉げ近く首相鐵相と會見し一回の會見をなし政府の考慮を促し所期の實現に盡力なさしむる事に決し次で貴族院改革問題に就て協議し三派は同問題の調査を來る廿日頃迄に終り其の成案を持寄り三派協定を作成することにし八時三十分散會尙は五日三派交涉會における申合せは次の如くである

申合
鐵設を等閑に附するは鐵道國有の大精神を沒却する者であるから從來三派の主張し來つたところには一步も讓步の餘地なく各派は改めて鐵道建設に對する聲明を發表するとゝもに加藤首相の歸京を待ち町田、岡崎、秋田の三氏は三派を代表して首相鐵相と會見し政府の決意を促す事

新任米大使 期

【東京電報】新任駐日米國大使バンクロフト氏はプレジデント、クリーブランド號で來る十七日橫濱入港の豫定である

白仁長官辭職

【東京電報】日本郵船社長に選ばれた白仁武氏は六日八幡製鐵所長官を免ぜられ製鐵所次長開島千八氏が長官事務取扱を命ぜられた

榎本子逝去

【東京電報】貴族院議員子爵榎本武憲氏豫て腎臟炎に罹り府下中野の自邸にて療養中のところ尿毒症を併發し六日午前十一時逝去した

對支貿易出超

【東京電報】十月の對支貿易は輸出二千二百三十三萬一千圓輸入二千百九十九萬圓差引出超三十四萬一千圓で一月以降累計出超は一億三千五百五萬四千圓である

東京コール 六日

翌日拂 一錢七厘より八厘
無條件 一錢七厘より八厘
普通 一錢七厘より八厘
月越 一錢八厘より九厘

大阪コール 六日

翌日拂 一錢八厘
無條件 一錢八厘

支那の改造を圖るべく
張氏段氏と會見の爲め出發す

【奉天六日發電】張作霖氏は愈々天津に於て段祺瑞氏と會見し支那改造の大計畫を樹て且つ山海關の戰跡を觀察し戰線に在る將卒を慰勞するため七日夜か八日朝出發の筈なるが奉天記者團九名は張作霖氏と同行するに決した

記者團戰跡視察

(奉天特電)張氏の此行に隨し奉天記者團は戰跡視察を張氏に交涉するところがあつたので其殆事に山海關を初め秦皇島灤州等の戰跡を視察したる上更に張氏と共に天津に入るべく決定した其氏名は左の如くである
奉天日々▲奉天每日▲大陸日々▲盛京時報▲滿洲通信▲東方通信

李烈鈞氏を參謀總長に任命か

【東京電報】北京では大總統命を以て日本滯在中の李烈鈞氏を參謀總長に任命したこれが爲同氏を芝白金三光町の寓所に訪問するに氏は未だ當局方に何等の報告無く全く初耳であると微笑を泛べて來朝の使命も一段落した爲め近日退京し下關より歸國の途につくことゝなつたと語つた同氏夫人は六日朝東京驛發上海に向つた

參謀總長などは眼中にない 李烈鈞氏語る

【東京電報】目下東京に滯在してゐる李烈鈞氏が支那大總統命を以て參謀總長に任命されたと云ふ報道に就て氏は語る『未だ何等通知がないが之れに對する私の態度としては參謀總長などは眼中にない只今後の支那を如何に統一して行くかと云ふ事が問題である既に支那の輿論が段祺瑞氏推戴に一致して居る樣に思へらるゝが第一に國民會議が召集され其上で段氏推戴や聯省自治と云ふ樣な統一方法が決定されねばならぬ其前に參謀總長に任命されても即座に引受る譯には行くまいと思ふ』因に同氏は六日夜出發上海に向ふ筈

赤軍東支沿線守備
支那兵に先立つべく畫策

【哈爾賓五日發電】奉天側は四日遂に逃走したとの入電ありしより露國官憲は其準備を裏切られたるを以て東支沿線に於ける支那守備の恢復せざるに先立ち豫定の行動たる赤軍を鐵道守備に就かしめんと畫策中にて既に數百名の將卒が哈爾賓に入込んで居ると

奉天票漸落

【奉天特電】愈に狂騰した奉天票は漸時落付き氣配を示し百二十九元に下落したが其根本的理由は戰捷氣分に官銀號の策動ありたるは勿論であるが更に東京の電車需要は日本に軍命起りと傳へられ又天山神の總督は明年の帝都大觀兵式のそれの如く數十の飛ぶするところとなり惡宣傳が利きたる爲めであると

大阪中央局に無線受話機 練習の結果成績良好

【大阪電報】大阪中央電信局では從業員の能率を增進せしめる爲め從來の音響受信機(サウンダー)を全廢し全部無線電話用の受話器を使用し電鍵のカチ〳〵と鳴る音が受信の音と混雜しない樣に改良する事に決し目下練習せしめて居るが成績良好で本年末迄には全部無線受話器で受信する運びになるらしい

共和黨大勝す
ク氏の勢力と政府黨の威力が 多數を以て上院を制せしめた

【紐育五日發電】クーリッヂ氏は雪崩の如き勢ひにて勝を得たが千九百二十年の故ハーデイング氏の勝利に及ばず四十五州に達せず開票の結果に依ればクーリッヂ氏は三十一州にて三百七十四票を得てデヴイス氏は十三州にて百三十六票ラフオレット氏はウイスコンシン州で十三票を得モンタナ、ネヴアダ、ニウメキシコ諸州の結果は目下不明であるデヴイス氏はクーリッヂ氏に勝利を讓つてク氏今回の勝利を祝し閣下の政府が我勝利に依つて國家の幸福を確保せん事を望むと述べた尙太平洋沿岸諸州及ニウイングランドでは早くから共和黨側優勢にて州議員國會議員官吏選舉に於て多數の再選者を出した即ちクーリッヂ氏の勢力と政府黨の威力が共和黨をして多數を以て上院を制せしめたるものらしく最も樂觀的の共和黨員すら豫期しなかつた程である民主黨は上院議員の椅子は從來通り十名であるが共和黨は更に二名を增したラフオレット氏の落選は著るしく後援者を落膽せしめた

失敗したラフォレット氏

【華府四日發電】ラフオレット氏(第三黨候補)の今次の大統領選擧で國民を驚ろかした事はラフオレット氏への豫想以上の大敗である選擧前には同氏の物と思はれた西部數州でさへも失敗した又民主黨の得票の悲い事は今や米國民の傾向が依然極めて保守的なる事を物語るものである(寫眞はラフオレット氏)

英閣員は 七日顏觸發表

【ボルドウ無電五日發】マクドナルド內閣は四日總辭職し保守黨首領ボルドウイン氏は內閣組織の大命を拜受したがボルドウイン氏は新聞記者に新內閣の顏觸れは十一月七日發表すると語つた

閣員名簿捧呈は一兩日中か

【倫敦六日發電】ボールドウイン氏は四日は一日田舍に籠り保守黨領袖連と新內閣顏觸れの詮衡に從事し絕えず協議を重ねた閣員名簿は多分今明日中に取纏めたる上國王陛下に捧呈する都合である

軍事的公債には反對

【ボルドウ無電華盛頓五日發電】大統領官邸より五日聲明書が發表されたが、米國は歐洲に於ける金融狀態改善及經濟狀態復活のため公債發行をなすは贊成なるも軍事目的の公債とすれば之に反對すると聲明して居る

阿片禁止反對 支那代表の主張

【ゼネヴア五日發電】國際阿片會議で支那代表は演說し阿片吸煙が常習的となつてゐる者に突然使用禁止するは危險の虞ある事を主張した

增設金融組合 年內業務開始

今年度內に增設さるべき筈の十組合に對しては數日前夫れ〴〵各道に向つて指令を發せられた由で目下組合組織中である模樣で從つて近く各組合共に認可申請が提出さるゝであらうが其の上に於て認可と同時に政府貸下金の交附をすると共に第一回組合費の拂込に登記の上營業開始の準備に移る筈であるが現在の情況にては今年內に業務開始に至るものも相當ある筈であると

養蠶全芽育普及 京畿指導成績

京畿道に於ては全芽育法普及の爲に各郡養蠶組合に於て養蠶教師を採用し二三ケ部落宛擔任せしめ養蠶家の指導に當てしめつゝあるが本年の狀況は教師數春蠶期男六十二名女六十八名計百三十名秋蠶期男一名女六名計七名にして總指導戶數は全養蠶家の約半數の一萬六千三百六十九戶に達し之れが掃立數は一萬六千五百二十一枚にして其の收繭額六千二百二十四石にして一戶當收繭額は三斗八升一枚當の收繭額は三斗七升七合である之れに要したる經費は六千百八十八圓四十錢にして內三千二百圓は地方費より補助せるものにして教師一名の給料平均は春蠶期五十七圓三十三錢秋蠶期三十四圓九十三錢であると

商議聯合部會

京城商議聯合部會は六日午後二時三十分より開會したが出席者は選擧會頭以下九名、古城常務部長より既報の
一、鹽酸及鹽酸容器運賃引下方請願の件
二、海州廻見本市の組織研究に關する件
二案に就き協議したが即ち第一號案は京城藥業組合より請願方の依賴に依るものであつてその趣旨は現下の私鐵運賃引下げ要望と相俟つて鐵道より鹽酸高を加味してゐる點の改善等を要望するものらしく再調査の上改めて部會を召集する事に決し第二號案も目下の朝鮮として參加する丈けの資格を有する商品は見當らず取敢へず商工局、商工聯合會の意見を聽取して更に部會を開く事となつて以上共未解決の儘三時半散會した

元山驛前に郵便所

元山驛方面の發展に伴ひ同地に無集配郵便所新設を必要とするに至つたが遞信局では今回請願施設として驛前郵便所を設置する事に內定し目下郵便所長選定中であるから近く事務開始の運となるだらう

命令會社決定後も
他の二社と報復的に競爭か
長崎大連朝鮮間の航路問題は 三社に安協させる必要がある

長崎大連朝鮮航路問題に就ては既報の通り郵船、朝郵、大阪商船三社の此狀爭奪運動は漸次激烈となり大阪商船の如きは之れが對抗策として千五百噸級二隻の配備を整へ本月中旬頃より就航せしむべく既に貨物蒐集に奔走中にて一方朝郵側でも之れが對抗策として新船購入沿岸運動を開始し島谷汽船又鎭南浦より就航開始すべく既に貨物蒐集に奔走中にて何れも暗中飛躍に努力を盡して居るが最近總督府當局の內定と共に一般航路に對する補助額等も近く決定さるゝことゝて三社の運動は愈々白熱化するものと見られて居るが當局の意嚮が此の三社の內一社に命令せしむる方針である以上落選に漏れたる二社は當然失意の狀態に陷るであらうが然し此二社が受命決定後に於て果して手を空しく傍觀するか否や報復的競爭戰を出現せんも計り難く斯くては受命會社も努めて或る程度の犧牲を拂つて對抗する事は當然で之は當局側から見れば運賃の遞減となり歡迎すべき現象ではあるが一面航路の本質及び補助の趣旨より見るときは頗る憂ふべき形勢であつて之は豫め三社の妥協を行はしめ先づ以て該三社の安全を期すると共に以て本航路將來の安全を期することが肝要であらうと謂はれて居る

副島本社々長動靜

(東京支局特電)副島本社々長は七日午前八時四十五分東京驛發一週間の豫定にて關西地方へ旅行する筈

市內電話 開通狀況

京城中央局龍山光化門三電話局に於ける大正九年度以前及公益關係の電話約二百八十餘個は去る九月上旬迄に開通したが十三年度以降の至急電話開通申込者千餘名に對しては十月廿日抽籤を施行した結果當籤者は右三電話局管內合計六百廿三個である而して是等中龍山分局區內は十月中に既に廿六個の開通し本局區內は目下工事中であるが十一月十五日頃には開通を見る模樣である。又光化門分局には去る四日新交換器が一臺到着したので當局では同分局區內の加入者二百名に對し料金三百圓の納付告知書を先日發送せし由なるも開通料未納付者は一日も早く納付せられたしと

根井の炭酸泉
滿州にて 松村生

二十六日滿州郊外四里北方の根井里に天然炭酸水の工場を見る。經營者中原竹田次氏夫妻及早川夫人態々京城より來りテントなど張つて接待せらる。私は之れで三回目であるが、年と共に益々隆盛な發展の道程を進みつゝあるを認め得た。此炭酸泉は根井里の地名を生んだほど古いものである、李朝世宗王は一ケ月も此所に逗留して御病の治療をせられたと傳へられ、今も井戶の附近から瓦片を見出すことがあるといふ。井戶が三つあるが一は栗氏の所有にして自然の儘に放置し、二は中原氏のもので內一は炭酸瓦斯を取る爲に用ゐて居る之より瓦斯を導き一方の井戶から湧く炭酸水と共に工場に於て混和せしめて瓶詰とするのである。現在用ゐてる井戶一つの湧出量は一晝夜六百石であるが、現在の機械能力では僅に五十石即ち其十二分の一を製造し得るに過ぎない而して一年十ヶ月作業するとして一萬五千石、一合六錢として約九十萬圓の產額である、若し機械を增加し此井戶の湧出量全部を製造すれば十八萬石約一千萬圓を得ることが出來る計算だ。今日は日々約三萬圓の國富を徒らに棄てゝ居るやうなもので、中原氏のやうな無欲恬淡な人でなければジット見てることが出來ない。此の點は目から鼻に拔ける當世商業家の企て及ぶ所ではないが、さりとて中原氏も商業より一步進んで根井の潤ひを地方民一般に潤らしむべく大活躍をなし以て不景氣の底掘ひをしたならば何んなものだらう。何か仕出かさんと脾肉の歎に堪へない根井が惜しい〳〵と思ふ所謂に大きと頷かれる。しかも水質味共に天下一と專門家が極印を押す以上、モット廣く世界に宣傳して大に需要を喚起すべく努めねばならぬ。炭酸水をウント御馳走になつた返禮に給付の意味ではないが、朝鮮を幾分なりとも潤澤にしたいといふ心から一寸他所の畑に鍬を入れた迄のことだ。三年に一度は庭の大改造をやらねば腹の虫が承知しないといふほど庭いぢりに付いては玄人の中原氏は、此の近邊の山から堀返して來た樹を工場の庭に植始めた。以前は此の庭に樹がなかつたので聊か意外とすると共に、此中キット始めると豫言したのであつたが、豫言が命中して私は嬉しくてたまらぬ。此の頃は櫻や楓を植込むに違ひない、そして殺風景な滿洲郊外を美化して了ふだらう。斯うなつて來ると好きな道樂に引込まれて炭酸水の十己樂などはソツチ除けにして工場を取り擴つて別莊など建てる懼れがないでもないが、中原氏たるもの何とか工夫一番、花も實もある名所にして戴きたいものである。

◇騎兵時代に道路部長と稱せられた服部といふ警察部長があつた、路をつくり並樹を植ることを本職と考へ、職分意識的に強行したものだそうだが彼が熱心した忠清南北道慶尙北道等は全鮮に於て道路が最もよく、しかも並樹の奇麗なこと內地などに到底見ることが出來ないほどである。ドーも官吏は浮草であり、何時でも御暇を頂戴する覺悟がなければならぬが、生命のある間に、任所の出來る限力を預かつて居る間に、何か後世に殘るやうな事業を仕出かさなければ職務に及ばぬことになるだらう私は此の文明的の美道を通る每に未知の人ではあるが、服部部長の名を思ひ其不朽の功を懷ふものである。

◇滿州に歸り汽車を待つ間を利用して、高等普通學校、稚蠶場、郡廳、郡農會試驗所、農業學校等を視察し普通學校の教育展覽會と運動會とに臨席して朝鮮鐵道の入澤副社長と共に歸城の途に着き午後七時着

大和民族の使命（四）
海軍中將 佐藤皐藏

某大政治家は軍備を打破し軍備を縮小せよと國民に觸れて廻つた。成る程軍備は不生產的であると云へば是は滑稽と云へば滑稽である。然し維新以來の歷史を遡れば軍備は一概に不生產的だなどと罵譽には片付けられぬと信ずる。

○軍備は國策上重要なるものである。他の生產的な鐵道、港灣、治水、學校等の各種事業こそ金が無ければ我慢もするが國家を維持する以上軍備は決して忽れぬのである。それは國民に我慢をして貰はねばならぬのである。夫れを能率に任せて軍備を縮小すべしと述べ廻つて居る。能率と云ふものは恐ろしいものである。假令へ知らぬ全く白紙の人に能率を據へばそれもだと思ふに何の無理もない。斯くの如き人々を相手にして軍備縮小の能率を據つた擧句其の聽衆に投票を行はしめて軍備縮小贊成者が多かつたから直に軍縮が天下の輿論であるとは何うして斷定出來やう。輿論はそんな所では摑めない。若し能率に任せて一時の喝采を博し自己の名聲を揚げんとする者あるとすれば左樣な者は煽動の徒である。

○華府會議の結果四國協約が出來て亞米利加はフイリツピン其の他太平洋諸島に於ける防備を現狀以上に施さぬ。其の代りには日本も小笠原や臺灣、其他沿岸の防備を現狀以上に行はぬと云ふ條件が契約された。是に依り日本は相當利益を得た如く考へるものがあるが是は大なる誤りである。太平洋を越へて戰ふには非常に戰鬪力を必要とし、日本現在の海軍力を以てしては先づ絕對にフイリツピン等を攻略に行けぬのであるが亞米利加は戰鬪力が大きいから敢て海が越えられぬ事はない。畢竟此の條約も亞米利加が日本の勢力を殺がうとして考へたものである。

○然し是等の總ては只彼等の侮辱に過ぎず、頗る橫暴、行動は今後に更に大きくするものと覺悟せねばならぬのである。更に試みに眼を轉じて支那を見よ、支那は共存共榮すべき國であるに拘らず今や何の親和が出來て居らぬ。是は遺憾である。而も支那の態勢は如何であるか、政界は常に動搖して安定せず、殊に今回の大亂は其の影響する處甚だ多く特に外國の干涉でも起らんか、日本は困難なる地位に陷らねばならぬのである。斯くて我帝國は東西に向る危險を感じつゝある現狀である。此處に我帝國に重大なる使命があると做す所以である。

○私が云ふ迄もなく人種は平等であらねばならぬ。亞米利加の如き國に在つてすら其の獨立宣言の劈頭第一に人種の平等を明言して居る。然るに今日其の國に於ては有色人種に依り差別的待遇の行はれるのは何故であるか。私は事の原因があらうが私は寧ろ、其は種々の偏見に其の原因が多少存するものではないかと信ずるものである。既に周知の如く世界十一億の有色人種は五億の白色人種に踏み付けられて居る。踏み付けられて居るのかと云ふに決して左樣ではない。歷史を遡れば東洋文明は早くより開け西洋人が歐洲の地を彷徨せる頃も數次に及んで居る。ヂンギスカンは歐洲の土を征服し露西亞の地は長く蒙古人に依つて占領され又トルコの地は久しく東洋人に依つて支配されて來た。東洋人は決して有色人種に劣つては居らぬのである。今の白色人の優越は畢竟一時的のものに過ぎぬ。

公會私會

◇總督官邸午餐會 齋藤總督は目下入城中の內務省技師井上秀氏を主賓に總監並に原土木部長、岩井建築課長、中島技師等を六日午後零時半より官邸に招待午餐會を開催した。
◇教員大會準備打合 六日午後二時より府廳に於て朝鮮教育會、京畿道教育會京城府教育會等の約十六名の委員會を開催し來る二十二日より三日間京城公會堂で開催する內鮮教員大會に於ける議題の選定其他に就打合を行つた。
◇早稻田校友會 在京城の早稻田大學校友會を來る八日午後五時より長谷川町金谷園に開く由出席者は、淸生命保險會社內の同幹事宛申込むべしと。
◇山銀店員披露宴 山口銀行京城支店にては來十一日午後六時半より朝鮮ホテルに總督府政務總監を初め官民側代表者市內銀行會社及新聞通信社々表者を招待し新任店長田口耕平氏の就任披露宴を催し十二日は同所に一般取引先きを招待すると

人事消息

▲小河秘書官 總督に隨ひ東上中の處六日朝歸任
▲小林房之助氏 同上
▲飯泉幹太氏(鮮銀庶務部長) 歸省中の所六日夜歸任
▲永井一銀下關新支店長 這般下關支店長に榮轉せる永井一銀京城支店長は六日朝下關より一先づ歸城したが後任島原氏は來る二十五六日着任の由で永井氏の赴任は月末頃であると
▲久米民之助氏(金剛山電鐵社長) 六日鐵原より入城朝鮮ホテルへ九日迄滯在

自動車事故

【釜山電話】釜山自動車部の自動車慶北一〇四號が金泉を發して醴泉に向ふ途中午後一時四十分頃……要する重傷を負はせたので附近の公醫に治療を請ひたる上示談濟みとなつた(大邱)

朝鮮唯一 斯界ノ權威 大川內のりは灸 腦神經衰弱、脚氣、神經痛、胃腸病、婦人病、來テ實効ヲ知ルガ一番 京城本町二丁目四五 金光教前

りん病は治る 急性も慢性も只一劑で奇妙に治る 他に類なき專門良藥あり 三日分送料[illegible] 古市中區流川町 小栗作造

京日案內 五號活字十五字詰五行一回金壹圓五十錢但料金ハ前納ノ事

古本 ●高價買入 ●是非御試驗を乞ふ ●御通知次第參上 京城本町二丁目 電話本三一九五番

恩給 年金 低利融通 立替 京城竹添町一ノ八二 前大東門醫專下車 ライジンクサン自動車會社橫 退役官吏恩給局會員 商會支店

毛皮 なめし 染色 仕立 鳥獸剝製標本調製 毛皮鳥毛買入 京城本町二 電話二〇六五番

貸家 古市町電車通商店ハ事務所向好適一戶外に岡崎町閑靜日當良水道附住宅あり 電話本一八二 朝野商會

貸家 會社又ハ住宅事務所向 二階付下室 吉野町一ノ一七 坂本武一 電本一七八

鍼灸 呼吸器病其他諸病治療す 小兒虫切り 京城南大門通一ノ四 電本九六七 盲目出身 清水宮主

新疊 表替 各種 上敷 花莚 自營業者借家主に特別勉強 京城黃金町二 金崎商店 電本局七八番

黒燒 元祖 一切黑燒類 京城本町 電光化一五六八 小川多平商店

雇入 女兒の監督と留守番をして下さる老婦人を雇入度し(至急) 姓名在社

院主 上京中の處歸院 皮膚科 佐藤醫院 診察時間 正午より午後六時迄 京城明治町二丁目 電話本局一〇八八番

外交員募集す 希望者は履歷書持參來談あれ 京城府水標町四十番地 東京實業新聞社朝鮮支部

貸間 部屋小奇麗設備よし場所便利學生か御勤め人の方を御世話致し度し 京城府櫻井町一ノ一 岡田政子

落葉松苗木 二年もの 三十萬本 至急賣却したし 御希望の方は左記へ 電話光化門三九七番 鳳翼洞 高木

裁縫教授致します 女子年期生及通勤生數名至急入用 希望者來談下さい 京城本町三丁目六〇番地 竹林裁縫所

外務員募集す 社員數名募集 希望者履歷書持參本人來談あれ 京城大和町二丁目三二 大正通信社朝鮮總支社 電話本局二七二番

貸家 合宿所溫突附 所在地西大門停留所より一丁 和洋折衷 御用の方は電話本局四二六番へ

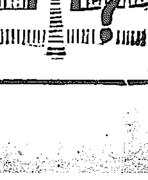
肺病專門治肺劑 福岡縣太宰府町 永光閑次郎

▲牛乳は富▼ 品質本位 御見舞ニ牛乳券ガ最適 朝鮮總督府指定 平山牧場 京城東小門外 電話光化門一二三六

自信製劑 強胃・消化・整腸 イカイ胃散 猪飼史郎藥房 大阪市 江戶堀

生活の安定は 副業に依つて得らる!!! ―確實特約店急募― ―月收百五拾圓請合― ▲保證金或は信認金等一切不要▼ 小資本にて女子にも出來る病氣不具者を論ぜずキツト儲かる需要の廣い不老不死の靈藥販賣の獨占事業に適す至急ハガキにて申込まれよ案內書進呈 ●見本は貳圓にて壹ヶ月分大至急送料當方持にて送る 京城府元町一丁目一二番地 醸造發賣元 南洋公司 電話九四六番

神秘口傳 家相圖解全書 ◆住宅を一寸見て家內に怎んな病人が有るか裕福か貧乏か家庭が不和か圓滿か妻君や娘の品行迄看破の出來る極めて進んだ秘傳書現る ◆全篇悉く挿繪と圖面で說明 ◆主人を亡ふ家◇家內の和出て行く心細い家◇不治の病者の出る家◇子供の育たぬ家◇病めば難の初◆客を招く繁昌の家へ◆人が寄り集つて賑ふ家 發行所 東京巢鴨町 心友社



神通自在 靈狐使用の傳 ◆四六判洋裝かな附二百餘頁 古來何人も不思議として居るものは狐の神通作用である 東京巢鴨町 心友社

祈禱術傳習錄 ◆自宅獨習で祈禱免狀が貰へる 東洋祈禱大學院講師西村大觀先生著 ◇新刊◇

醜伍長等 大々禁錮と判決
……伍長 中村喜一郎 禁錮壹ケ年 ……小山 喜吉

鮮少女五名誘拐

[illegible]四中隊[illegible]一殿[illegible]こが六月二十一日[illegible]中村[illegible]子を[illegible]内に引入れ[illegible]せしめた[illegible]

[illegible]事件は過日公判[illegible]ありて[illegible]の如く四日午前九時三十分左の如く判決言ひ渡しがあった

同三ヶ月 上等兵 富高 正輝
同壹ヶ月

安東縣で逮捕

二日午後八時四十分發[illegible]行の列車に乘車せんと安東驛三等待合[illegible]

目下取調べ中である[illegible]の被疑者は
山東省登州府文登縣周立清(三一)同永城縣[illegible](三一)同

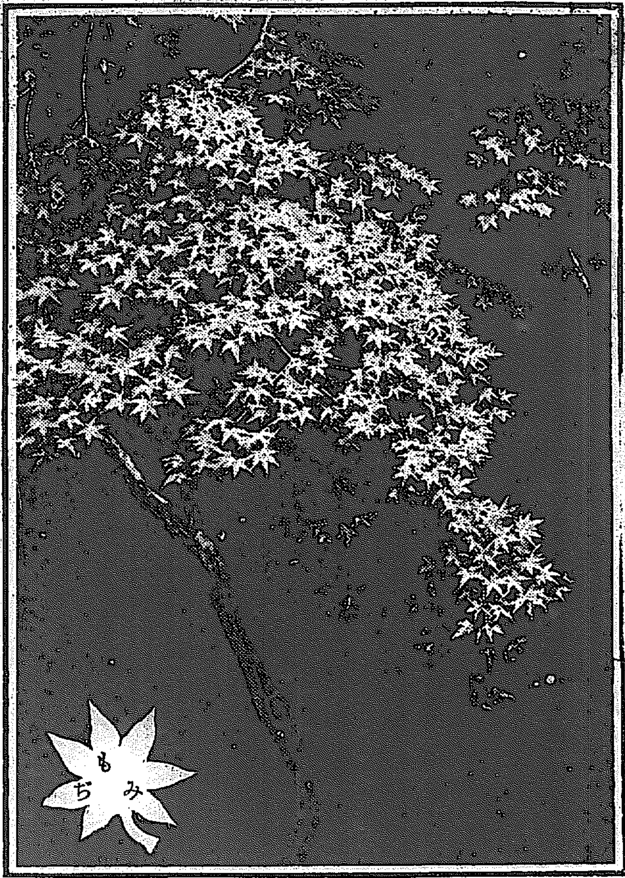
[illegible]で[illegible]の一人は[illegible]町四丁目五十七番地[illegible](四〇)より女一名に付二十五圓宛で買ふて來たもの[illegible]直に京城に引返したと自白した

自動車盗難頻出

[illegible]市中に於ける自動車の盗難被害近[illegible]要する(開城)

[illegible]域に於て斯の如く特種の被害は[illegible]路上に於て[illegible]の三男[illegible]文錫(一〇)を乘車せしむる爲め急に停車せんとする[illegible]

[illegible]が四日午後七時四十分頃[illegible]到着し[illegible]



駿馬初緑に召され 攝政宮御閲兵
式後慰勞の大饗宴

特別大演習閲兵式は野村練兵場を中心として六日大元帥の名代として裕仁親王を迎へ奉りいとも嚴粛に行はれた

宮には午前十時中佐の御通常服に奈良武官長、閑院、久邇、梨本の各宮殿下、奥、上原各元帥、河合總長以下各陸軍首脳を随へさせられ初緑に召され、大本營出門十時十分臨場たる第四師團練兵場に入らせ給ひ、秩父宮殿下、各外國武官に謁を賜ひ終つて再び駿馬に召させられ奈良武官長の先導にて野村練兵の閲兵を終らせられ歩兵三十五聯隊の兵營に成らせられ小憩の上十時四十五分大本營に御還啓引續き午後一時六公園大式場に賜饌の有資格者三千五百餘名を御召の上御祭の一大宴をとり行はせられ二時二十分宮は中佐の御通常服にて臨場設けの席に着かせらるゝやがて時移り饗宴中ばに至れば各自祝盃を擧げ一齊に萬歳を唱和し宮には盃をとつて一同の勞をねぎらはせ三時十分奈良武官長以下を随へ諸員最敬禮裡に御機嫌麗しく御退場遊ばさる

飛行機には絶對危險はない
墜落の慘事あるは操縦者不熟練の爲
所澤飛行學校教官 後藤少佐語る

飛行機は非常に危險なものであると云ふことが今日尚多くの人の腦裏を去らないのは甚だ遺憾とする所である回轉する螺旋機に觸れたら大怪我するが搭乗者には危險なものでない飛行機を危險な乘物とする者への提示は

一、大空中に飛揚するが故に常に地上に墜落せんとする傾向を有すること

二、過渡期時代に於て比較的多數の故障ありしこと

三、飛行機其ものが珍らしき爲め飛行機の事故を大きく報道せらること

等で操縦者が失神せず生存して居り無謀な操縦をしない限り絶對に墜落するものではない

飛行機の價格

飛行機の價格に就ては種々なる理由の爲め一概に之を定むる譯には行かぬ即ち同一の物品でも大なる設備を整へて大多數の人員を以て分業的に大規模の製作を爲せば自ら安價に製作又は材料を購し得て安價になるのは明白なる事實であるが斯業の少き飛行機にありては施設小規模に製作に適し且家庭工業的の小規模にて製作し得ず設備其ものは大工場の如く可なり大なる設備を要するの不利がある上需要の不利は悉く飛行機其ものの價格を高價ならしむるの原因をなしてゐる大體の價格標準を示せば左の如し

一人乘百馬力位	一八、〇〇〇圓
二人乘、三百馬力位	三五、〇〇〇圓
大型爆撃機ニテ六百乃至八百馬力	六〇、〇〇〇圓

飛行所要經費

次ぎに飛行に伴ひ要する諸經費は廣大なる飛行場の土地と大なる格納庫を要し操縦者職工の手當手入修理等の維持費を要し一機の飛行機を一ケ月完全に整備する爲には實に千圓近くの經費を要し且比較的高價の燃料及滑油を要する爲め飛行に要する經費も亦相當高價となる試みに今回飛來する爆撃機の所要油量を擧げて見るも一時間約十罐(二石)の揮發油と一罐餘の滑油を消費し一時間七十圓餘の油を消費する割合となる

來年遣直し
京城所澤大飛行に就て
飛行學校長上原小將語る

所澤陸軍飛行學校長上原少將曰く『機關故障の爲め再び大邱に引返したT式七號機は解體して所澤に輸送する事になつてゐる又太刀洗で故障を生じた八號機は目下破損部分の代用品を所澤より急送中で修理成り次第京城に向ふ筈であるが多分八日朝京城に飛來するであらう尚改めて明年所澤京城間の無着陸飛行する心算である』云々

梨本宮妃 御全快

梨本宮妃伊都子殿下は帝大附屬病院に御入院遊ばされ御手術を受させられたが、其後御經過極めて宜敷く御全快の御模様なので六日午後御退院遊ばされた同日中御邸の上御静養遊ばされる由である(東京電報)

菓子料を賜ふ
高齢者其他に

攝政宮殿下は六日賜饌後石川縣下の高齢者九十歳以上の男七十九名女二百十八名百歳以上二名並に篤行者三名節婦三十五名孝子十五名に對し御菓子料を下賜された

鐘のローマンス(二)
血汐滴る教會史
今も殘る尊い殉教者の面影
フランス教會堂=その二

朝鮮にはじめて基督教が布教されたのは今を去る二百年前の昔であつた、當時我國に於ても、キリシタン宗は邪教であるとの故で上役人はキリスト教の撲滅を計る爲めにあらゆる手段をも辭せなかつたやうに又朝鮮に於ても時の李朝では極端に同派のものをいみ嫌つたものである、即ち國王の命令に依つて基督教を禁斷するものは極刑に處して仕舞ふと言ふ布令が全道に配附されそれに依つて下役人に至る迄血眼になつて異教徒を誅捕し轉宗を強要して聽かざれば一家族全部を斬殺に處し首は獄門に晒して一般の見せしめにした

× × ×

抑も京城に同教が入つて來たのは距今千七百八十四年の春李承薰が支那北京に於て洗禮を受け歸來しペトロと稱し朝鮮に傳道をはじめたのだと言ふのである。而してそれより十年後即ち千七百九十四年に清國人で周と言ふ者が來鮮したのが支那人の傳道師として朝鮮に於ける最初の人物であつた越えて千八百一年時の政府の爲め支那人周神父はいたましい殉教者として葬られた。之はフランス教會史の第一頁に第一殉教者として記されてゐる悲しい犠牲者であつた、續いて同十一年に該教の監牧が任命されはじめて教會の設立となつた

× × ×

然るに同三十九年政府の迫害の手は益々強く加はり第二の殉教者を出したその主なるは范主教以下二神父、羅神父等の者であつた、更に同四十五年金大建神父と言ふ者が牧師に任ぜられた之が朝鮮初まつて以來はじめての鮮人牧師であつた。その翌年又もや第三の殉教者を數多出した中に金牧師もその一人であつた。更に同六十六年第四回目の犠牲者を出した張主教安主教金神父、徐神父、田神父、朴神父、申神父等はその主なるものであつた、德川幕府時代に起つた天草一揆と言ふキリスト教徒の暴亂が持ち上がつて世を騒がしたことがあつたが朝鮮では此の如く迫害を受けてもそれ程の亂は持上がらずして濟んだ、然し朝廷の命に依つて處刑された犠牲者の數と云ひ又その刑罰の殘酷なるものであつた點では日本に於て行はれた殘虐と劣る處はなかつた

× × ×

踏繪の制度も日本同樣に行はれた そして命に反き背いてゐたものは其場に捕へられて獄門に運ばれて行つた、可憐な妻や子も夫の爲め親の爲め一緒に極刑を受け生命と財産は即座に取上げられたのである。中には死を怖れて轉宗したものもあつた。然し後で悔み再びキリストに歸依して捕へれ殉教したものもあつた。(つゞく)

(註=神父と言ふは教徒の法名である=宮田は鮮人牧師最初の犠牲者金大建主教=)

金が騰つた
一匁七圓卅八錢
ザット五割の値上げ
まだ具體的申合せはない

最近外國爲替の相場の變動で中にも一番取引關係の密接な米國爲替相場の變動から過般政府で金價一匁六圓三十五錢と言ふ標準値の發表を見るやうになり京城貴金屬商組合でも過般會合を重ねて値上げに決定した、何時値上げをするか値上引直し値段を何時から實施するかと言ふ具體的な問題は組合としては未だ纒まつてゐないが組合長大澤商會の眞木仙次郎さんは語る

『内地の標準が六圓三十五錢であると朝鮮ではそれに運賃保險料約一割を附加して約七圓三十八錢の賣値になる譯である、右は加工せぬ純金の價段であるから從來の純金の公定相場一匁五圓から見ると約四圓七分から五圓の値上である、今後金の價格は米國の爲替相場の變動に伴つて變動するであらう、然しこの財界不況の折柄一匁五圓の値上げは到底實施の出來るものではない、現在府內にあるものは從來の元値で入れたものであるから自分の個人の理想としては現在の手持の品は從來の賣價で賣り、今後店內にある品を賣り切らし新しく金價高騰後の新製品が到着したならばそれを在庫品と一緒にして平均値段を取つて漸次新値に近づけて行きたいと思ふ、現に金の地金は一匁五圓五十錢位で先高の氣配である、地金があがると從來よく支那に密輸出されて約二割位儲かつたものが全然儲からなくなるからこの勢は自然行はれなくなるであらう、同時に金價下落に伴ひ金細工等も勢ひ閑散の有様であつたのが金價高騰につれ漸次復活して來るであらう、組合としては今の處從來より高く賣ると言ふ申合せをしたのみで未だ何等具體的の申合せはない。』

頭が二つ腰は一つ 手足は各四本ある
世界にも稀れな畸形兒

四日朝シヤトルから横濱入港のプレシデントマツキンレー號で世にも稀な奇形な双子が來た此の世界的に有名な双子の名前はルシオ、ボジツとシンプリオ、ボジノと云ふ男の兄弟で今年十六歳になるが二人の身體は背中合せにくつついて居り其腰をヨチ／＼と四本の足で拍子を合せて歩く姿は見てゐる者も涙ぐましい程氣の毒であつた彼等兄弟はマニラキリスト教青年會長ケードル、ヤング氏に伴はれ今春四月廿日マニラを出發し佛國に赴き次で英國に渡り歐洲の醫界の診斷を受け腰を切り離す可く手術を請うたが之を切り離すと二人の生命が危いと云ふので手術を受ける事も出來ず米國に渡つてペンシルバニヤ醫科大學其他でも同樣診斷を受けたが矢張り手術は出來ないものと云ふので失望しながらマニラへ歸途である

人事相談所
十月中就職率

京城府人事相談所十月中の求職數は内地人二百三名鮮人四百四十八名で求人數は内地人百九十六人鮮人百七十一人であつたが紹介に依つて就職した數は内地人七十三名内男四十九女廿四鮮人九十五名内男六十九女二十六人合計百六十八名で紹介數に對する就職率は内地人四割四歩鮮人二割七歩平均四割にて大阪に於ける比率六割及昨年同期の五割六歩に比すれば就職率は餘程減退して來たことが知れる此外身の上相談は法律一件人事上三件鮮人々事上六件合計十件で昨年同期生活上十二件を取扱つたに對して今期に生活上相談のないことは珍しい現象である

菊【その二】
李王職昌慶苑 八戸培養主任談

現今栽培して居る菊は何處から來て何時頃から觀賞し始めたかと言ふに餘程古い昔のことで固より判明しない、けれども和漢三才圖會並に守山侯の菊經などに仁德天皇七十三年(一五三一年前)に百濟から菊種を貢ぐと言ふのが始めで其他察國史には桓武天皇の延暦十六年十月に菊花の御宴があり、平城天皇大同二年九月には菊花御宴の記事がある、又續日本後紀には仁明天皇承和二年九月群臣に菊の宴を賜ふとある、その他萬葉山の記事を散見するので綜合推察して見ると實に角千餘年前に支那から入つて來たのが源で次第に珍重されるやうになつたに違ひない。

◇

我國にも原種と見るべきものは野生品にはあるが其れが直接進化したのでなく、支那にある同樣なものから改良され、それが我國に渡來したものと判斷するのが正當らしい。そして邦人獨特の技能に依つて遂に現今のやうになつたもので就中寛永から正徳、享保を經て寶暦に至る頃は頗る旺盛を極め培養の術も又精妙に達して遂に今日に及んだのである

◇

支那では神農本草上品藥中に見えてゐるがそれは藥用としたので賞翫するやうになつたのは遙かに後のことである、楚辭に菊花を以て聖人君子に比してゐる、その作者屈平は西暦紀元前三百年位の人である、又採菊東籬下悠然見南山で、有名な陶淵明は西暦四百二十年頃の人である、以て如何に古くから愛玩したかが知られる、歐羅巴では如何と言ふに日本、支那から輸入したのが元で千六百八十九年(二百三十年前)ブレーエンと言ふ植物學者が何時の間にか和蘭に輸入された日本の菊六種ばかりを研究發表してゐる

◇

その後千七百十七年に獨逸人ケンフエル氏が九種ばかりを記録してゐる、千七百九十五年になつてから英國で始めて咲いたのださうである、伊藤博士の説では菊が西洋に渡つたのは千百八十年で夫は支那の菊で日本の菊は餘程遅く千八百六十年英國の植物學者フオーチユン氏により傳へられたので今では人爲淘汰の結果原種は消えて純然たる英國種になつて了つたので ある現在では原産地の日本に對して菊花競技につき御來訪を請ふなどの招待状が來たやうなこともある

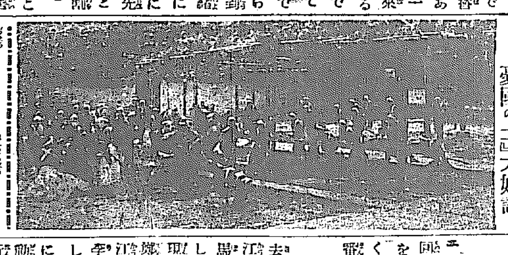
山田松琴氏作、清水三重三氏畫
小說「雲を破る」
近日の紙上より連載

讀者的好評を以て迎へられつゝある本紙連載小說『雨の花』は遠からず完結し、引續き多年新聞小說に讀を集め人氣沸くが如き山田松琴氏の新作小說『雲を破る』を連載します

本篇の骨子は下の梗概の通りである。氏の作品が家庭の讀み物として最も適當なるは讀者も知る處である。氏の作に擬惑する人は勿論、今まで氏の作品に觸れたる事なき人々も此機に際して御愛讀あらん事を願つて止みません。高清水三重三氏の揷畫は東都畫壇の俊秀です、その瀟洒な筆致は本篇の内容と相俟つて一層の興味を唆ると思ひます

一梗概一 思想の衝突から親族の家を飛て出た青年が、或機會で一女學生と戀に陥ちた。二人の間には戀の結晶が出來た。女學生は戀人の治療費と育兒や生活の費用を得るため我身を金に代へた。青年の父はそれを好機として計畫を囲らし、二人の仲を裂き幼兒までも奪ふて隠した。青年が病院を退いた時は愛する妻も兒もその行方が不明であつた。青年は妻を不貞の女と誤解して自棄となり、再び實家を出て土方となつて水平社員の娘と結婚した。女學生は一旦實家へ歸つたが兄妹からも村民からも堕落女として排斥せられ身を置く所がなく、良人と兒の在所を探して流轉した。悲慘を極めて漸く邂逅した時良人は既に我ものではなかつた。彼女の死は青年の誤解や青年の父の頑思想の雲を美事に破つたのであつた

喜樂館の名畫
『憂國の士』大好評



車夫の大亂闘
賭場爭ひから

六日午前六時頃府内堅志洞一〇一番地金順奉(三〇)と鍾路二ノ七人力車帳場で大格闘を演じてゐる所に通りかゝつた鍾路署員が認め制止したるに却つて反抗するので兩名とも同署に引致されたが原因は韓某が同所で昨夜の賭博中に韓某が遊びに來るので之れを掴んだことからだと

エス語研究聯盟

朝鮮エスペランド研究の同人相謀り今回朝鮮エスペランチスト聯盟を組織し來る十五日創立總會を開く由同會は永樂町二丁目六十三番地に假事務所を置くと

鮮人馬賊逮捕

去る二日午前七時頃鴨綠江對岸蠶頭[illegible]江岸二百清溝に於て支那官憲と鮮人馬賊と交戰し鮮人馬賊外一名を逮捕しモーゼルピストル三挺彈丸多數現金一千三百餘圓を押收したが此の鮮人馬賊は去る八月十數名の同志と江界に侵入し東西面李昌甫前川面李昌甫の兩名をば人質として拉去した曲者なれば中江鎭警察は支那側に要求し其身柄を受取り尚これが乾溝で拉去された二名も帽兒山附近で救助した(新義州)

珠算競技會

府內銀行組合所では九日午前九時より公會堂に於て第二回聯合珠算競技會を催する筈

貧民無料治療

心斎治療家として永年國内救濟の慈善に從事し來れる梶原靖弘氏は治療患者の増加に依り從來の治療院にては狹隘を告げるので今回櫻井町二丁目五十五番地に移轉したがこれを機會に貧民救濟の爲貧困者に限り無料で治療をなす由

電車と衝突

五日午後一時廿分ごろ東大門發京城驛前行五四號電車が蓬萊橋停留場附近を進行中高陽郡龍山面龍內里一九〇徐永甚(三九)が荷車を挽いて線路を橫斷せんとして衝突し徐は荷車の車輪に破損を受けた

胃癌 いかん 子宮がん 食道がん 舌がん 胃病腸病心臟病 特效藥有り照會次第詳報す 明石市相生町 本家 森末家

生活の安定は一 本業 副業 を營む者が生活の安定を得る良い事業は皆様の目前に存します 時機に後れて後悔なきやう今の時に早くハガキで申込まれば詳細御通知申上げます 大阪市東區久寶寺町 大東製作所 (電話東五〇三六)

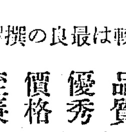
すぐきく 明石のノーシン

ぜんそく 如何程永年の難疾も治す家傳藥あり 苦しむ困難者申込次第報す 播州明石郡玉津村 日輪寺

そこひ目 慢性困難者も大喜び全治者頗る多し 無料詳報す 播磨明石 福山原齊

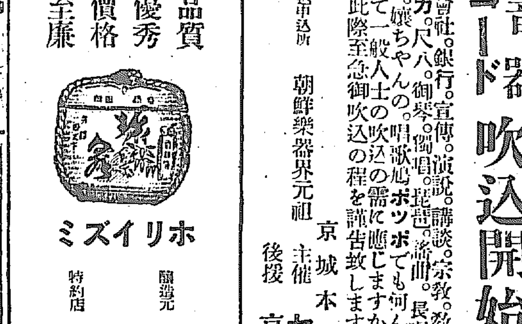
月收五百圓 小資本で不景氣時代特に儲けよき生活必要の商品日用品の代理店募集 詳細無代 名古屋市中區栄町廿九番地 丸八商會

比較は最良の撰擇法 品質優秀 價格至廉



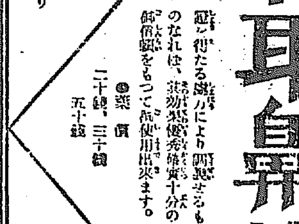
ホリイズミ 釜山 醸造元 堀兄弟商會 京城府大島町二五 特約店 有馬屋酒店 電話 龍山五七八番

自信を以て特撰優良靴を廉價にて提供致します 特撰靴 京日 (カタログ贈呈) 編上靴 自十二圓也至十五圓也 短靴 自十四圓也至十三圓也 合資會社 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番 電話(自四〇〇〇番至四〇五番)



佐々木 胃腸病院 京城明治町一丁目 電話本局一六五九番

朝鮮開闢以來半島空前の壯擧 あなたのお聲を永久に 東亞蓄音器株式會社技術部員出張 蓄音器レコード吹込開始 自十一月十一日至十一月十二日 諸官廳。會社。銀行。宣傳。演說。講談。宗教。教育。ピアノ。バイオリン。ハモニカ。尺八。御琴。獨唱。琵琶。謠曲。長唄。清元。義太夫。可愛坊ちやん。孃ちやんの。唱歌鳩ポッポでも何んでもセヤマ樂器店吹込場に於て一般人士の吹込の需に應じますから千載一遇の好機會を逸せず此際至急御吹込の程を謹告致します。 吹込申込所 朝鮮樂器界元祖 京城本町一丁目 主催 セヤマ樂器店 後援 京城日報社



大木耳鼻藥 本劑は耳鼻咽喉科學博士ポリツエル氏が嘗て從林の耳鼻専門病院にて臨床的實驗を盡み、その奇効なる點を認め得たる能力により調製せるものなれば、其効果顯著十分の御信頼をもつて御使用出來ます。 主効 耳だれ、耳道炎、耳鳴、耳痛、耳内おでき、耳加答兒、耳垢たまり、急性慢性鼻腔炎、鼻びに鼻だれ、鼻加答兒等に効あり ●藥價 二十錢、三十錢、五十錢 發賣元 東京小石川音羽町六丁目 大木合名會社 東京島町なべ町 大阪東區道修町

毒の花 (114)

入江新八作　近藤紫雲畫

「何うしたんだらう……」

彼はさう云つた。が、何うしたのか、恐らく、昨夜のことが氣になるのだらう……みな子に對して濟まないことをしたといふ感情が彼の胜の底で動いてゐる證なんだらう……と藤岡は自分を客觀的に批判して考へてゐた。

「だが、併し、本當を云ふと、俺には、もう、みな子に對する愛は此のSの爲に消えてゐる譯なんだが……さもなくて、Sと斯んなことになる譯はないのだから」

とも思つた。が、直追つかけて彼の心は反逆した。

「馬鹿な、そんなことはないぞ。俺の愛がみな子から、全然消えることなんてありはしない。みな子に對する愛は依然としてあるのだ。さうしてSに對しては、また別に新な愛が生れたんだ。愛は泉の如きことだ。新しい泉を掘つた爲めに古い泉の水が涸れるといふことは有得べきことだ。とも彼はまた思はぬわけにもゆかない。

……つまり、彼は、その二つの愛の岐路に立つて立ち迷つてゐる自分を靜かに凝視としてゐる爲にSに對しても、今、快よく話をする氣にもなれないのだつた。

やがて、十二時になつた。彼等は朝飯を遲くしたので、お晝の御飯と一緒になつてしまつた。日曜日には、よく、こんなことがあつた。彼等は一緒に食事を濟ましてた。それから、公園の方へ散歩にゆかうと話してゐる處へ、女中がやつて來た。今、俥が此手紙を持つて來て、返事をくれと云つて待つてゐると云つて手紙を藤岡に渡した。藤岡は、みな子から手紙が來たのだなと思つた。

く無限だ。他に對して泉が湧しく生じたからと云つて、元の女に對する愛の泉が涸れるなんてことはない。むしろそれは反對の傾向を作る位のものだ。反對とは、則ち新しい女に愛の泉が新しく湧き出すと正比例して、元の女に對する泉も共にまた勇ましく湧き出て來るものだ。それは、本當のことだ。それは誰にでも經驗のあることだ」

彼は又、さう考へた。極めて突然と瞬間的の考へに相違ないけれども、彼は、彼の實際の經驗の上にも、また友人達の彼に話した告白的な話の上にでも、さういふ情緒は有り得べきことだと彼は思つた。で、つまり、今は、本當をいふと、Sと新しい關係を生じた爲めに、却てみな子を思ふ情が、更に還つて强くなつたのではないかと思つたのだつた。併し、それは、何うだか、はつきりしなかつた。Sと新しい關係を生じた爲にみな子への愛が更に募るといふこともあり得べきだが、併し、全くSの爲にみな子の愛が消滅するかも知れないといふことも有り得べ

藤岡もさう思つた。Sの顔色は急に曇つて不安な眼をして藤岡の顔色を見てゐた。彼は默つて手紙を女中の手から取つて、先づ宛名の方を見た。宛名は『藤岡雅次君』としてあつたので、直、みな子でないことが分つた。と同時に其手蹟に覺えがあつたので彼はハッと思つた。

彼は直裏を返した。裏には、獵澤池畔柳枝樓にて星野良吉としてあつた。

彼がハッと思つた時の豫想は、確かに當つてゐた。正しく、友人星野良吉からの手紙だつた。藤岡の顔色は暗くなつてゐた。が、直ぐ落ち付いた。

彼は、封を切つた。その手先が顫へてゐた。その顫へる手先をSは視つめてゐた。併しSはみな子からの手紙でないことが分ると安心した。藤岡は一氣に手紙を讀んだ。斯ういふ文句が書いてあつた

(……啓、僕は君を探して東京からやつて來たのだ。死んだと思つた君が生きてゐたことが分つて先づ何より……親交を温めんと欲して君を獵澤池畔の一酒亭に待つ。直ぐ此車で來てくれたまへ。萬談後刻に讓る、良)

京日文苑 投稿募集

短歌　題 酒　尾上柴舟選
俳句　題 時雨 内藤鳴雪選
川柳　題 紫　呂井上剣花坊選
締切　十一月十五日(各題)共
賞金　天一圓半、地一圓、人半圓
注意　一題一人三句、各題別紙用紙葉書、雅號住所明記、京城日報社『京日文苑』宛の事

其他各地會報歡迎

桐南子氏歡迎句會

一一、二……綠蔭報

ホトトギス系の俳人は、早くから桐南子氏の名を知つて居る。併し、所謂飛行機の方であるのは知らなかつた。其桐南子氏は、今の爆撃機の先著として龍山に見えて、多忙裡乍らも初めてと言ふ朝鮮の風物に、詩嚢を膨らして居られた。十一月二日夜、長崎屋旅館に共に句作の機會が惠まれたのであつた。次は其夜の收穫の一部である。

朝鮮の菜畑背き刈田かな　桐南子
今朝の冬朝鮮に來て居りに鵝
故郷の俥と揺る刈田かな　龍城
七輪の火色好もし今朝の冬
追ひついて先生と歩く刈田哉　栖畝
踏切を通る巡査や今朝の冬
外出に下す足袋なり今朝の冬　春汀
柱鏡の紅色伦し今朝の冬
日曜の先生も居し刈田かな　佃人
生徒連れて日々踊る畑刈田哉
月明や刈田の巣の風ボプラ　千浦
曇なき柱鏡や今朝の冬
初冬のぬくき日當り鼎水　紫牛
山の畑はの〳〵背き刈田哉
堀を抜く禊せこみ今朝の冬　休山

初冬の屋根新しき禮堂かな
人を乘せて渡迎ふ舟や今朝の冬　歸城子
菜を上げて刈田に背き大根屑
焚火屑雨に濡れ居し刈田哉　左人
夜漁に朝霧かゝる刈田かな
窓の灯の落ちて明るき刈田哉　有年
初冬や高梯支へ太柱
山合や刈田の巣に沈む家　友古
初冬や厨障子の干葉影
梢皆池に映れり今朝の冬　殿
壁の月淡くもあり刈田道
初冬や緣の下なる重ね鉢　寶梯
人遠く橋を渡れる刈田かな
突出でゝ磯の松や刈田中　適世
崩れある土手一處刈田かな
菜畑に墓あり流の今朝の冬　紹董
初冬の松毬溜る鼎かな

龍頭川柳吟社 (釜山)

宿題『温泉』　川島静の男選

温泉の利きめ嬉しい岩田帶　三好
職惡を別府に避ける不仕合　中納言
温泉の町の何處も似た土産店　扇花
家族湯へ赤の他人を連れて來る　賦水朗

人位
温泉場雨の音をきき　ひさご

地位
長湯治ホ碁盤を抱いて來る　樂桃源

天位
温泉宿から裸のまんま日を拜み　扇花

課題『朝歸り』『稲荷』『窓』『股倉火』
矢谷詩腕坊選

地の底の何處で焚てる湯の煙
股火から股火に傳ふ茶呑咄　田平
番頭早くなりたい股倉火　静の男
股倉火話相手に端を貸し　虎之助
挿苗乍ら股火鳴り付け　滿洲流

人位
飛行機が何だと立たぬ股倉火　一眺

地位
煞も無く過ぎる亭主の袖を引き　静の男

天位
朝歸り鳥居の外で手を叩き　鬼腕坊

軸吟
股倉火の湯も會社の門を出る

しぶ茶川柳小集

題『窓』『眞厳』　二瓢里

落書禁止の隣は窓を閉め
藪椿へ來ると窓から顔が出る
目をこすり歸る窓を明け　寶月
同窓會なつかしい相な顔と顔
死んで行く人に悟しかし真厳
一列になつて御客を待つ眞厳
窓際へ來て物足らぬ月の冴へ
寂窓へ來て讀經眞厳戸袋
団扇(朝顔伸びたまゝひらき

月が見ゑ　太祥子
窓辨の靜かに搖れて月が見ゑ
緒の切れた草履提げて泣いて來る
窓際の思案へつばめ眼をつむり
待ち兼ねた窓が外れる廻し部屋　赤島
引き揚げた投網に切れた鶏草履
二階の窓から覗く人通り
事務室の窓から覗く閉れた靴
ゆがんでる草履先生來て直し
窓に陽が當つて起きる日曜日
河岸の草履を囲む人だかり
今買つた赤い草履を出る
放水車濺くよけるゴム草履
姉さんの草履をはいて逃げ廻り

半島 版界

△朝鮮史講座(第十三號)一般史講義　分類史講義　特別講義に區分し各講義を更に上中近世史民族財政法制美術佛教等に細別して各專攻の講師多數が研鑽記述されたもので朝鮮史研究資料として他に類のないものである(一圓京城長谷川町七六朝鮮史學會)
△朝鮮と建築(第九號)困難なる朝鮮の都市計畫(吉田享二)京市計畫と地帶區分の利便(SS)其他研究雜誌資料等(七十五錢京城黄金町二日本生命ビル內朝鮮建築會)
△金融と經濟(十一月)三十錢京城南大門通二殖産銀行内朝鮮經濟協會
△社友=朝鮮鐵道及從事員の歌(第十號)十五錢京城府龍山鐵道構內社友會
△更生(第八號)五錢京城南米倉町一一京城組合基督教會
▲朝鮮小學新聞(第二十一號)長野學務局長其の他の後援に依り益々内容も豐ひ讀者兒童諸君の唯一の友たるべく有益な讀物を精選して編輯されてゐる(月二回一部十五錢京城永樂町二の六三朝鮮小學新聞社)
▲京城藥報(十月)一ヶ年二圓京城本町二の七一京城藥報社
△滿鮮之商界(十月)三十錢京城本町二ノ七一滿鮮之商界社
△東亞法政新聞(十月十五日)月二回一部二十錢京城貞洞一其社
△朝鮮鐵道協會雜誌(十月)最近我社の經營狀況(鈴木實彥)朝鮮視察者の誘引を圖れ(賀田直治)滿洲旅行談(澤崎修)其他(五十錢京城龍山鐵道樓上朝鮮鐵道協會)

▲貴社御催しの市民音樂會混濁せる社會に興ふる一服の清涼劑なり吾等は此種の催に深く感謝す。希くば今後も時々開催せられたし(好樂生)
▲市内にて習字を教授する所ありませんか(お願生)▲三十日午後成歡驛で四十錢の上辨當を買つたが飯は半煮え、で副食物の調味も材料も貧弱だつた大郎の驛辨辦當が四十錢なら成歡のは二十五錢でよい。それ以上は暴利といふもの(特急二等客)▲近來頻りにまゝたことではないが目拔きの電車停留所即ち鮮銀前とか京城驛前とかに穢たない小供乞食がゐて電車待つ諸彼の容赦なくしつこく錢を要求し邪だしいものはすがりついてくる。又本町通りでも雜踏の内をつきまとふのもあるかゝることは何人も非常に不快を覺へ伺風致、美觀の上に見逃すべからざること▲思ふ當局の御取締を嚴重に願ひたいもの(みどり)▲當地子供百日咳の流行まきて醫師の藥を服でも一向ききめなく秘方も二人かゝり徹夜のかちなく一時間に一回位セキ出で困つてゐますが讀者皆様の内に何か右の病氣によい藥御承知の方は教へて下さい(大田の女)▲抑々十月三十一日は國民は舉つて天長節慶祝を表する日は言然なる京城龍山元町三丁目は大なる國旗も出さず提灯も出してゐなかつた町總代及役員の怠慢か(龍山元町三丁目憤慨生)

京城本町一 電話本局三〇 喜樂館
當る四日より特別大興行公開
▲實寫 大毎ニユース 長尺
◎パテー會社作 巴里の暗黒面 六卷
◎第二回日活京都新劇部特作 連續活劇 生きざりしならば 六卷
▲悲劇 河村雅子御子柴雄主演 澤日活會社が確信して大成せるあらゆる時代劇映畫に高踏せる絶對名作品 熱血愛國の士 前編六卷 誠の叫ぶ忠臣が愛國赤誠の發露を見よ!!

演藝案内

當る五日より 議員御禮の爲め 特選名畫公開 黄金館
帝キネ共營 毎日晝夜
◎時代小説作品 勝樂毛節誕 留五郎 捕物帳 五卷
◎尾上紋十郎、阪東悲劇主演 ユナイテツドアーチスツ社特作 サロメ 全六卷
◎文藝映畫 名花アラ、ナジモワ夫人主演
◎帝キネ大傑作主婦の友所載 室前の星は亂れ飛ぶ 十卷 ◎大映畫 澤蘭子、松本泰輔主演

松竹共營 毎日晝夜 大正館
當る拾壹月四日より上映
ケンネス・ハーラン氏主演 プレフアード會社特作 クララ・ボー嬢 ▲人情活劇 樂園の毒草 全七卷
松本映治 ▲活劇 峠の彼方へ 全六卷
松竹蒲田超特作 東榮子主演
▲市川荒太郎 新派悲劇 五大力 全五卷
松竹蒲田大傑作 川田芳子主演
▲諧謔喜劇 温泉の十九 人若頭 全六卷

キノマ映畫 毎日晝夜 中央館
十一月四日より特別興行
實寫 東亞 週報 全一卷
滑稽 やきもちやくなよ 全二卷
名優ヘンリービウオルリール主演
社會劇 暴利者の自滅 全七卷
東亞キネマ甲陽撮影所作品
猛闘活劇 熱血の洗禮 全六卷
正と邪も流れ集まる港町における 他オールスターキヤスト 藤川三之助、小町美子 東亞等持院原作品大活劇 神田伯山師撮影所原作品大活劇 阪東妻三郎主演 一野春三氏監督 時代劇 清水次郎長 全七卷
マキノ時代劇は既に定評あり絶對此社の大作品の追從を許さざる御見逃しあるな

明治町 電話二六〇 浪花館
當ル十一月四日ヨリ 大阪親友派 浪花節 座 競浪大會
京山南洲
吉田日の丸
都大椽
外出演者連中

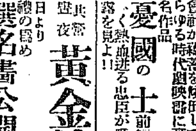
御料理 安東縣 太陽樓 電話七三番
御料理 安東縣 電話二五九二番 由良之助

小便の病
小便の前後心持惡しく◎長だ痛む◎ニゴル◎血や膿の混ず◎尿の出惡きカタル尿道カタル等の妙藥あり困難者申込次第詳報す
兵庫縣明石市 藥師院執事

大田案内
大田本町一丁目 書籍文具 運動具 販賣 紙類 本司商店 電話長二六一番 振替京城三〇一三番

久納洋服店 大田本町一丁目 長電話八番 長電話二〇番 振替京城二四五八番

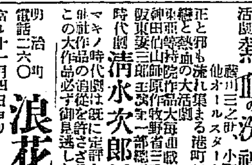
大田驛前 京城温泉行 菊水自動車部 電話三〇番


大田殖銀支店東入 安藤農具店 籾摺其他用具 農具一式

メリヤス雜貨卸商 大田春日町 津田孝商店

大田春日町 北村寫眞館 電話二一八番 技師入用

大田本町一丁目 福永寫眞所 (電話呼出大田自轉車店)


朝鮮ニ製作シタ 堅牢ツ日快輕
敷島 稲扱機 (カタログ進呈)
敷島式
本舗 大田 敷島製作所 大田本町二丁目

キハメ早ク キリン病藥 リーベル
惡性用特製五日分二圓 十日分五圓
輕症用五日分壹圓 十日分貳圓
大阪北區常安町 條舘吉村製藥所 特約發賣 大阪小竹村幸大郎 振替大阪八二六一 電話北一六五 全國藥店にあり

ちんかん
ヒキツケ他療法無効の人も迷はず切手御申込あれヒミツに治す責任を負ひ全快者頗多
▲和歌山市片岡町 神燈堂 藥學士 宮吉警作
子宮病血の道とリウマチスに 神燈湯

内外科 (入院隨意) 岩田病院 附屬沃度注射院 長谷川町電話本一六二〇

本邦唯一の精良品 サック
男女防孕器ゴム
◎上製一打八十錢 ◎特製一打一圓 ◎六寸別製一打一圓三十錢 ◎特製一打五十錢 ◎船來品一打一圓五十錢 ◎十一寸…… ◎珍品四種一打 ……
丁子堂

勝利の榮冠我手に來る！
健脳丸の常用に因る當然の歸結なり

特長
健脳丸ヲ少量ヅヽ常ニ持藥トセバ血行ヨクシ逆上ヲ引下ゲ脳ルベキ中風卒中ヲ豫防シ記憶力ヲ増進スル特効アリ。

適應症
決斷力鈍キ人　記憶力減退セル人
理解力乏シキ人　頭痛、頭重キ人
逆上、耳鳴スル人　便秘、不眠ノ人
脳神經衰弱ノ人　頭脳ヲ過勞スル人

本舗 大阪市南區野田町 東京日本橋區馬喰町 丹平商會藥房

内科一般 入院隨意
長谷川内科病院
龍山元町 電話龍山五〇四番 六七四番 龍山錦町一三番地
院長醫學士 長谷川與一郎

内科 小兒科 入院隨意
京城壽町日出小學校前
多々見病院
院長 多々見五
電話本局九四〇

緩下劑
ラキサトール
一般便秘症、就中常習性便秘症に對し理想的の緩和下劑
本品の最も特徴とする點は
一、無味無臭にして服用し易く小量にて奏効す
一、副作用なく過敏性患者にも無痛の下痢を起さしむ
一、持續的に使用するも習慣性を來さず
(包裝) 粉末一〇瓦入、二五瓦入、一〇〇瓦入、四五〇瓦入
錠劑一〇個入、五〇個入
(説明書實驗報告贈呈)
發賣元 大阪市道修町三丁目 株式會社 塩野義商店 東京出張所 日本橋區大傳馬町一ノ二五

白菊の氣品
福助足袋

大阪商船出帆

仁川出帆
◎大阪行 (群山木浦經過)
△22 共同丸 十一月五日午後三時出
△南京丸 十一月七日午後三時出
△安福丸 十一月 九日午後三時出
◎京阪行
△24 霧島丸 十一月八日午後三時出
△第二朝香丸 十一月十日午後三時出
△臨時丸 十一月 九日午後三時出
△第二盛海丸 十一月十一日後三時
△丸　月　日
△丸丸　月月　日午後三時出 日午後三時出

元山出帆
◎城津、清津、雄基行 承節丸 十一月十二日午後六時出
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 ○第九丸 十一月七日午後五時出帆

大田出帆
◎上海、福州、基隆、高雄行 (但し○印は寄港地)
○膠賢丸 十一月十日午後四時出帆
○光佑丸 十一月十九日午後四時出

內地各港出帆、主要航路
◎歐洲行毎月一回 ◎南米行一年十回 ◎孟買行毎月一回 ◎北米行毎月一回 ◎濠洲行毎月二回 ◎南洋行同 一回 ◎印度一等行同 一回◎印緬線毎月

大阪商船株式會社仁川支店 電二一、二二〇
京城國際運送會社支店 電一一七〇 一九七番
仁川京城通り明豐旅館 電二六一番 郵船仲次 仁川本町堀田組 電二一一番 京城仁川港町郵田組 電話二二一一番

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社 京城 光化門 長 電話 一八二〇 一八四五 一八六七 番
◎釜山支店 佐渡町 電六四一番
◎元山支店 海岸通 電一〇二番
◎仁川出張所 海岸町 電三五一番
◎京城代理店 蓬萊町 國際運送 電一一七〇

○元山代理店 吉田運輸會社
清津 丸十一月二十日 大阪行
京畿 丸十一月十五日 下關行
雄基 丸十一月十二日 江原道行
立神 丸十一月 九日 敦賀行
平壤 丸十一月十一日 淸津直行
京城 丸十一月 九日 清津行
西南 丸十一月十七日 雄基行
清津 丸十一月 十日 浦鹽行

○釜山代理店 大池回漕部
櫻島 丸十一月十五日 東京行
新義州 丸十一月十五日 大阪行
咸鏡 丸十一月十九日 (大阪行濟州島經由)
麗南 丸十一月 九日 下關行
ひかり 丸十一月十六日 新義州行
羅南 丸十一月十四日 北鮮行
慶山 丸十一月十五日 浦鹽行
平安 丸十一月廿三日 上海行
機城 丸十一月 九日 鬱陵島行
濟州 丸十一月十一日 江原道行
鏡城 丸十一月十一日 濟州島行
統營 丸十一月 十日 木浦行

○木浦代理店 山野回漕店
櫻島 丸十一月十四日 東京行
新義州 丸十一月十三日 大阪行
京畿 丸十一月十一日 釜山行
公州 丸十一月十一日 濟州島行
慶興 丸十一月十三日 多島海行
全州 丸十一月十六日 仁川行
ひかり 丸十一月十七日 新義州行
平安 丸十一月二十日 釜山上海行

○仁川取扱店 郵便回漕部
櫻島 丸十一月十二日 東京行
京畿 丸十一月十一日 大阪行
ひかり 丸十一月二十日 新義州行
全州 丸十一月十一日 木浦行
豆滿 丸 毎個日 海州行
益德 丸十一月十三日 鎭南浦行
寧 丸十一月十二日 (安東大連 青島行)
平安 丸十一月十六日 上海行 釜山行

模範 全乳
▲宇王國御用 ▲總督府病院御用
東亞牧場 太正町肥料裡 (電話二五番)